12・31 猪木イベント
髙田&武藤vsフライ&シャムロック組決定!

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成12年12月28日発行(毎月第2・第4木曜日発行)第2巻・24号・通算36号

SRS-DX

Special Ring Side
No.36
2000
12・28
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

12.10★東京ドーム
K-1 WORLD GP 2000
決勝大会速報

20世紀最後の 是か非か?

栄えある第1回最高得点
シリル・アビディに決定!

試合に
点数制導入!
"PPJシステム"

	アーツ	アビディ
モチベーション(闘志・気迫)	10	10
技術・戦略	8	10
KOスピリット	5	10
勝ちっぷり負けっぷり	3	10
全体的な印象・インパクト	7	10
合計	33	50

これで僕らは、K-1を100倍楽しめた!

〈サダハルンバ編集長の例〉

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP 2000
決勝戦
12.10★東京ドーム

20世紀最後のK−1王者も、やっぱり、ホースト！

されど、もう試合レポートは飽きた！
画期的な新システム「PJ」導入
この意味を知りたければ、
まずは㊳ページを

読めえええええええぇぇ!!

まずは㊳ページを

	ホースト	セフォー
モチベーション（闘志・気迫）	10	5
技術・戦略	10	5
KOスピリット	5	5
勝ちっぷり負けっぷり	0	0
全体的な印象・インパクト	5	3
合　計	30	18

波乱続きのK−1だったが、最後の最後はキッチリ、王者ホーストがV2を飾る実力どおりの結果となった。新しいチャンピオンは21世紀までおあずけだ

20世紀末、最も成功した「K—1」は、東京ドームに7万200人の記録樹立

▲一方のヤマ型からは、なんとリザーバーのセフォーが進出。この組み合わせも、ほとんどの人が当てられなかっただろう

▼専門家の多くが、そして出場選手の多くが本命にあげたホーストが決勝に進出。フィリォは上がってこれなかった

そのフィナーレを飾ったのは、ホーストVSセフォー、また大番狂わせだ

90年代社会的ムーブメントとなったK—1だが、東京ドームのチケットが完売したのは初めて。実に70,200人の観客動員数新記録を作った

正直に言うと、これだけ〝格闘技ブーム〟と言われ、〝プロレスはダメになった〟と言われながらも、専門誌に関してはまだまだプロレス雑誌のほうが売れている。

それはなぜかと言うと『プライド』のようなプロレスラーが絡んだ格闘技を除けば、ほとんどが「テレビで見て終わり」という世界になってしまっているからだ。だから、K—1をはじめとする格闘技の試合は、テレビの視聴率が非常にいい。テレビで結果がどうなるかをドキドキしながら楽しみ、結果にスカッとしたり、ガッカリしたりする。しかし、それ以上のものは何もない。試合を見たあとに、いつまでもその試合をどう見たか、なんて語ることはないのだ。

そこに、我々活字メディアの悩みがある。本当はもっと格闘技は語り合うべきものでなくてはならない。朝までK—1のこの試合はどうだったとか、この選手はどうなのかと語り合える世界を作ってこそ、活字というジャンルも生きてくる。

格闘技の会場を出た途端、「今日は面白かったね」とか「今日はつまらなかったね」と言って、夕めしの心配をしたり、他の話題に移ってしまうのはあまりに寂しすぎるのではないか。

私も時々、格闘技の会場で声をかけられる時がある。でも、最近は「写真を一緒に撮ってください」とか「握手してください」というものばかり。芸能人じゃないんだから、本当は私のような人間には「今日の試合はこうだった」と熱いファンの気持ちをぶつけるのが本来の姿じゃないだろうか。

▼決勝戦はまさに「技術・戦略」の勝負となった。ホーストがプレッシャーをかけていく

決勝戦は技術・戦略の攻防！王者ホーストがペース握る

◀ホーストが中心に攻めたのは、セフォーの弱点と言われるローキックだった

◀この日、絶好調だったセフォーは、ホーストに負けじとローキックを返す

▼プレッシャーをかけるホーストは、何度もコーナーに追い込んで、セフォーをメッタ打ち

では、開き直って試合前後の情報だけを載せるという手もある。「この選手はこのくらい練習しました」。そして、「結果はこうでした」と。でも、私の好きな格闘技はそんなんじゃなかった。猪木VSウィリー戦や大山倍達の生き様なんて、それこそ何時間も心ときめかせながら語り続けられたものである。

語るべきものがない世界は、すぐに飽きられてしまう。求心力が育たず、興行自体が連続ドラマになっていかない。それは、興行を開く側も試合に出る側も、そして見る側にとっても非常に不幸な状況と言えるのだ。

そういう世界では、もはや試合レポート自体、果たして必要なものかという疑問が湧いてくる。もしかしたら、書き手が思い入れを込めた文章なんてまったく読まず、写真とキャプションだけで済んでしまうのではないか。そこが、我々の悩みのタネだった。

そこで今号から本誌が取り入れたのが、試合に「点数制」を導入するＰＰＪ（プロフェッショナル・ポイント・ジャッジメント）システムである。これは師ターザンが発明。まずは、38ページの座談会を読んでみてほしい。そして、一度試しにやってみてほしい。見る側のポイントがより鮮明になり、それぞれの採点者（つまりファン）に個性が出るので、試合後に語る要素がたくさん出てくるはずだ。

世紀末のK—1、20世紀最後のK—1に対して、不完全燃焼だった人も多いハズ。しかし、本誌編集部に限ってはこのシステムを導入したおかげで、皆さんより100倍楽しむことができた。

最後に出たセフォーのニヤリッ！その瞬間、いつものセフォーに戻っていた

波瀾万丈だった世紀末K―1 MAXまで届いた世紀末K―1 21世紀はどうなるんだ!?

ホーストの攻撃を受けて、セフォーがニヤリと笑う。その瞬間セフォーがいつものセフォーに戻っているように見えた

▲コーナーでサンドバッグ状態になるセフォー。ブロックはしているのだが、判定に響いた

◀セフォーの得意のパンチ攻撃もホーストは鉄壁のブロック

★第9試合（K―1GP2000決勝戦・3分3R）

○アーネスト・ホースト（3R判定3―0）レイ・セフォー●

<オランダ／ボス・ジム>　<ニュージーランド／アメリカン・プレゼント・ジム>

※30―29、30―29、30―29。3Rにホーストにローブローにより注意1あり。
決勝戦のみ3ノックダウン制

試合が終わってからも、アーツはアビディに勝ったのに、我々の評価はアビディのほうが上だったり、セフォーに不甲斐なくKO負けした武蔵だったが、なぜか印象「インパクト」だけは強かったと、いろんなことが判明してきた。また、それに高い点数を付ける者もいれば、低く評価する者もいて喧喧ガクガクなのである。こんなにK―1で、しかも内容は例年より良くなかったのに盛り上がったのは奇蹟的だった。

そして、実際に私が付けた点数から、今年の「K―1GP」は次のようなことが見えてきた。

まず、全体を見渡しても、①モチベーションと②技術・戦略に関して一番高得点だったのが、アーネスト・ホースト。しかし、その得点もトーナメントを勝ち抜くためのモチベーションと技術・戦略という前提がつく。だから、ホーストは優勝できたのだ。

同じようなタイプは準優勝のレイ・セフォーとホーストと準々決勝で闘ったミルコ・クロコップ。だが、セフォーの準々決勝、準決勝を見てもらえれば分かるが、相手が格下だと高い点数が付き、おまけに③KOスピリットまで見えてしまうのに、自分と同タイプの格上ホーストが相手となると途端に並のファイターに戻ってしまう。

だから、準々決勝、準決勝は非常によく見えて高い得点だったセフォーも、決勝の点数はいきなりホーストの半分くらいになった。決勝戦のみ、セフォーはいつものセフォー以外の何者にも見えなかったのである。

まさに今回の優勝は、ホーストのモチベーションと技術・戦略の

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP 2000
決勝戦
12.10★東京ドーム

◀優勝ホースト、2位セフォー、3位はフィリォとアビディ。まったくK―1は勝敗を当てるのが難しいスポーツだ

▶優勝したホーストは賞金40万ドル（4400万円）を獲得。「子供のために使います」

▼本当に多くのことが起こった世紀末のK―1。21世紀はどうなる？

▲20世紀最後の「K―1王者」の認定書を石井館長から受けとるホースト

◀新世代の台頭を許さなかったホースト。35歳の最年長ベテラン。もはや円熟期に入った

▶準優勝のセフォーは今大会を大いに沸かせた。しかし、賞金は6万ドル

のモチベーションと技術・戦略の勝利。しかし、そのホーストもKOスピリットや④勝ちっぷり、負けっぷりがあまり見えないから、プロとしての評価はもうひとつ。⑤全体的なインパクトはいつも平均点のファイターに見えてしまう。

そこが、同じ3度優勝しているピーター・アーツとの差。アーツには強いというインパクトがあって、人気があるのもそんな理由があるからだということが分かった。

そして、今回K―1優勝という結果以上に、PPJシステムで一番高得点をあげたのが、シリル・アビディ。会場に来たファンを最も興奮させたのがアビディとしたら、このPPJシステムがいかに〝見る側〟の感想を忠実に再現しているかが分かる。

アビディは今回、アーツにもセフォーにも負けたが、最もファンに強烈なインパクトを与えた。大部分のファンは、優勝したホーストよりもアビディの次の試合を見たがっている。そういう意味では、アーツのドクターストップで、負けたアビディが準決勝に進出できた時は、またK―1の流れが変わるという期待感が一気に起き、会場から大アビディ・コールが起こった。あれが、今年のGPのクライマックスだったと言える。

そんなアビディのような見る側に一番衝撃を与えられるのが、今回欠場することになったジェロム・レ・バンナだ。

だから、バンナが欠場した限り、今年のGPは、もうひとつ完全燃焼しきれていない。このアクシデントを、ぜひ来年のK―1につなげてもらいたいものである。（谷川）

ホーストのコメント

新旧交代のためには僕みたいな古い選手の優勝は良くないかな（笑）

――優勝して、今の心境はいかがですか？

ホースト　とても満足しています。今日は良い闘いができたと思います。

――1回戦から振り返ってみてください。

ホースト　まず1回戦のミルコ選手との対戦は、わりとアグレッシブな闘いができたと思います。3R終わった時点で延長になった時は驚きましたけど、コンディションも良かったので問題なく闘えました。2回戦のフィリォ選手との闘いでは、作戦としては彼も1回戦のレコ選手との闘いでかなり消耗していたし、自分もミルコ戦で消耗していたので、お互いハードでタフな闘いになると予測できました。だから自分では的確な攻撃を出して、自分のやるべきことを確実にこなしていって、勝利を自分のものにするというような作戦で闘いました。

――決勝戦についてはどうですか？

ホースト　セフォー選手は非常に良いパンチを持っているので、それをもらいすぎないようにと思って闘いました。それともう一つは、彼にプレッシャーを与え続けるというのが自分にとっての活路だと思ったので、そのような作戦でいきました。

――自分の原動力はどこにあると思いますか？

ホースト　やはり自分は、とにかく勝つために闘うっていうことを常に考えています。もし、この闘いの場から身を引くということがあるとしたら、それはやはりコンディションが十分に整えられなくなったとか、今の自分の状態よりも明らかに力が落ちたとか、そういう時です。そして自分は何よりもK―1を愛しているし、キックボクシング、それから闘うこと、全てが思い入れの強いものだから、良いコンディションで闘えるうちは、リングに立ちたいと思っています。そして、今回3回目となるこの王者の地位に、どうしてもつきたいという気持ちは原動力になったと思います。

――35歳という年齢で、コンディションと体力を維持する秘訣とはなんですか？

ホースト　やっぱり何よりも的確なトレーニングをやることです。こういう大きな大会の前には少なくとも2カ月間はトレーニングのために費やして、徐々にコンディションを作っていきます。そのコンディションを作る過程でも、正しい食生活だとか、休養をしっかりとるとか、そういうことを組み立てて、ベストに持っていくことを心がけています。

――新旧交代の波についてはどう思います？

ホースト　K―1にとっては、新しい選手が出てくるのは非常に良いことだと思う。だから僕みたいな古い選手が勝つのは逆に良くないかもしれませんね（笑）。ま、それはさておき、将来的にはもちろんいつまでもリングに立てるわけではないし、当然、新旧交代はなければいけないと思います。

――ミルコやフィリォに欠けているものとは、何だと思いますか？

ホースト　………いや、非常に難しい質問ですね。どう答えていいか分からないけど、去年のミルコ選手に関して言えば、決勝戦まで残ってあと一歩というところまできてたんだから、ミルコ選手が優勝するためには、僕がいなくなることが一番良いことかもしれないね。

――アンディ・フグ選手に対する思いはありました？

ホースト　試合中はもちろん闘うことしか頭にありませんが、今日の開会式でアンディのビデオが流れた時とか、ああいう時はもちろん彼のことを考えますし、彼がいなくなったことを残念に思います。

――賞金は何に使いますか？

ホースト　幸いなことに家も車も買ったので、今は子供達のためにお金は取っておきたいと思います。

――お子さんの名前は？

ホースト　トランクスにも名前が入ってるんですけど、息子の名前はレジーで4歳、娘はロイスで1歳7カ月です。

――今日のトランクスはどうしたんですか？

ホースト　友人がタイで買ってきてくれたものなんです。

――来年はいよいよ4回目の優勝がかかってきますが？

ホースト　もし4回チャンピオンになれたら、それは素晴らしい快挙だと思うので、もちろん来年も優勝を目指しますし、心構えもできています。

――「ミスターパーフェクト」と呼ばれていますが、もし自分に足りないものがあるとしたら何だと思いますか？

（外野のホースト軍団から）完璧なんだから、何も欠けてるものなんかないよ！

ホースト　ハッハッハ！　まぁ、誰でもそうだと思うけど、自分に何を求めるかっていうと、100％の力を出すことだとか、目標を100％達成することだと思うんです。でもそれが常にできるわけではなくて、99％しかできないってこともありますよね。だから常に100％の力を出せるように努力を続けるということと、自分にとっての100％っていうのは、常に勝って良い結果を残すことだから、それができるように完璧な自分でありたいなと思います。

セフォーのコメント

準備期間が4日しかなかったけど気力で頑張りました

――1回戦の武蔵選手との闘いはどうでしたか？

セフォー　自分では集中してキレの良い闘いをやるっていうのを心がけていて、それができたと思います。やはりこういうチャンスを与えられたわけだから、それを活かすことを考えて闘いました。

――準決勝のアビディ戦では？

セフォー　前回闘った時に、ケガを負ったということもありましたので、自分としては今回は絶対勝たないといけないなと強く思っていて、そのとおりにできました。

――パンチが非常に強力になっていたと思ったのですが、何か特別な練習を？

セフォー　特別にパンチの練習をしたっていうことはないんですが、毎日の反復練習だとか、技術を磨くということで力を付けていけたのだと思います。今日の結果を見ていただいて分かるとおり、K―1の重量級ファイターの中でもトップクラスのファイターだということを自負していますし、やはり来年はそれが本物だということを皆さんにぜひ見ていただきたいです。

――決勝戦ではプレッシャーを感じているように見えましたが？

セフォー　プレッシャー自体はそんなに感じませんでしたが、やはりホースト選手は偉大な選手だと思います。実は今大会に出場が決まったのが4日前なんです。ですからほとんど時間もなかったんですが、このチャンスを十二分に活用したいと思って闘いました。準備期間が短かったので、ほかの選手よりも、スタミナ面では自分が一番不足していたと思います。レコ選手も出場が決まったのが大会の6日前ということで、彼も苦しい状況で闘ったと思います。でも、そのスタミナ不足も気力で補って、頑張ってベストを尽くしました。決勝戦でも、コーナーに戻った時にセコンドに「ホントはもう体中ヘロヘロなんだ。凄く疲れた」って言ってたんですけど、それでも集中して、相手にそういう弱みは見せないぞと、強い信念を持って闘うと宣言しました。それから、この大会の前に友人の娘で5歳になる女の子いるんですが、電話で「がんばってね！　幸運を祈っています」って歌を歌うように言ってくれたんで、その小さい女の子のためにも頑張って闘いました。

――ホースト選手はこの大会のために2カ月トレーニングを積んだそうですが、もしあなたに2カ月の準備期間があったら、結果は変わっていましたか？

セフォー　もちろん、結果は変わっていたと思うし、闘い方というか、内容もかなり違ったものになっていたのではと思います。

――ケガはありましたか？

セフォー　右手の拳を1回戦で痛めてしまいました。準決勝でそれがひどくなって、決勝戦ではほとんど握ることができないくらい痛みました。骨に異常があるかもしれないので、これから検査します。

――婚約者には今日の結果を言いますか？

セフォー　「ホテルに帰ったら、すぐ電話ちょうだい」って言われているんで、帰ったらすぐ電話します（笑）。「決勝まで進んだよ」って素直に言います。ホントはクリスマスまでとっておきたいんですが。最後に一言いいですか。アンディ・フグ選手に今回の闘いを捧げたいと思います。それから、日本のK―1ファンの皆さん、メリークリスマス、そして新年おめでとう！

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP 2000
決勝戦
12.10★東京ドーム

どうしたフィリオ、どうしたK－1

昔"間合い地獄"、今は"判定地獄"

	ホースト	フィリォ
モチベーション（闘志・気迫）	7	7
技術・戦略	6	4
KOスピリット	5	5
勝ちっぷり負けっぷり	0	0
全体的な印象・インパクト	1	0
合　計	19	16

3年前の〝間合い地獄〟再現!?独特の緊張感にドームが包まれた

1Rはまるで3年前のグランプリ準決勝の再現のように〝間合い戦〟に。フィリォの攻撃らしい攻撃が見られないまま3分が過ぎた

カメに徹するフィリォをホーストのフック、ローキックが襲う

▲2Rまでカウンター狙いだったフィリォ、3Rは劣勢を意識してか前に出て反撃に転じたが、逆にホーストにカウンターを合わせられる

▶▲2Rになるとホーストがフィリォのガードをこじ開けるようにロングのフックやボディ、さらにはローキックを繰り出す

★第6試合（K－1GP2000準決勝戦・3分3R）

○アーネスト・ホースト（3R判定3-0）フランシスコ・フィリォ●

〈オランダ／ボス・ジム〉　〈ブラジル／極真会館〉

※30－29、30－29、30－28

レポートする前に一つだけ言わせてほしい。午後5時から試合が始まって、優勝戦が行われたのは午後10時過ぎ。興行で5時間は長いよ。お客に失礼だ。

3時間が限度。プロレスは午後6時半に始まり午後9時前には終わる。しめて2時間半。本当によくできたシステムだと思う。

もう一つ。日本ではエンターテインメントは成熟しない。その理由は主催者側に観客論がゼロだからだ。エンターテインメントとは忙しい人を、短い時間でコンパクトに楽しませるものなのだ。

そこが極意。ヒマな人をお客にしていると、そのジャンルに未来はない。忙しいとかヒマとかは仕事のことではなく、私は自意識のことを言っているのだ。

さて、フィリォとホーストの準決勝はたぶん、これが事実上の優勝戦となる試合。フィリォのモチベーションには、まいりました。

倒されないこと、KOされないことに心が集中。そのため顔と頭をガッチリとガード。極真の世界王者としては、KO負けだけは避けたかったのか？　これではフィリォは自分から〝ディフェンス地獄〟にはまっているようなものではないか？

空手の試合はガードを甘くしてお互いに打ち合い、蹴り合いながら〝我慢比べ〟を争う競技。はっきり言うと、ディフェンスがないようなもの。そこが空手の空手たるゆえん。非常に魅力的なフォルムになっているのだ。

もし人がフィリォに〝極真魂〟を求めるなら、ディフェンスなしでK－1ファイターとぶつかって

フィリォのコメント

「力的にも技術的にも十分だったと思うのですが、コンディションが100％ではなく残念でした。言い訳ではないのですが、月曜日にカゼにかかってしまい、そのせいで呼吸をコントロールするのが難しくなってしまって。もっと正確にパンチを出したかったのですが、そういう理由で自分自身のコントロールが利きませんでした。今日のコンディションの中では、とりあえず最善は尽くせたと思います。対戦相手は非常に強い選手でしたし、そういう意味ではここまでこれたことに対し、自分なりに納得しています。直前でバンナ選手から変わったことも影響があったと思います。今後は、対戦というよりも自分に勝つためのトレーニングを積んでいきたいと思います」

終了間際には大振りのロングフックも繰り出したフィリォ。しかし完璧なガードのホーストにダメージを与えることはできなかった

3R、フィリォようやくエンジン始動 でも、遅すぎるよ……

フィリォ、負けてこの表情…… K―1の中での極真とは？

▲花道では観客の声援に笑顔で応えたフィリォ。負けたのになぜ笑顔なんだ！　そんな笑顔は見たくない！

▲0-3の判定が下された瞬間、フィリォは小さく押忍をし、悔しそうな表情を浮かべた。フィリォの20世紀最後のK-1は3位に終わった

▲フィリォのアッパーがヒットし場内が沸く、しかし巧者ホーストが続く攻撃を許さない

いく覚悟が必要。しかし、それではK―1では勝つことは無理。

負けないためにもフィリォはガードをきっちり学習した。それをやればやるほど、空手からは限りなく遠ざかっていく矛盾。

〝一撃必殺〟の神話を背負った極真空手のフィリォが、バンナの一撃に敗れたことで、K―1の技術体系の中に埋没していった。

これってフィリォの進化形なのか、それとも発展形なのか？　私のような素人のファンにも、極真とK―1の違いが、分かってしまったのだ。〝極真魂〟とは美しいMのことだった。あれはたしかにマゾの魂のことである。

極真の全体がMで一撃だけが、それこそ一瞬のSなのだ。K―1ファイターとして完成されればされるほど、フィリォはボクらにとって〝普通の人〟に見えてくる。

これはK―1が〝勝負論〟を追求していくと、極真が持っている〝MとS〟の美しい形態を消す作用として働いてしまうからだ。

フィリォは見事なK―1ファイターに成長した。そしてホーストとの試合ではこれまた見事な僅差負けという結果になった。

かつて2人が初対決した時、私はあの試合を〝間合い地獄〟という言葉で表した。極真とK―1の間合いの激突がそこにあったからだ。だが、今あるのは〝判定地獄〟〝引き分け地獄〟〝膠着地獄〟ではないか？

それがもしK―1だとしたらK―1にとって21世紀はない。そういえばK―1には極真にあるような美しいMの世界がない。そうか格闘技の魅力はMなのか…。（山本）

勝っても負けてもアビディの採点は満点！　最高！

我々が見たいのは『本能』の衝撃！

アーツ、ドクターストップでアビディ敗者復活！

試合後に「コノヤロ〜」という表情でセフォーを見ていたアビディ。何をやっても本能の赴くままなのがよい

	アビディ	セフォー
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	10	10
KOスピリット	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	10	10
全体的な印象・インパクト	10	5
合　計	50	45

この試合は両者に高得点を付けた。Ｋ―１の中でも最高峰の技術を持つホーストの試合には、だいたい平均の５点を付けているにも関わらず、私はこの２人には技術点でも10点ずつ付けた。

普段のセフォーはだいたい全ての項目で平均点の前後をチョロチョロしているタイプだと思う。

それに今回、私は正直言ってセフォーにはまったく期待していなかった。

というのも、大会２日前に行われた事前取材で、自ら彼女ができたことを告白。しかも、「クリスマスにプロポーズをしようと思っているんだ。でも、まだ彼女はこのことを知らないから、内緒だよ」とセフォー。

ちょ、ちょっと、いつからこの取材はワイドショーの会見になったのよ。なんだか鼻の下をビロ〜ンと伸ばしてヘラヘラしているセフォーを見て、こんな彼女ボケしているファイターが、強者がしのぎを削り合うＫ―１ＧＰ王者を決める舞台に立って、勝ち残れるわけがないじゃないと思ったのだ。

ところが、蓋を開けてみれば、セフォーはあっという間に初戦の武蔵に一方的な内容で、勝ってしまった。

あちゃ〜、セフォーは彼女ボケでダメになるタイプじゃなかったのか……。なんてことを思いながら、準決勝戦を待っていたら、なんと、「アーツ欠場」という発表があった。

ということは……。

そう、ＧＰルールに則ってアビディの敗者復活が決まったのである。

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP2000
決勝戦
12.10★東京ドーム

時代とファンはアビディを選択！入場だけで大騒ぎ！大アビディ・コール！

アビディがゴンドラに乗って登場するや、大アビディ・コールが自然と発生！ いよいよもって、アビディ人気も本物になってきた

▼試合前に中山リングドクターよりアーツがドクターストップになったことが報告され、続いてルールディレクターの角田よりルールに基づきアビディが敗者復活になったことが告げられた

▶8・20横浜大会の時のように、最初から激しく打ち合った両者。アビディがらみはどうしてこんなに面白い展開が生まれやすいのだろうか

▼いつもなら、相手のパンチをもらうと「ニャ〜」とするセフォーだが、今回は仁王立ち！ セフォーがマジだ！

▶普通なら防御する場面でも、アビディは本能の赴くままによけてしまうところが何度かあった

セフォーにとっては、8・20横浜大会で屈辱のKO負けをした相手が、アビディだった。

彼女ボケをしていたセフォーもさすがにアビディに対しては「リベンジはもちろんしたい」と強い口調でコメント。

でも、相手はあのアビディである。初戦のアーツ戦でアビディはすでに敗れているが、どちらかと言えば、印象に残ったのはアビディのほうだった。

いくらアーツがチーム・アンディTシャツを着てこようが、私にはほとんどインパクトに残らなかったのである。

なぜかというと、アビディは事前取材の時に「もし、アンディが生きていたら、きっと決勝大会に出ていただろう。カレのことを考えるためにも着てみた」と密かにアンディTシャツを着ていたのだ。

くぅ〜、泣かせるねぇ、と一足先に私は感動してしまったのである。だから、アーツがアンディTシャツを着ても私には二番煎じにしか見えなかったのだ。

たしかにセフォーも彼女ができたことがいいモチベーションアップにつながり、いつも以上に良かったと思う。

だからこそ、破格の得点となっているのだが、最終的にアビディとの差に5点つけたのは、インパクトの項目である。

そのインパクトの差は何なのか。ズバリ、それは「本能」だ。

アーツ戦でもセフォー戦でも一発もらってカチンときて我も忘れて打ち合ってしまうアビディの闘争本能は、時としてこれまできちんとした技術を持っているファイ

敗れてもインパクトを残したのはアビディ!

アーツのコメント

「（今の心境は？）実際目の上の傷以外はどこも悪くなくて、次の試合を闘う準備をしていたので非常に残念だ。そして、こうなった経緯について非常に不満を持っている。（腰の具合は？）まったく問題ない。距離を取りながらローキックを出して試合をしようと思っていたけど、アビディから返ってきたのはヘッドバットだった。（アビディの攻撃で効いたものは？）1発いいのをもらったがそれは問題ない。（チームアンディのTシャツを着た意味は？）友人だったから。（何針ぐらい縫った？）12針ぐらい。（試合中エキサイトしてましたね）ヒジが入って、ヘッドバットも入って、ボクの腰が良くないというのを承知の上で投げのようなものを出してきて……、まあ闘いは闘いだから。（もう一度アビディ選手とやりたいですか？）ボクは誰とでも闘う。自分の目標はトーナメントに勝つことだから、今日、アビディには勝利を収めたということで決着がついていると思う」

アビディのコメント

「（準決勝出場が決まった時の心境は？）最初は負けちゃってもう終わりだと思ってたので、凄く嬉しかった。でも時間が短かったので、モチベーションをもう一度上げるのには足りなかったかな。（前回のセフォーと比べて印象は？）1回目は簡単な試合だったけど、今回はタフな試合になった。セフォーにとってはいい試合だったのでは。（賞金は何に使う？）今度の賞金ではまだ引っ越しは無理だな。（セフォーの攻撃で効いたものは？）これといったのはない。私もちょっと取り乱してしまって、試合の流れについていけなかった。セフォーの全体の攻撃で負けてしまった。（激しい打ち合いは相性的になってしまうものですか？）ああいうふうに打たれると、自分の危険を感じて、自分の心の底にある危険信号が反応して、ああいう形になってしまう。頭にきて、カッとなって激しい打ち合いになってしまうんだ。（アビディ・コールはどう思った？）凄く嬉しかった」

◀セフォーはあれよあれよという間に決勝戦へ進出。彼女ボケがいい方向に出た！

セフォーの左ハイキックをきっかけに①、セフォーのパンチの連打が火を噴き②、アビディの体がくの字になり③ジ・エンド④。でも、最後まで印象に残ったのはアビディだった

★第7試合（K—1GP2000準決勝戦・3分3R）

○レイ・セフォー（1R1分45秒、KO勝ち）シリル・アビディ●

<ニュージーランド／アメリカン・プレゼント・ジム>　<フランス／"チーム・ロメアス"ボクシングプラネット>

※パンチの連打。2ノックダウン。アビディはパンチの連打でダウン1あり。
アーツがドクターストップになり試合続行不可能となったためアビディが敗者復活として勝ち扱いとし試合を行った

ターたちを打ち砕いてきた。

その「本能」といえば、もっと分かりやすくて、忘れてはならないのが欠場したバンナである。

今年見せた、フィリォへの一撃、そしてニコラスへの試合後の一撃。どちらも、バンナの本能がむき出しになった瞬間に繰り出されたものだった。

バンナにしても、アビディにしても、人間性そのもの、闘いそのものが「本能」の塊なのである。

だが、我々はその「本能」に一番ズキンときてしまう。

セフォーのモチベーションに10点を付けたのは、彼女ができて、優勝して、プロポーズするためという動機からくるものが大きい。それがKOスピリットや勝ちっぷりにもつながっている。

だが、アビディのモチベーションの10点は、闘うということに対して純粋にモチベーションが上がってしまうという「本能」に対しての点数なのだ。

技術・戦略についてもそう。セフォーは練習で身に付けて、技術・戦略が高くなっているのに対し、アビディは技術・戦略も「本能」の部分ですでに高い。その差が、インパクトとして我々に強く伝わってくるのである。

今年のK—1を思い出してほしい。我々が常にドキッとしたのは、「本能」の衝撃を感じた時ではなかったか。

そうでなければ、今大会で唯一の、あの大アビディ・コールなんて起こらなかっただろう。時代とファンはアビディの「本能」を選択した。だから、アビディは満点なのである。（石黒）

3度目の対決も、やっぱり壮絶な打ち合いにK－1イズムは、アーツとアビディに宿っている！

アビディ、ケンカで勝つ！試合に負けて

▼アーツとアビディ、因縁の3戦目は、やはりボコボコの殴り合いとなった。試合はアーツがモノにしたが、ケンカ魂を持ったアビディは今大会のMVPと言ってもいい

勝者アーツ、アビディの頭突きで大流血！

	アーツ	アビディ
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	10	10
KOスピリット	5	10
勝ちっぷり負けっぷり	3	3
全体的な印象・インパクト	7	10
合　計	35	43

▶3R、アーツはアビディの2度にわたるバッティングで流血。両手を広げて大激怒していた

暴君の威厳をギリギリで死守

1Rにカウンターの右ストレートでアーツがダウンを奪う。3度目の正直。やっとアビディから勝利を収めた

アーツの猛攻にアビディ、ダウン！

▲アーツの右拳が顔面にスボッ！　腰の調子もあって１００％の出来ではなかったが、それでもアーツは強かった

▲判定は３－０でアーツ。だが、出血もあって大喜びするわけにもいかない。この後アーツはドクターストップとなってしまった

▲アーツは『チーム・アンディ』のTシャツを着て入場してきた

▲パンチをブンブン振り回して向かってくるアビディを、カウンターのパンチやヒザで迎え撃ったアーツ

★第4試合（K－1GP2000準々決勝戦・3分3R）

○ピーター・アーツ（3R判定3－0）シリル・アビディ●

＜オランダ／メジロジム＞　＜フランス／“チーム・ロメアス”ボクシングプラネット＞

※29－26、29－28、29－26。１Rにアビディが左ストレートでダウン1、アビディに投げにより注意1、2Rにアビディにバッティングにより減点1あり。

ほとんど完璧である。PPJ5項目のうち、4つで満点をつけさせてもらった。〝勝ちっぷり負けっぷり〟のポイントが低いのだって「どうせなら勝っても負けても豪快なKOが良かったなぁ」という欲張りな理由からだし、試合内容に関して言えば、これはもう文句のつけようがない。

シリル・アビディ。まことにあっぱれな闘いぶりだった。

初出場となるワールドGP決勝大会。アビディが準々決勝で対戦したのは、因縁の相手、ピーター・アーツだった。

今年の7月から、立て続けに3度の対戦とあって、「偉大なチャンピオンだけど、さすがに新鮮味はないよね……」と語るアビディ。でも、それでモチベーションが下がるなんてことはなかった。アビディはどうしても賞金が欲しかったのだ。再び、アビディの大会前のコメントである。

「賞金で家を買いたいんだ。子供を芝生の庭がある家で育ててあげたい。今は低所得者向けの集合住宅に住んでいるんだよ」

この夏、アーツ戦でブレイクするまで、アビディはバイト暮らしだった。「今まで生き残るためにいろんなことをしてきた」と語るマルセイユの悪童。ほかの選手とは、はっきり言って勝つことへの切実さ、ハングリー精神のケタが違うのである。当然、〝モチベーション〟は10点！

〝技術・戦略〟だって満点である。なぜならアビディは自分が最も得意な闘い方、つまり〝ケンカ〟を、100％貫きとおしたからだ。

「打たれるとエキサイトしちゃっ

アビディのコメント

「前は１Ｒで倒したんだが、今回は３Ｒやったので、彼の本来の姿が見えた。負けたけど、いい試合ができたとは思う。やっぱり、アーツは偉大な王者だったよ。相手の執念とかそういうのは分からない。リングに上がる選手は、誰だってモチベーションを高めてくるものだと思う。次の試合のために体力を温存することは考えたけど、その前に目の前の相手に勝たなきゃダメだからね…。その辺が僕の若さなんだと思う。打たれるとエキサイトしちゃうし。その点、ホーストとかは凄いよね。バッティングの時、向こうが怒って何か言ってたけど、英語なんで分からなかった。失礼なことを言い返しても悪いから、とりあえず『ウィ』とか言っといたんだけど（笑）」

アビディの貧乏脱出大作戦

どんな手を使ってでも勝ちたい！

頭突きをしてでも、相手を投げてでも……

▲▶ヒザ蹴りをキャッチすると、アビディはアーツを思いっきり投げ捨てた。技術よりも闘争心が先行しまくった闘いっぷりは、見ていて気持ちがいい

やられたらやり返せ！

オレたちが見たいK-1はコレなんだよ！

◀▲どれだけアーツの攻撃をもらっても、すぐさまやり返していったアビディ。恐れ知らずとは、まさにこの男のためにある言葉だ

▲幅５センチ、深さ１センチの傷を負ってしまったアーツ。アビディのバッティングは偶然というより、執念の賜じゃないだろうか

て。そこが僕の若さなんだろうね」なんて言うアビディ。でも、そこがいいんじゃない！

いくら打たれても、アビディは次の瞬間には反撃体勢に入っていた。やられたらやり返す。ひたすらブン殴る。そんな闘いをハイスパートで繰り広げたら、観客にウケないわけがない。

それどころかアビディときたら、勝つためにはありとあらゆる手段を使った。アーツの背中にパンチを打ったり（たしかにアーツは腰を痛めてるけど、それって効果があるのか……？　でも魅力的！）、蹴り足をキャッチしてそのままマットに投げつけたり……。トドメは頭突きだ。しかも2回も、である。偶然のバッティング？　いやいや、ここはあえて〝執念の一撃〟と呼ぼうじゃないか。

結局、アビディはアーツに判定で敗れてしまった。腰の状態がまだ芳ばしくないアーツだが、それでも無理やり、経験という武器でアビディを封じ込めたのだ。

ただ、アビディは試合に負けはしたが、ケンカには勝った。だってアーツはバッティングで負った傷が元で準決勝に出られなくなってしまったんだから。僅差の判定勝負が多かった今回のGPだが、アビディだけは闘いの根源であるケンカを、お腹いっぱい見せてくれたのである。

３位の賞金で、マルセイユに庭付きの家が買えるかどうか分からない。でも、僕たちが本当に見たかったモノを、心ゆくまで堪能させてくれたアビディには、優勝したホーストを越える賞賛が送られていいと思う。（橋本）

優勝候補の呼び声も高かった武蔵だが、
結果は１ラウンド１分38秒ＫＯ負けに

最高のインパクト！最高のＫＯ（負け）劇！

“新・言うだけ番長”に決定!!

	セフォー	武蔵
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	5	10
ＫＯスピリット	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	5	10
全体的な印象・インパクト	5	10
合　計	35	50

▲あまりに見事なＫＯ負け。
良くも悪くも今大会一番の名シーンだろう

優勝候補とまで言われた武蔵が1ラウンド1分38秒ＫＯ負け。試合前には「優勝します」だとか、「ファンやマスコミは吐いたツバ呑まんとけよ」とか散々吠えまくってこの体たらく。はっきり言って実に情けない状況だが、武蔵を責めるのは酷というものだろう。

そもそも武蔵は世界最高峰のＫ—1の舞台で日本人としてただ一人闘った男であるのだ。それを思えば「よくやった」と言いたい。

なにしろ、試合前に「俺の技術を見てほしい」ときっちり宣言し、その言葉どおりに、ゴング直後に素早い蹴りを繰り出し、ノーガードで軽やかに動き回る姿は一言で言って華麗！　そのキレのある動きは誰もが目を見張ったはずである。難を言えば、レイ・セフォーにまったく通用しなかったという、ただそれだけ。威力はないが華麗にリングを舞い踊る素晴らしきファイターが武蔵なのだ。

そう。つまりは空手ダンサー！

蝶のように舞ってハチのように刺さなかったとでも言うか。

かつてマス大山は「空手とは演武だよ」と言い切ったが、もしかしたら武蔵は〝演武〟を〝演舞〟と聞き間違えたのかもしれない。そういうことで、この日の武蔵はダンサー的に非の打どころなしだと僕は評価したいのである。当然、ＰＰＪも満点だ。

ただ、誤解してもらっては困るが、武蔵の技術は本当にハイレベル。ただＫ—1のレベルはタダゴトじゃないくらい高いのだ。そこで闘う苦悩は想像すらできない。

だが、やはり、負けは負けだ。試合後、武蔵は「レフェリングが

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP 2000 決勝戦
12.10★東京ドーム

試合後はこのとおり

▲どうですか、いい顔でしょ？　これが敗者の顔だ

試合前は精悍なツラ構えだが……

試合前の武蔵はやる気満々。1000点満点のいいツラ構え

▲ダメージに残る武蔵はサンドバッグのようにパンチをもらいまくる

▲そして、２度目のダウン。優勝候補と言われた男が４日前にトーナメント参戦が決まった男に秒殺ＫＯ負けとは

▲ゴング直後に出したミドルキックはキレ味抜群！　さすがは技術を見てくれと言っただけのことはあると思ったのだが……

▲最初のダウンはなんとか持ちこたえた武蔵。しかし、目はあきらかにウツロ

▲ノーガードの武蔵にセフォーのパンチがジャストミート！　そのままラッシュを浴びて１度目のダウンを喫する

武蔵のコメント

「僕的には作戦どおりだったと思います。とりあえず、何が起こったのか分からなかったんですけど。パンチが見えてないというか。僕なりにやることはやってきたし、こんな形で試合が終わるなんて思ってなかったし。ファーストコンタクトは大丈夫だと思えるぐらいだったんで。とりあえず、悔しいの一言です。とりあえず、ちゃんとレフェリングしてもらいたいですね。僕はよく分かんないんですけど、あとでセコンドに聞いたら後頭部を殴られてたみたいなんで。後頭部が痛いんでラビットパンチをくらったんだなって思って。こんな形で練習してきたことを棒に振らなきゃいけないことが悔しいんで」

★第5試合（K－1GP2000準々決勝戦・3分3R）
○レイ・セフォー（1R1分38秒、KO勝ち）武蔵●
＜ニュージーランド／アメリカン・プレゼント・ジム＞　＜日本／正道会館＞
※右ストレート。2ノックダウン。１Ｒに武蔵にパンチの連打でダウン１あり。

悪い」とか口にしたが、それはどうかと思う。後頭部を殴られたのは確かにそうだが、その前に真正面から思い切りパンチをもらっているだろう。技術におぼれてノーガード戦法を取った武蔵の明らかな失敗をレフェリーのせいにするのは間違いだ。

こんなことを書けば武蔵も激怒するだろうが、こっちだってはっきり言って怒っている。今年の武蔵は決勝戦に行く可能性は十分にあった。相手が急きょ、ベルナルドからセフォーに変更したことで、計画に狂いが生じてしまったのは大きな誤算だとは思うが、セフォーにしてもトーナメントのオファーが来たのは試合の４日前。条件的には武蔵有利は否めないだろう。

それが秒殺ＫＯ負けだ。

試合前のインタビューで、勝ちっぷりとか、負けっぷりで勝負するんじゃなく、「自分は技術で勝負する」と言った以上、結果を出さなければお話にならないのは本人もよく分かってるはずだ。

それを敢えて技術を選んだ武蔵は掛け値なしに凄いと思う。どう考えてもイバラの道だからだ。しかも、武蔵の背中にはファンや、心ないマスコミの期待がズシっと乗っかって痛さもひとしお。

だが、たとえ、原稿でどんなにフォローしようと、あの現実はぬぐい去ることはできるはずがないのである。このままならファンからもマスコミからもナメられるだけだ。

もうカッコつけた踊りはいらない。どうせ踊るならキリキリ舞いこそ、今の武蔵にはふさわしい。踊り狂い咲け！

（ブチ）

フィリオは格闘技を誤解してしまった

"極真らしさ"は何処へ……

優勝候補にも挙げられていたフィリォは、準々決勝でレコに延長の末に判定勝ち。とてもじゃないが見ていて満足できる内容ではなかった

	フィリォ	レコ
モチベーション（闘志・気迫）	7	7
技術・戦略	3	3
KOスピリット	0	0
勝ちっぷり負けっぷり	0	0
全体的な印象・インパクト	0	0
合　計	10	10

表を見ていただければ分かるが、フィリォ、レコともモチベーションはともかく、技術点は低い。KOスピリットその他の項目に関しては1点も与えることはできない。

この試合だけでは、分からなかったが、フィリォの次の試合を見て、確信した。

フィリォは、格闘技を間違って解釈してしまった。バンナにKO負けしたからか？　極真世界大会で頂点を極めたからか？　そのいずれの理由もあったろう。空手の世界で頂点を制しておきながら、いやそれだからこそ、K—1という格闘技を理解し得なかったフィリォが、そこにあった。

このフィリォ解釈の間違いを語るには、多少の説明がいる。しかし、それをしなかったら、この試合から学ぶべきものは何もなくなってしまう。

まず、格闘技の特殊性というものを考えてみよう。自分のペース、すなわち自分の攻撃動作と、相手の攻撃動作のせめぎ合いが格闘技の本質だ。自分の攻撃動作を、自分が律することの動作という意味で、私は自律動作と呼んでいる。それに対し、相手に律せられている動作が他律動作。パンチやキックは自律動作であるが、ブロック動作などは他律動作にあたる。

この自律度は相手との接触度が増すほど低くなり、最も自律度の維持が困難な競技が、実は格闘技という競技なのだ。つまり格闘技の選手が一生懸命パンチやキックを練習しているのは、いついかなる時でも自律度を高めるべく努力しているのだ。

しかし、相手だって打ってもく

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP2000 決勝戦
12.10★東京ドーム

フィリオよ、あなたの拳は殴るためにあるのだ！

★第3試合（K－1GP2000準々決勝戦・3分3R）
○フランシスコ・フィリォ（再延長判定3－0）ステファン・レコ●
＜ブラジル／極真会館＞ ＜ドイツ／マスターズジム＞
※10－9、10－9、10－9。3Rまでの判定は30－30、30－30、30－29（フィリォ）。延長は3者とも10－10。

異様なまでにガードを上げ、ディフェンスを固めたが……

▲▶顔面攻撃への防御を意識し、ガードをガッチリと固めていたフィリォ。その分、パンチが出なくなってしまっていた

レコのコメント

「3Rが終わった時点では勝ったんじゃないかと思ったが、最後までいって様子が変わったみたいだね。フィリォはいい選手だけど、ボクシングの選手ではないと思った。ローキックが強かったけど、自分も結構、出せていたと思う。100％の状態だったら、勝てたんじゃないかな。4日前に試合が決まったので、100％の準備はできなかったけど、ある程度満足している。福岡大会の後は休んでいたんだ。練習を再開したのは3週間前。右手がしっかり握れない状態で、やるべきかどうか考えたが、ある意味チャンスだと思った。まったくトレーニングしてなくても、たぶん日本に来ていたと思う。極真に特別な意識はない。でも、ボクシング技術が足りないと思う」

▲▼試合はジャブ、ローの交換が大半。観客がヒートアップするような展開にはならなかった

▲ブラジリアン・キックが頭部を襲う。ほかにバックスピンキックも見せるなど、蹴りに関してはフィリォらしさが垣間見えたが……

K-1の中でも空手魂が見たかった

▲今回ほど、フィリォの空手衣姿にオーラが感じられなかった大会もなかっただろう……

▲レコのローキックにパンチのカウンターを合わせるフィリォ。徹底して"待ち"の姿勢だった

るし、よけもする。その中での自律度の高さが、実は格闘技で言う「強さ」というものの正体なのだ。

そこでフィリォである。フィリォは極真ルールでは、世界一の自律度を示して世界最強の称号を得るに至った。しかし、K―1での強さとは、顔面攻撃を含む自律度の高さで測定されねばいけない。

そのルールの中で、あろうことかフィリォは両手を顔の前に立てたままであった。両手は初めから、他律動作のために捨てられていた。

フィリォは、バンナに敗れて以降、自己の欠点を補うために、顔面を打たれないようにした。しかし、K―1という競技を、空手と同じく自律度を高める場だと解釈したならば、フィリォの選択は間違っている。本当はバンナ以上のパンチを身に付けることに時間を費やさねばならなかったのだ。空手の道を、道として歩み得た空手の達人フィリォが、K―1という競技では、道として歩み得なかったのではないか……それを見てしまったことが、悲しいのだ。

記者席からはこんな声も出ていた。「もしアンディなら、あそこで極真魂を見せて、攻めただろうに」。そう、アンディも、フィリォと同じく、両腕を顔の前に立てていた。

しかし、アンディの両手は単なるガードでなく、攻撃のための布石と化していた。アンディはK―1ルールの中でも、両手の自律度を高めていた。

図らずも、この日はアンディの追悼興行。納骨される前日のアンディは、この日の試合をどう見ていたのか？　フィリォよ、K―1でも、道を示してくれ。（山田英司）

顔を洗って出直した方がいい！ ミルコ、なんもできず

PPJのこの無謀な大差を見よ！ 心・技・体、全部ホーストが上ってことだ

	ホースト	ミルコ
モチベーション（闘志・気迫）	10	2
技術・戦略	8	2
KOスピリット	5	0
勝ちっぷり負けっぷり	5	0
全体的な印象・インパクト	5	0
合　計	33	4

▲ホーストの的確なローキックにバランスを崩しかけるミルコ。1年ぶりの両雄の再戦は、あまりにも平坦で、そして力の差もあからさまだった

　平ったく総括させてもらえば、ホーストのほうが断然強かったということだ。ミルコに対し、つけ入るスキは一切与えられなかった。わざわざクロアチアからやってきても、ホーストという強大な戦艦を前に、乗船用のはしごを掛けることさえ許されなかったわけだ。

　35歳のホーストの技術、体力は完璧であった。それも『心』の裏付けがあってこそだ。彼は常々からチャンピオンとしてのプライドを口にする。K―1の最高峰に2度まで輝いているのだ。ミルコには1度くらい頂上に近付けても、そうそう登頂はできないよって教えたかったのかもしれない。

　だからまるで試合にもさせなかった。ホースト自身に決定打がなかったから、とりあえず延長戦という形になったが、闘いそのものはまるで一方的である。

　漆黒の体から繰り出すキックが冴え渡り、きれいなパンチで追い打ちをかける。ミルコは門前の小僧そのままで、寺社の中から聞こえてくる読経を最初から最後まで聞いているような有様である。

　1Rに1度だけカカト落としを見せた。「試合の流れを変える時に使えるかな」と覚えたものだという。ミルコが評価すべき術は、これだけだったと断言したい。よってわがPPJは、このカカト落としに免じて4点だけあげる。あとは何もなしだ。ボクシングで培った強力なパンチも、ホーストの技巧の前に封印された。勝ちざまも負けざまもなし。勝利への努力を怠った者、いや努める糸口さえ見つけられなかったのだから当然。まして印象点なんて、1点たりと

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP2000
決勝戦
12.10★東京ドーム

「気持ちが眠ったままだった」（ミルコ）それじゃ、勝てんわなぁ…

ミルコのコメント

「なぜこんな試合になったと言われても、どう答えていいのか分からない。闘う前から気持ちが眠っているような感じだった。どうしてそうなったのか、自分でも分からないんだ。ホーストは昨年と比べても、特別に何が変わったとか、驚くような武器があったとかはなかったんだが、慎重に闘っていたことだけはたしかだ。ただ、アグレッシブに出ていくことが自分の持ち味のはずなのに、今日はそうできなかったということだ。コンディションが悪かったということはない。相手のジャブをかわして、すぐに攻めていくつもりが、うまくかわされてしまった。そういう意味ではホーストの術中にはまったということかもしれない」

▲ミルコの攻撃はあまりにも散漫で、ホーストを脅かすことはついぞなかった

▲決定打がないまま、とりあえず延長戦にもつれ込んだ一戦だったが、判定はずっとペースを握っていたホーストのもとへ。ミルコは力ない視線を送るばかり

革命のターミネーターよこのまま「お休みなさい」は許さんぞ

▲力強いミドルキックが炸裂する。「チャンピオンとして闘いたい」と言っていたホーストは、その言葉どおりに格調高い技巧を見せつける

▲すくい投げをうつミルコ。あとは1度だけ見せたカカト落としくらいしか見せ場はなかった

▲ミルコのキックを受け流し、パンチを狙うホースト。2年連続、3度目の優勝を狙ったオランダ人は、無難な闘いっぷりで勝ち進んだ

▼パンチはミルコが最大の武器にしているはずだが、この日に限ってはまったく迫力がなかった

★第2試合（K−1GP2000準々決勝戦・3分3R）
○アーネスト・ホースト（延長判定3−0）ミルコ・クロコップ●
<オランダ／ボス・ジム>　<クロアチア／クロ・コップスクワッドジム>
※10−9、10−9、10−9。3Rまでの判定は3者とも30−30

もあげられない。

それにしてもホースト対ミルコという顔合わせは昨年のグランプリ・ファイナルと同じである。あのトーナメント、ミルコはあれだけ輝いていたじゃないか。ハードパンチを振りかざし、佐々木小次郎が振るう長刀のようなハイキックもあった。喜怒哀楽のない仮面のような冷徹さもいい。警察官が本業なんてウソみたいに、バイオレンスに満ちていた。1年前はわき腹を痛めて、ホーストの非情なボディブローで撃沈されてしまったが、ニュースターの予感が漂っていた。「昔は……」などと言うと、オヤジ得意の郷愁になるが、これはたった1年前の話なのだ。

この日はそんな面影はまるで見えない。ホーストにいいようにあしらわれるまま。その上、試合後のコメントでは「試合の前から気持ちが眠ったままのようだった」とは、どういうわけ？

K―1の活躍でクロアチアの警察では、現場での仕事を免除されたという。そんな夕食のちゃぶ台の上に、いつもの目刺しのほかにウインナー炒めが増えたくらいの小市民的な喜びで、まさか満足しているわけじゃなかろうな。ファイターなら分厚いステーキを食え。フォアグラとキャビアとトリュフの酒池肉林を目指せ。

門前の小僧もいつかは難解な梵語で書かれたお経を読めるようになる。ミルコもそうだ。ホーストの心技体を学べ。

帰り際、スタンドのファンがミルコに「ナイスファイト」と呼びかけた。今日のミルコにそんな慰めは必要ない。（宮崎）

K-1 WORLD GP 2000

全トーナメント表

20世紀を締めくくったのは、アーネスト・ホースト!!

12・10決勝大会
(東京ドーム)

優勝賞金…40万ドル
2位………6万ドル
3位………2万ドル

- アーネスト・ホースト(オランダ/名古屋大会2位)
- ミルコ・クロコップ(クロアチア/福岡大会2位)
- フランシスコ・フィリォ(ブラジル/横浜大会1位)
- ステファン・レコ(ドイツ/決勝大会リザーバー)
- ピーター・アーツ(オランダ/石井館長推薦枠)
- シリル・アビディ(フランス/横浜大会2位)
- レイ・セフォー(ニュージーランド/決勝大会リザーバー)
- 武蔵(日本/ジャパン大会1位)

アーツがドクターストップのため、ルールに基づきアビディが敗者復活で準決勝に出場

※当初、トーナメント出場選手だったマイク・ベルナルドが練習中に左足ふくらはぎ筋肉断裂により3カ月の重傷、またジェロム・レ・バンナは伝染性内臓疾患によるドクターストップのためそれぞれ欠場が決定した。ベルナルドの代わりはレイ・セフォー、バンナの代わりはステファン・レコと決勝大会リザーバー選手が出場した

7・30名古屋大会 開幕戦トーナメントA
(名古屋市総合体育館レインボーホール)

- アーネスト・ホースト(オランダ/K-1GP'97、'99優勝)
- パリス・バシリコス(ギリシャ/K-1イタリア大会優勝)
- 富平 辰文(日本/K-1ジャパン敗者復活戦枠)
- ロイド・ヴァン・ダム(オランダ/K-1GP'99ベスト16)
- リッキー・タンク・ニッケルソン(イギリス/K-1UK大会準優勝)
- ニコラス・ペタス(デンマーク/極真空手代表枠)
- マーク・ハント(オーストラリア/K-1オセアニア大会優勝)
- ジェロム・レ・バンナ(フランス/K-1GP'99ベスト4)

8・20横浜大会 開幕戦トーナメントB
(横浜アリーナ)

- ピーター・アーツ(オランダ/K-1GP'99ベスト8)
- シリル・アビディ(フランス/K-1事務局推薦選手)
- フランク・オットー(ドイツ/K-1ドイツ大会優勝)
- レイ・セフォー(ニュージーランド/K-1GP'99ベスト8)
- マット・スケルトン(イギリス/K-1UK大会優勝)
- アレクセイ・イグナショフ(ベラルーシ/K-1ベラルーシ大会優勝)
- 中迫 剛(日本/K-1ジャパン敗者復活戦枠)
- フランシスコ・フィリォ(ブラジル/極真空手代表枠)

10・9福岡大会 開幕戦トーナメントC
(福岡マリンメッセ)

- マイク・ベルナルド(南アフリカ/アンディ・フグ推薦)
- ユルゲン・クルト(スウェーデン/K-1クロアチア大会優勝)
- アンドリュー・トムソン(南アフリカ/K-1アフリカ大会優勝)
- ステファン・レコ(ドイツ/K-1GP'99ベスト16)
- トーマス・クチャゼウスキー(カナダ/K-1USA大会準優勝)
- 天田ヒロミ(日本/K-1ジャパン敗者復活戦枠)
- グラウベ・フェイトーザ(ブラジル/K-1事務局推薦枠)
- ミルコ・クロコップ(クロアチア/K-1GP'99準優勝)

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP 2000 決勝戦
12.10★東京ドーム

おおっ！ヒクソン・グレイシーがK−1にやって来た！

▲入場式の後にアンディの追悼式が行われた。あのアンディ・スマイルがドームの天井に映し出され、ビジョンにはアンディの入場シーンが流れ、1分間の黙祷が行われた。場内には「アンディ〜」と叫ぶファンの声がこだました

▲アンディ夫人のイロナさんも来場。黙祷の時には涙を流していた

▲オープニングファイトで行われた小比類巻貴之VSウイルフレッド・モンターニュ戦は、一進一退の好勝負となったが、5Rにコヒが右ハイキック1発でモンターニュを沈め1分46秒KO勝ち。ここ一発の勝負強さを見せた

▲試合はMMAルール（3分5R、勝敗はKO、ギブアップ、レフェリーストップ、判定。反則は頭突き、目潰し、下腹部への攻撃、頭部、脊髄へのヒジ打ち。グラウンドでの膠着はレフェリー判断でブレイク）で行われたが、フランクは結局極めることができずに判定勝ち。衝撃的なK−1デビュー戦とはならなかった

▶K−1初見参となるフランク・シャムロックはインディアンの格好で入場

K−1にフランク・シャムロック登場！

▲んあ〜、2001年に小川戦が噂されるヒクソン・グレイシーがK−1を初観戦。親交のある巨人の清原選手とツーショット！

▶ちょっと、ちょっと、三宅アナもサダハルンバも紀香ちゃんがかわいいからってデレ〜っとしちゃってぇ〜

▲ゴンドラに乗ってマイケル・バッファー氏が登場！　まさか、この後に選手たちもゴンドラで入場することになるとは思わなかった

▲創価大学ボーカル・グループが大熱唱！

▲ケガのため欠場したマイク・ベルナルドが来日。なぜか、ヴァリッジ・イズマイウと一緒という珍しい組み合わせが実現！

◀今大会が最後となるガールズ勢。長い試合が多かったので、出番も多かった！

石井館長、いかがでしょうか？ボクたちはこれで今大会を100倍楽しみました！

本誌記者陣が、PPJ（プロフェッショナル・ポイント・ジャッジメント）で『K-1 WORLD GP 2000』を徹底分析！

※各項目10点満点（合計50点満点）。なお、P38～43の座談会で、このPPJ（プロフェッショナル・ポイント・ジャッジメント）に関する説明をしているので、そちらを読めばより深い理解ができるハズ。そして、さっそく次号（12/28発売号）では12・23『プライド12』の桜庭vsハイアン戦と藤田vsアイブル戦の、アナタのPPJを募集するので、どんどんFAXヨロシク！　詳細はP44参照。

決勝

ホースト	セフォー
10	5
10	5
5	5
0	0
5	3
30	18

寸評

今回のGPの特徴は、総じて③のKOスピリットと④の勝ちっぷり負けっぷりの点数が極めて低かったということである。その分だけ、⑤のインパクトも低くなる。それは、どういう試合かというと「判定」試合ということだ。判定試合は、①のモチベーションや②の技術・戦略は見えにくい。特に一般の素人には、言葉で説明してくれない限り、まず分からないだろう。③、④、⑤が低い点数だということは、要するにマニア向きの試合だということだ。こうなるとちょっとヤバイ。かつて、K—1はKOスピリットや勝ちっぷり負けっぷりが際立って、世の中をビックリさせた格闘技だった。それがK—1の一番の売りだったと言える。その③、④が低いながら、①、②の高かったホーストが優勝し、そこが足りなかったフィリォは全体的に点数が低くなってしまった。それが今大会の特徴である。③、④、⑤が高く、一人目立ったアビディこそ、本来のK—1の姿なのに……。

ホースト	セフォー
8	6
8	4
8	4
7	0
7	0
38	14

寸評

0点が多いのは見ている側としては、腹が立ったからだ。それだけこっちが“本気”だということである。つまりリングで闘っているファイターと“濃密な関係”を持ちたいという自分が、0点を付けさせてしまうのだ。本当を言うと武蔵の負けっぷりには、10点を付けたかった。あれは笑わせてくれた。なぜなら石井館長は武蔵を優勝候補の“本命”にあげていたからだ。そういう点の付け方もあるが、私は正攻法で0点にした。1回戦のモチベーションは、どうしても選手は“省エネ殺法”をとってしまうので、点の付け方が難しい。点を付けてみてあらためてバンナとベルナルドの欠場は、やっぱり痛かった。この2人のいい所は勝敗とは別に相手の選手を、浮かび上がらせてしまうことだ。その点、優勝したホーストは悪く言うと面白くも、おかしくもない選手。10点がどこにもないのは、今年のK—1がつまらなかったということの証明でもある。

ホースト	セフォー
10	8
8	5
5	5
5	5
5	5
33	28

寸評

この表で大切なのは、「モチベーション」と「技術・戦略」「KOスピリット」が三角形の関係にあることだろう。例えば三角形の右下に「KOスピリット」左下に「技術・戦略」をおいて見よう。今大会で明らかになったのは、「技術・戦略」に重点をおくと、「KOスピリット」が下がり、逆に「KOスピリット」が増すと、「技術・戦略」の度合いが下がる。そして、それらと等距離に「モチベーション」がある。フィリォとアビディがちょうど左右の対称的な位置にいた。技術をかなぐり捨てて、KOを狙いにいくアビディは確かに強かった。その荒々しさを見せることがアビディのモチベーションの高さを示す。これに対しフィリォは、確実に勝ちたいというモチベーションが高かったために、本来はアビディのような型破りの破壊力を持っているにもかかわらず、防御主体の判定勝ち狙いに終始した。モチベーションの高さとは、右にも左にも流れていくものなのであろう。

ホースト	セフォー
10	6
10	4
8	4
4	4
4	3
36	21

寸評

私は元来ボクシング出身だから、格別な極真信者ではない。だから、逆にそう思ったのだろうか。今日のフィリォから妙な男の色気が伝わってきた。1回戦に登場してきた時の表情だけで『ビビビッ』ときた。彼は己のために闘っているのではない。リングに向かうだけで、背負うことになる全てのものと闘っているのだと感じた。試合もそうだ。レコはキックボクサーとして、実に合理的な攻撃を仕掛けてくる。しかし、格闘技者たるフィリォはそうではない。一撃必殺の名のもとに、ギリギリのタイミングまで引き込んで右の正拳を合わせた。ここでも『ビビビッ』だ。ホーストとの対戦の2Rも忘れられない。中間距離から強烈な左ボディブローを打つオランダ人に、同時に右クロスカウンターを強襲したのだ。この後、ホーストが肝臓を狙った左パンチは至近距離からの一度きりだ。一瞬に全てを投げうってKOにかける極真王者の意地とモチベーションに私は感動した。

ホースト	セフォー
9	6
9	5
0	5
0	0
10	1
28	17

寸評

採点の基準はインパクト重視。つまり、試合後の印象を基本に評価をつけてみたわけだ。例えば、1回戦のホースト対ミルコはミルコの気迫のなさがともかく印象度大。ゆえにインパクトは10点満点。KOスピリットの10点は、そのスピリットのあまりのなさを高評価。去年のGPではあれだけ活躍したのに今年のやる気のなさはちょっとがっかり。アビディの50点満点は当然だろう。フィリォについては、準決勝の闘い方で空回り感を痛感！　最終ラウンドに大振りパンチ（空突き）を散々繰り出すなら、1、2ラウンドで行け！　あまりにも守りすぎでもったいない。特筆すべきは優勝したホースト。1回戦こそ、気迫を前面に出したものの、あとは完璧に勝つためだけの試合。K—1のガイ・メッツアー。だが、ガイ・メッツアーなら誰がKOで勝つかというのがこれからの楽しみ。決勝戦でのインパクトのみ、ホーストが満点なのはそういう意味で期待度がデカいからだ。

ホースト	セフォー
8	10
8	6
5	6
5	5
5	5
31	32

寸評

アーツ、セフォーらトップファイターと闘っても、いつの間にか観客の目を自分に釘付けにしてしまうという点で、アビディには2試合とも満点をつけた。周りのスタッフは「武蔵のダメさがインパクトに残った」と話していたが、私はやっぱりアビディが一番良かった。準決勝戦の入場時に起こった“アビディ・コール”には鳥肌が立った。これだけ毎回期待どおりの活躍ができる選手って貴重な存在だと思う。あと、意外にいいなぁと思ったのがホーストの1回戦。あまりのうまさにミルコの良さが封じ込められてしまい、爆発的な面白い内容にはならなかったが、いつも慎重な闘い方をするホーストがなんだか試合を楽しんでいるかのような躍動感あふれた動きをしていたところが良かった。でも、試合が進むにつれていつものホーストに戻ったので、点数も下がってしまったけどね。それにしても●●●選手の試合結果があまりにも予想どおりでちょっと拍子抜け。誰とは言わないけど。

ホースト	セフォー
10	2
10	5
8	5
10	0
5	3
43	15

寸評

フィリォのポイントが低い理由は、「極真だから」につきる。ちょっとくらい技術を覚えて顔面パンチに対応できるようになったからって、極真的には意味がないんだって！　カゼをひいてコンディションが悪かったという情報もあるが、逆境であればあるほど凄みを見せつけるのが“極真者（きょくしんもの）”ではなかったか。武蔵に関しては、もう……。いい加減にしてくれないだろうか、こんなのは。期待してた分だけ腹が立つ。スピード&スキル重視のスタイルを選択した以上、勝たなければ意味がないのだから「負けっぷり」なんて評価の対象にはならない。それにこんな負け方じゃあ、モチベーションだって疑わざるをえないじゃないか。ホーストは、勝ち進むにつれてポイントがアップしていった。面白かろうがつまらなかろうが、とにかく勝つ。それがホーストの“味”なわけだから……。「ご立派」の一言です、ハイ。

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP 2000 決勝戦
12.10★東京ドーム

『K-1 WORLD GP 2000』を見ての、本誌記者陣のPPJは以下のとおりなのだが、果たして今大会で、もっとも評価の高かった選手は誰で、逆に評価の低かった選手は誰なのか？　各選手の合計点のアベレージを出してみた。……すると、高評価ベスト3は、41.1点のアビディ、35.2点のセフォー、そして32.7点のアーツ。反対にワースト3は、14点のミルコ、14.4点のフィリォ、そして15.8点のレコという結果になった。果たして皆さんのPPJはいかに？

	準々決勝戦		準々決勝戦		準々決勝戦		準々決勝戦		準決勝		準決勝	
サダハルンバ谷川編集長	ホースト	ミルコ	フィリオ	レコ	アーツ	アビディ	セフォー	武蔵	ホースト	フィリォ	アビディ	セフォー
モチベーション（闘志・気迫）	10	7	3	5	10	10	8	0	10	0	10	8
技術・戦略	10	5	7	5	8	10	10	0	10	3	8	10
KO スピリット	5	5	0	0	5	10	10	0	5	0	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	0	0	0	0	3	10	8	8	0	0	10	8
全体的な印象・インパクト	6	3	3	3	7	10	5	10	5	0	10	8
合　計	31	20	13	13	33	50	41	18	30	3	48	44

ターザン山本	ホースト	ミルコ	フィリオ	レコ	アーツ	アビディ	セフォー	武蔵	ホースト	フィリォ	アビディ	セフォー
モチベーション（闘志・気迫）	7	6	8	8	7	9	8	5	7	7	6	8
技術・戦略	7	4	5	5	5	7	8	5	6	4	4	6
KO スピリット	7	4	5	4.5	6	7	8	0	5	5	5	8
勝ちっぷり負けっぷり	5	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	8
全体的な印象・インパクト	5	0	0	0	0	0	8	0	1	0	5	6
合　計	31	14	18	17.5	18	23	40	10	19	16	20	36

山田英司Kマガジン編集長	ホースト	ミルコ	フィリオ	レコ	アーツ	アビディ	セフォー	武蔵	ホースト	フィリォ	アビディ	セフォー
モチベーション（闘志・気迫）	10	8	7	7	10	10	10	10	8	3	3	10
技術・戦略	10	0	3	3	5	0	9	9	8	0	3	10
KO スピリット	0	5	0	0	10	10	10	3	0	0	8	10
勝ちっぷり負けっぷり	0	0	0	0	5	5	10	8	0	0	10	10
全体的な印象・インパクト	8	3	0	0	5	10	8	5	0	0	10	10
合　計	28	16	10	10	35	35	47	35	16	3	34	50

宮崎正博	ホースト	ミルコ	フィリオ	レコ	アーツ	アビディ	セフォー	武蔵	ホースト	フィリォ	アビディ	セフォー
モチベーション（闘志・気迫）	10	2	10	5	10	10	8	8	10	8	10	10
技術・戦略	8	2	6	6	8	4	8	4	10	6	6	8
KO スピリット	5	0	8	3	4	8	10	5	6	6	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	5	0	3	3	8	8	10	10	6	6	10	10
全体的な印象・インパクト	5	0	6	3	10	10	6	6	6	6	8	10
合　計	33	4	33	20	40	40	42	33	38	32	44	48

中村カタブツ君	ホースト	ミルコ	フィリオ	レコ	アーツ	アビディ	セフォー	武蔵	ホースト	フィリォ	アビディ	セフォー
モチベーション（闘志・気迫）	10	0	10	5	10	10	10	10	5	3	7	9
技術・戦略	5	10	6	5	5	10	5	10	5	2	8	6
KO スピリット	5	10	8	5	9	10	10	10	1	1	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	0	0	0	0	5	10	5	10	1	1	9	9
全体的な印象・インパクト	0	10	2	0	9	10	5	10	1	10	10	2
合　計	20	30	26	15	38	50	35	50	13	17	44	36

石黒由佳子	ホースト	ミルコ	フィリオ	レコ	アーツ	アビディ	セフォー	武蔵	ホースト	フィリォ	アビディ	セフォー
モチベーション（闘志・気迫）	5	3	5	5	10	10	8	3	5	5	10	10
技術・戦略	10	4	5	5	5	10	5	0	5	0	10	10
KO スピリット	5	3	0	5	5	10	10	0	5	0	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	5	0	0	5	5	10	8	10	5	0	10	10
全体的な印象・インパクト	8	3	5	5	5	10	5	5	5	0	10	5
合　計	33	13	15	25	30	50	36	18	25	5	50	45

橋本宗洋	ホースト	ミルコ	フィリオ	レコ	アーツ	アビディ	セフォー	武蔵	ホースト	フィリォ	アビディ	セフォー
モチベーション（闘志・気迫）	10	6	0	5	10	10	8	0	10	0	10	8
技術・戦略	10	5	7	5	10	10	10	0	10	3	10	10
KO スピリット	6	5	0	0	5	10	10	0	6	0	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	0	0	0	0	3	3	10	0	0	0	10	10
全体的な印象・インパクト	5	0	0	0	7	10	10	10	7	0	5	10
合　計	31	16	7	10	35	43	48	10	33	3	45	48

※マルで囲んだ数字は、採点者の特徴が出ているところです。

総評――
誰がこんな筋書きを書けるだろう? 大誤算はフィリオと武蔵だった!

文◎谷川貞治

誰がこんな筋書きを書けるというのか?

20世紀末、格闘技界の中で最も成功を収めた「K―1」。そんなK―1のミレニアムを見続けることは、まるでジェットコースターに乗せられているような気分の一年だった。

バンナVSフィリォのような「千年に一度のKO劇」が見られたかと思ったら、最強アーツが腰痛で戦線離脱。それでも、アビディという超新星が出てきたので、まあいいやと思っていたら「ミスターK―1」と呼ばれたアンディ・フグという象徴が急死。これは長らく格闘技を見てきた中でも、最もショックが大きく、信じられない出来事だった。

さらに、K―1の創生期を支えていた一人であるサム・グレコがなんとプロレス転向。今年、最もK―1の中で強さの象徴となったバンナまで交通事故に遭うというアクシデントに見舞われる。

いったい、誰がこんな筋書きを書いているんだろう?

それでも、アンディの死は、ボクシングに転向したベルナルドをK―1に再び引き戻した。しかも、決勝トーナメントの抽選会では、信じられないほどの最高の初戦組み合わせが実現する。バンナVSフィリォ、アーツVSアビディ、ホーストVSミルコ、武蔵VSベルナルドといったリベンジ戦の実現は、運命のいたずらとしか言いようがない。こうした奇蹟もあって、今年の東京ドーム大会は、あっという間にチケットが完売した。

だが、波乱はこれだけで終わらなかった。なんと、大会1週間前になって、アンディの遺志で復帰したベルナルドと、優勝本命中の本命バンナが続けざまに欠場となってしまったのである。

バンナは「伝染性単核球症」という病気、ベルナルドは「左ふくらはぎ筋肉断裂」という負傷。それを聞いた時、まさに麻雀で僅差でなんとかトップを走っていながら、最後の最後にダブル役満を振り込んでしまったような気分になった。

ああ、本当に誰がこんな筋書きを書いているんだろうか……。

でも、でもである。K―1は本番が異常に強い。最後の最後はまた、K―1の女神が微笑んでくれるに違いない。それが、90年代を突っ走ってきた「K―1」だったではないか?

思えば、20世紀の立ち技格闘技は、大山倍達から始まっている。ならば、最後はその大山倍達の遺伝子を継ぐフィリォが締めくくるのではないかという期待感が起こる。そうだ、20世紀の立ち技格闘技は、大山倍達で始まり、大山倍達で終わる。最後は大山総裁がフィリォを勝たせるのではないか?

あるいは、K―1の悲願は、日本人のK―1王者を出すことにある。つまり、立ち技で顔面パンチありの世界でも、桜庭和志のような存在を誕生させることだ。

その悲願を背負うのは、武蔵。特に今回の武蔵はかなり自信満々で、悪く言うヤツらに対して「吐いたツバを呑まんとけよ!」とまで言ってのけた。そして、「自分の闘いは結果が全てである」と。

しかし、武蔵のその結果は、調整不足の代打セフォーに1RKO負け。そして、フィリォは本当に何も見せることなく、静かに準決勝で敗れていった。

アンディがいい例だったように、K―1はハンディを背負った者にファンは感情移入していく。日本人というハンディや、空手家というハンディがその典型的な例だった。だから、正直言って武蔵とフィリォがダメだったところに、世紀末のK―1の全てが集約されてしまった。期待が大きかった分、誤算も大きい。

では、K―1とは技術的・戦略的に長けたホースト(準優勝のセフォーも同じタイプ)が主役でい続ける世界になってしまうのだろうか。ホーストはうまさで他の一枚上をいき、全試合〝判定〟で勝った。でも、少なくとも僕の好きなK―1はそうではない。

しかし、そんな中、一人観客をワクワクさせた男がいる。それが「本能」を武器に闘うアビディだ。欠場したバンナもまったく「本能」で今年、K―1の魅力を爆発させた。つまり、武蔵とフィリォの「感情移入型」がコケて、最後は「本能」がK―1の勝利者となったと言える。それが、K―1ワールドGPの結果とは別の我々見る側の総括である。

では、21世紀のK―1はどうなるのか? その答えは、ファイターがいかに〝見る側〟と真剣勝負できるかにかかっているのだ。■

Showの闘魂伝書
—パラオ編（11・30〜12・3）—

今回も行ってまいりました、パラオ共和国の闘魂・猪木塾！　今回、猪木はなんとプロレスラーでも、直弟子でもない佐竹雅昭を引き連れてのパラオ入り。果たして２人の間に何があり、佐竹は猪木から何を学んだのか。佐竹の表明した「打倒・小川直也」の動向も見据えながら、私、Showが渾身レポートをします！

崖っ淵に立たされた男に「闘魂」注入！

佐竹にかけた「猪木の謎」

小川に敗れた佐竹を救おうとしているのがなんと猪木。この行動自体、非常に謎である

佐竹は猪木のことを「猪木先生！」と呼んでいた

闘魂棒を使ってのトレーニング。慣れるまで、かなりキツそうな運動だ。力は猪木よりあるはずの佐竹がなかなかうまく回せない

小川直也との〝柔道VS空手〟の世紀の他流試合に敗れ、千尋の谷底に突き落とされた佐竹。11月30日から4日間、その佐竹をなぜか猪木がパラオ共和国にある猪木アイランドへと、連れて行った。

今年3度目となる猪木の闘魂塾。しかも、今回は過去2回と違い、プロレスラーではない佐竹を連れての旅。見方によっては、小川に雪辱することを胸に秘める佐竹に、猪木が救いの手を差し伸べようとしているとも取れる。

だが、いわゆる〝格闘家〟は潜在的に〝プロレスラー〟を見下すところがある。猪木ともなれば別格だが、それでも佐竹が素直に猪木から何かを学ぼうとするのか、若干の不安があった。小川も最初は、どこかでそういう気持ちを持っていたに違いないからだ。

ところが、意外や意外、佐竹は予想以上に素直な気持ちで猪木に接していた。猪木のことを佐竹は「猪木先生」と呼び、明らかに一歩も二歩も下がって教えを乞う姿が、取材中に何度も見られたのである。

たとえば、現地に着いて2日目のこと。「空手衣に着替えた佐竹と恒例のヤリ特訓をしている姿を写真に収めたい」と同行した取材陣がお願いしたところ、猪木は「今回はヤリはいいだろう……ヤリきれない」と得意のダジャレで煙に巻いていた。

しかし、佐竹は真面目に「猪木先生、よろしくお願いします」。この素直さに動かされたのか、猪木はなんと、島の木に吊り下がっていた古タイヤを利用して、佐竹に伝家の宝刀・延髄斬りまで伝授したのである。

「天龍の延髄斬りなんて、伸ばし

闘魂・猪木塾で恒例のヤリ特訓を体験

▲リング上では実現しなかった猪木と佐竹の両雄が激突。恒例となったヤリ特訓を佐竹も体験。それにしても、佐竹は猪木に対して礼儀正しく接していた

猪木、佐竹に延髄斬りを伝授！「佐竹は俺のように空中でピタッと動きを止めることができる」

猪木についに伝家の宝刀・延髄斬りを伝授される佐竹。さすが佐竹は空手家ということもあって、猪木にほめられるような技術を見せた

「天龍の延髄斬りなんて、伸ばした足がドテッと当たるだけだけど、佐竹の場合は俺のと同じで、空中で一瞬ピタッと止まって、ヒザがムチのようになってるじゃない」と猪木。ここまで誉められれば、佐竹も闘魂伝承者の仲間入りと言うことか？

かつて、猪木はできあがってしまった新日本プロレスを目覚めさせようと小川という外敵を作った。それによって、小川自身もプロとして開花。しかし、今度はそんな小川に対して、次なる〝気づき〟として佐竹を差し向けようとしているのか？　そんな思いがよぎる。

そして、その日の夜のこと、島にある居酒屋さくらで猪木一行と会食をとった際に、猪木は佐竹に謎をかけてみせたのである。

「1から3の数字を思い浮かべて、それをこの紙に書いてみな。俺に見せたらダメだよ」と猪木。

佐竹が紙に数字を書き「書きました」と答えると、「見せてみな」と猪木。佐竹が紙に書いていたのは「3」の数字。そして、猪木も手元にあった紙を裏返すと、なんとそこにも「3」の数字が書いてあったのだ！

佐竹は最初、疑心暗鬼で近くにあった紙を裏返し「本当は別の紙には1とか2が書いてあったんじゃないですか」と猪木に質問。しかし、猪木はそれに対し、「そういう考えは不純だろう」と正した。「これは手品でもなんでもない。その瞬間にフッと感じた数字を書くだけなんだ」と猪木は言う。そのため「百発百中というわけにはいかないが、それでも9割は的中する」とも言っていた。

「佐竹は理解が早い分、深くモノにできないかもしれないな。言葉じゃないし、一瞬一瞬だから」

▲関節技を仕掛ける猪木。「頭で考えるな！ 感じろ！」というのが猪木の教え方だ

頭で考えるな！肌で感じろ！

▲ガードポジションで、立っている佐竹の攻撃をしのぎ切る猪木。これが本当の猪木・アリ状態だ

◀佐竹の筋肉を猪木自らが足でほぐしながらスパーリングへと移行。この後、佐竹の詰まっていた首も治してみせた

▲▼猪木アイランドでスパーリングを繰り広げる2人。佐竹にとっても、一瞬一瞬が非常に貴重な時間だ

実際、他の取材陣も挑戦したのだが、4回行って、そのうち当たらなかったのは1回だけ。この猪木の謎かけとはどういう意味だったのか。佐竹は闘魂の神髄に触れたことに、素直に驚き、喜んでいるように見えた。

猪木の謎かけが少し分かってきたのが、佐竹に対する感想を猪木に求めた時だ。

「佐竹？ 理解が早い分、深くモノにできないこともある。言葉じゃないし、一瞬一瞬だから。まあ、これから身体で体験していくと思いますから」

たしかに僕たち取材陣から見ても、格闘家として佐竹は抜群に頭が良いという印象がある。しかし、猪木が求めているのは、頭の良さではなく、皮膚感覚で何を感じとれるかということだ。佐竹は格闘技の技術だけでなく、猪木と接することで何を感じることができるか、そこに佐竹が変貌を遂げる鍵が隠されているような気がする。

自己改造が今の佐竹のテーマ。変わることができなければ、小川戦の敗北も、猪木と過ごした何日かもまったく無駄になってしまう。

帰国前日、猪木が佐竹に、小川にも課した闘魂棒トレーニングをやらせた。

猪木が自由自在に闘魂棒を操っているのに対し、力は猪木よりもあるはずの佐竹が、なかなか上手く使いこなすことができない。これも腕力だけではない、猪木の超力を見た思いがした。

さらに、その後は闘魂塾のラストを飾る戦慄のスパーリングへと続いていく。もちろん、佐竹にも高田道場他で培った技術が備わっ

者だねえ……」と一言。こんな僕ですが、読者の皆様、よろしくお願い致します。あ、そういえば11月29日夜、現地に到着すると過去2回と違い、電飾があちこちにキラめいていた。やはりXマスは世界中の共通項なのだ、と思った3度目のパラオ取材でした！

「俺は人を育てることに苦手意識を持っているから」（笑）

▲もちろん、詩集も読んでいます。新しい詩はできたか？猪木は我々に自作の詩を読んでくれた

▲世紀末のマット界のことを語る猪木。その内容については、また別の機会に

▲今回は佐竹の明るさもあって、取材陣も海へ。こんなことは初めてだった

▲佐竹は猪木に何を感じ、学びとったのだろうか？

▲美味しそうなスイカを切る猪木。素敵だ！

▲船を出した猪木・佐竹のコンビは、ゴーグルやシュノーケルをつけながら、海を探索した

▲浜辺で瞑想する佐竹。それにしても、海と空手衣はよく似合う

『あなたの「体」は訴えている』著者・山田先生のこれを食べろ！

▶中央が山田豊文・杏林予防医学研究所所長

ま	〔マメ〕	マグネシウム
ご	〔ゴマ〕	抗酸化栄養素
は	〔ワカメ〕	カルシウム、亜鉛、マンガン、銅
や	〔野菜〕	ビタミンA、ビタミンB、ビタミンC、食物繊維、オメガ3脂肪酸
さ	〔魚〕	タンパク質
し	〔シイタケ〕	糖鎖、ビタミンB
い	〔イモ〕	カリウム、食物繊維

　今回の闘魂塾には杏林予防医学研究所の山田豊文所長も同行していた。山田豊文所長は『あなたの「体」が訴えている』（総合法令出版）他、数多くの著書で、現在の日本の食生活の在り方やスポーツ選手の指導にも精通している医学（分子栄養学）博士。過去には原辰徳、曙、小川直也……と、多岐にわたって様々なスポーツ選手を陰で支えてきた実績もある。僕らは「山田先生」と呼んでいたが、山田先生から「マーガリンは食べたらダメ。牛乳は骨を弱くする」といった衝撃の数々を聞かされて愕然。日本人は特に「マグネシウムが不足している」とも言っていた。聞くところによれば、12月中にも佐竹は「ファスティング」と呼ばれる減量に入り、3日で7キロほど体重を絞る予定。そして来るべき小川との再戦の機会を待つことになる。「今度やれば、必ず佐竹選手が小川選手に勝ちますよ。それは私がついたんだから」と山田先生は熱く語っていた。

ている。しかし、それを超えたところに猪木流の奥義があるとすれば、それをマンツーマンで体感するうちに、佐竹も肌で闘魂を実感できるかもしれない。

　実際、この時の佐竹の顔は、言葉にすると陳腐だが、もの凄く〝いい顔〟をしていたように思えた。しかし、佐竹にも驚かされる。

　練習が終わってシャワーを浴びたあとのことだ。プロレスラーではない佐竹が、思いもかけない言葉を猪木に投げかけた。

「猪木先生、マッサージをさせてください」

　これは猪木の内弟子に当たる選手からは絶対に出てこない言葉だ。猪木の内弟子たちは、そんな言葉は距離が近すぎてかけられないし、猪木に対しては恐れ多くて話しかけられない。しかも佐竹は「Showも猪木先生の足の裏をマッサージして。ほら！」と僕にもマッサージを促すのである。

　まさかこんな貴重な体験をするとは、僕も思ってもみなかった。

　様々なことがあった闘魂塾。

　大自然、光、空気……この島では、そんな当たり前のものが意識的に感じられ、人々のこだわりを消し去っていく。

「俺は人を育てることには、苦手意識を持っている人間ですから（苦笑）。ただ、俺らの経験の中で培ってきたノウハウがあるから、それを早く呑み込んでもらいたいね」と猪木。

　猪木から何かを学ぶには、言葉ではない。何かを感じるしかないのだ。佐竹はこの闘魂塾で何を感じたのか？　そして、感じたら走り出せ！　ヒャッ!?（Show）

はみだしShow　今取材中、「人生の達人だね。いつもニコニコしてさあ」と猪木さんに最高のホメ言葉（皮肉？）をもらった僕。山田先生にマグネシウムをもらい、頭部の痛い箇所も治療してもらっていると、「お前、図々しいなあ」とも言われてしまった。さらに猪木さん自身にも“手かざし”で頭を見てもらうと、「大丈夫。エネルギーが入っていくから」とポツリ。それを見ていた佐竹が「幸せ ↗

顔面血だるま！極真・野地竜太衝撃度満点のデビュー

やっぱり、ヤツは『選ばれし者』だった

顔面血だるまになりながらも1RでKOデビューを果たした野地竜太。この後、小さく“押忍”と十字を切ったのがカッコ良かった

極真の選手が他流試合をすると、どうしても私は心情的に、勝手に身内になってしまう。これはどうしようもない性（サガ）。だから、べつに特別に野地竜太とメシを食ったり、遊びに行ったことはないのだが、今日は野地の兄のような気分であり、父のような気分で全日本キックの会場に足を運んだ。

野地のような世界大会でもベスト8に入るほどの大物日本人が、「極真会館」の所属でキックのリングに上がるのはもちろん史上初。しかも、会場には松井章圭館長をはじめ、城西支部や浅草支部の人間が多数駆け付けている。こうなると、余計にソワソワしてくる。

でも、アンディがプロに転向したり、フィリォがK―1に登場した時の緊張感とはちょっと違う。これは、どういう気持ちかと考えていたら、私には息子はいないが、たぶん授業参観に来た父兄はこんな気持ちじゃないかと気が付いた。

息子・竜太は空手衣を着ずに、一撃タオルを肩からかけて入場してきた。ポッチャリしているが、目にはかなり狂気が入ってていい。しかし、不安なのは息子がまだキックの勉強を始めて2カ月くらいしか経っていないということだ。

私は息子がどんな受験勉強をしてきたのかよく知らない。ただ、先生は厳しさでは有名なあの藤原敏男。聞くところによると、藤原先生は質より量を大切にする人で、息子に対しても、技術的なことよりも何Rもミットやスパーリングをさせたらしいⅰ。たしかに信頼できる先生だが、それでも受験させるには早過ぎるんじゃないか……。

ゴングが鳴った。息子・竜太は

全日本キック

LEGEND-X

11・29★後楽園ホール

アンディとも、フィリオとも違う顔面パンチの洗礼！されど、ドラマチックさは匹敵！

▲いきなりDEIONにパンチでメッタ打ちにされる野地。顔面のガードはできていない

こんなに分かりやすく殴られる格闘家も珍しい。ハラハラ、ドキドキさせる男だ

▲全日本キックの会場、後楽園ホールの控室に野地がいる。それだけでワクワクするものがあっ

▲会場には、極真の大会で見られる野地を応援するタレ幕が。よく見ると、凄い文句が書いてあ

▲リングサイドの本部席には、全日本キックの金田敏男会長の隣に松井章圭館長の姿が

▲DEIONは顔面狙い一本。開始早々左フックで野地のヒザがガクンと折れ、あわやダウン

▼キックボクサーにはない脂肪のついた野地の肉体。セコンドには長嶋一茂も急きょ就いた

◀空手衣を着ずに一撃タオルを肩にかけて入場してきた野地。その目にはかなり狂気が走っていた

◀対戦相手のDEION（本名・佐賀勝人）はグローブ空手の新空手全日本大会重量級を制した強豪。キックも5戦の経験がある

▲還暦を迎えた重鎮・郷田勇三最高顧問も駆け付けた。隣は極真OBでもある加藤重夫藤ジム会長

闘志満々で前に出る。しかし、そこに対戦相手のDEION（ディオンと読む日本人）の左フックがいきなり顔面にヒット！

ああ、ドジ！　極真の試合じゃないんだから、もっとガードを上げて、距離をとれ！　いきなりいくんじゃない！

しかし、DEIONの猛攻は止まらない！　左右のフックが顔面をガツンガツンと捕らえる。DEIONは、新空手の全日本チャンピオン。キックの経験も5戦もある。今さらこんなことを言うのもなんだけど、松井館長に「その相手は厳しすぎるんじゃないですか？」と言っておきゃよかった。

後悔している間にも、息子の顔面はみるみる真っ赤になり、顔も切れ、鼻血も両方から出ている。

バカっ！　だから、ガードを上げろって！　落ちつけ！　落ちつけ！　あーっ、足がグラッときた。もうダメなのかぁ～？

ふと横を見ると、私と同じような気持ちに、たぶんなっているセコンドの長嶋一茂さんが「タオル投げようか」と相談している。おいおい、ちょっと待て。もう少し我慢しようじゃないか一茂さん。

でも一茂さん、あんたも今日は急に居ても立ってもいられずにセコンドについたんでしょ。だから、そんな即席の人がタオルなんて投げないでしょう、普通。

ああ、でも私もこんな気分になるなら、タオルの一つくらい持ってくりゃあよかった。

そんな絶体絶命の危機にハラハラ、ドキドキ、ソワソワしているのをよそに、息子は徐々に冷静さを取り戻し始めた。考えてみれば、

全日本キック
LEGEND-X
11・29★後楽園ホール

この勝負強さ、ドラマチックさを見よ

▶ミドルキックの連打でペースを掴みかける野地。やられても前に前に出続ける

▶DEIONの攻撃が止まったところに、野地の素人とは思えない右フックが炸裂！

▶DEIONが遂にダウン。野地竜太はしかも返しの左フックを忘れていない。それにしてもここで普通逆転するか

◀鼻血を出し、目は充血していた野地の周りには多くの報道陣が詰めかけていた

野地のコメント

「（率直な感想は？）最初からくるとは分かっていたんですけど、いざこられると面食らってしまって、ちょっとペースが掴めなかったけど、途中からは見えたので。まあ、最初はビックリしました。（顔面の攻撃は効きましたか？）倒れる感じはしなかったけど、痛かったです。（グラッときてましたけど、意識は？）意識はハッキリしてました。でも、面白いくらいにパンチをもらっているなというのは分かったので、ちょっと冷静にならないといけないと思いましたけど。（作戦は？）作戦も何も、相手の選手に胸を借りるつもりでやったので、思い切り蹴って、思いきり殴る、それが作戦です。それしか考えなかったです。（今後の課題は？）もうちょっと落ち着いて闘わなければいけないということと、顔面の受けです。（良かった点は？）途中で切り替えられたので。最初の状態だったら倒されていたと思うんですけど、いけないぞと思って自分の中でスイッチを切り替えられたんで、それが唯一良かった点です。（松井館長に何か？）感謝の気持ちでいっぱいです。（K-1出場は？）まだ、今日のような試合をしている状態ですので、自分がどんどん勝って上達していけば道が開けると思いますので、目標としてはありますけど、今の時点では見えません。（今後の予定は？）決まってないです。練習して新しい技術を身に付けたらそれを試してみたいので、また試合には出たいです。まだ、自分の思いどおりに動けないんですけど、一戦一戦確実に強くなっていきたいと思っていますので応援よろしくお願いします。押忍！」

最後は極真の仲間が祝福 こんなシーンも初めてだ

▲世田谷東支部の田口恭一支部長を中心に極真の全日本クラスの仲間が祝福。こんなに多くの極真関係者が集まったのは初めて見た

▼野地のヒヤヒヤの勝利に、松井館長も嬉しさを隠しきれない

▼ＳＲＳの長谷川京子も祝福。急きょセコンドに就いた長嶋一茂は「もう少しでタオル投げるところだったよ！」と興奮。みんな絶句していた!?

「K―1はもっと強くなってからです」

▲やっぱり天性のプロファイターだった野地。インパクトでは、この日の全試合を食った

★特別試合／ヘビー級3R
○ 野地竜太（1R2分41秒、KO勝ち）DEION ●
〈極真会館〉 〈REX JAPAN〉
※右フック

竜太は根っからの攻撃型の選手だが、少し話をしてみると、性格はどこか冷めているところがある。冷めているというより、自分をちゃんと客観視できる頭の良さを持っている子なのだ。

これはちょっとした自慢になるが、そこが竜太の取り柄でもある。へへへへ。ガンガン攻めて喧嘩空手なんて言われているが、本人は意外と冷静に自分を見ているのだ。

だから、きっと「これはヤバイなぁ」と必死に立て直しているんだと思う。よ――しっ、ミドルが効いた。相手の動きが止まったぞ。と、その瞬間、息子の右フックがものの見事にＤＥＩＯＮのアゴをとらえ、遂にダウン！

バンザーイ！

バンザーイ！

ついでに、ダ――ッ！

相手はそのまま立ってこなかった。見事な〝一本勝ち〟である。

顔面血まみれになりながら、本当に倒れそうな状況でのこの大逆転劇。これはアンディやフィリォ以上に本人にとっては大きなプラスになったデビュー戦とも言える。

本当は経験や準備不足で臨んだ今回の一戦は負けてもいいとさえ思っていた。負けた試合でも、あれだけ耐えれば学ぶところがいっぱいあるからだ。しかし、負けそうなほど苦しい状況で勝った試合は、さらにプラスになる。

そうか、3年後の世界大会に向けて、グローブを付けた他流試合をやる意味って、こういう修羅場を経験することにあったのか。それにしても、こんな勝ち方ができる息子は、やっぱりこの世界の「選ばれし者」だったのだ。（谷川）

※11・29全日本キック『LEGEND-X』後楽園大会のその他の試合については、次号でお届けします。

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS DX
スペシャル・リング・サイド
No.36 12・28号

CONTENTS

大会速報

12・10『K-1 WORLD GP 2000 決勝戦』東京ドーム大会 —— 3

■トーナメント1回戦
ピーター・アーツVSシリル・アビディ
武蔵VSレイ・セフォー
フランシスコ・フィリォVSステファン・レコ
アーネスト・ホーストVSミルコ・クロコップ
■トーナメント準決勝
■トーナメント決勝

SRS・DXの注目!

闘魂伝書★パラオ編 佐竹にかけた「猪木の謎」 —— 29
11・29 全日本キック後楽園ホール大会
顔面血だるま、極真・野地竜太 衝撃度満点のキックデビュー —— 34
12・3 新日本キック ラジャダムナン大会
小笠原、殿堂ラジャダムナンでタイトル奪取! —— 63
12・4 パンクラス日本武道館大会
船木誠勝、涙の引退式。そして…… —— 85
12・5 タイ国王生誕記念大会に魔裟斗が堂々の出場 —— 91
12・31 猪木ボンバイエ 直前&仰天情報! —— 95

噂の三面記事 拡大版

◎猪木ボンバイエ——猪木の名のもとに、遂に新日本プロレスとPRIDEが合体!!◎桜庭VSカシン戦が早くも決定! 猪木がグレイシーと対決か?◎『プライド12』——藤田はアイブルと野獣対決。KOK王者ヘンダーソン出場! ほか —— 53

INFOMATION

驚愕! 遂に桜庭の技術書が完成(しかもビデオ付き) —— 60
新刊紹介 アンディ・フグ追悼本が遂に発売! —— 62

大会レポート

11・30 シュートボクシング 後楽園ホール大会 —— 82
11・23 新日本キック&11・26 ニュージャパンキック —— 83
11・26 バトラーツ駒沢大会 —— 100
11・25 『コンテンダーズ』 ディファ有明大会 —— 104
12・5 『ReMiX』 武道館大会 —— 106
11・25 『L-1 2000 THE STRONGEST LADY』代々木大会 —— 108
11・19 大道塾 北斗旗 無差別選手権大会 —— 110

たっつぁん万座ビーチ(読者プレゼント) —— 112
『SRS・DX』格闘技グッズ通販情報 —— 118

格闘技パーフェクトガイド

大会ガイド&チケット情報 —— 46
バックナンバーインフォメーション —— 51
浅草キッドのイチ押しイベント —— 52
SRS番組インフォメーション —— 69
TVガイド —— 70
VIDEO&GOODS情報 —— 72
Et cetra —— 74
宇月田麻裕の星座別タロット占い —— 75

連 載

ターザン座談会「業界大革命! PPJシステム導入」 —— 38
PPJ FAX投票用紙/年間ベストバウト大募集! —— 44
一撃コラム —— 77
ワンフー・マクダニエル —— 78
編集部トーク —— 84

表紙デザイン◎梅村あゆみ

21世紀に先駆けて
また本誌がフライング！

業界大革命！

プロモーター様へ
この点数制導入により、
選手のファイトマネー査定に
役立てていただければ幸いです

出席者◎ターザン山本
サダハルンバ谷川
司会◎柳沢忠之（本誌発行人）

プロフェッショナル ポイント ジャッジメント

PPJシステム導入だっ！

山本 おい、谷川ぁ！ 今日はShowはいないんだろ？

谷川 Showはパラオです。

山本 じゃあ、ちょうどいい。前フリはなしだっ！ 今日は重大発表をしますよぉぉぉ！

――ガッハハハハハ！ 結婚でもするんですか？（笑）。

山本 いやぁ、思いついたんだよぉ、重大なプランをっ！

谷川 なんのプランですか？

山本 あるんだよ、『SRS・DX』で新しく打ち出していく手が。

谷川 えっ？

山本 ………………。

谷川 な、なんですか？ 教えてくださいよぉ。

山本 まずっ！ ズバリ言ってプロレス、格闘技の専門誌の最大の問題点は、やっぱり試合レポートですよぉ。

――そうですね。

山本 試合レポートを変革しないことにはもうダメだよぉ。あれはハッキリ言って死に体になっているページだから。死に体になっているでしょ、実質上。

――完全になってますね。

山本 でも、あのフォーマットは『週刊プロレス』の時に俺が考えたんだよねぇ。一番の特徴は、よ～するに記者の署名入りで書くと。署名入りで書くということで、責任を持つということを謳ったわけよぉ。まあ、それは成功したんだけど、署名を書いているヤツが相当のスケールじゃないとダメだよな、言うならば。それを変革するための一つの大きな手があるわけよ。あるんだよぉ……うん。

――また……もったいつけて（笑）。

山本 あるんだよぉぉぉ。

谷川 そ、それはなんですか、ヒント

は？

山本　ヒント？　あの～、署名で責任を持つというのをやったんだけど、それはもう終わっているというか、廃れているというか、意味をなさなくなったんだよねぇ、時代性の中で。その数段上の責任を持つというシステムにしなければいけないと俺は考えているっ！　署名からさらに上の。うん。

谷川　分かりました！　顔写真を入れる。

——ダッハッハッハッハ！

山本　うまい！　谷川、凄いわぁ。パチパチパチ。

谷川　違います？

山本　その顔を入れたら汚くなるよなぁ。

——見苦しい（笑）。

山本　そうそう、見苦しいというかさぁ、犯罪ですよぉ、それは。だって、いろんな記者の顔を思い浮かべてみろよぉ。

——ガッハッハッハッハ！。

谷川　そうですね（笑）。それはたしかに、やめたほうが……（笑）。

山本　思い浮かべてみろよぉ、『週刊プロレス』や『ゴング』の記者の顔を（笑）。だって『SRS・DX』で言ったら、橋本の顔が雑誌に載るんだよぉぉぉぉ。

——グッハッハッハッハ！

山本　暑苦しいしむさ苦しいし、誰も見ないよぉ、そんな雑誌。橋本の顔が載るんだよぉ？　まさに犯罪ですよぉぉぉ！

——そんなピンポイント攻撃しなくても（笑）。

谷川　じゃあ、顔写真以外で責任を……。

山本　だからぁ！　結局さぁ、署名原稿は責任を明確にしているんだけれども、それ以上にさぁ、書き手のモノの見方よりも、客観性を持たせるために、俺が何を考えているかといったら………点数制ですよぉぉ。

谷川　んあ～、点数制！

山本　きっちり表に点数を載せるわけ。

谷川　はぁ～。

山本　この試合の点数が何点であるかということを。プロフェッショナル・ポイントをピックアップして、それをジャッジするわけよぉ。

——ぷぷぷぷぷっ！

山本　プロフェッショナル・ポイント・ジャッジメントというさぁ、PPGというんだよぉ、俺考えたんだけどね。

——考えたって……ジャッジだったらGじゃなくてJですよ（笑）。

山本　ああ、PPJポイント。全ての試合に表で入れるわけですよぉ。それぞれ10点で5項目作って、50点満点にするわけよぉ。で、その試合に対してポンッと判を押せばいい。それでビシッといくわけですよぉぉぉ。

PPJ（プロフェッショナル ポイント ジャッジメント）システム導入！ 緊急お試し座談会

顔写真を入れる？　誰も見ないよぉ、そんな雑誌。橋本の顔が載るんだよぉ。まさに犯罪ですよぉぉぉ！

——ポンッでビシッ（笑）。

谷川　そ、その5項目というのは何なんですか？

山本　5項目はぁ、格闘技の試合は全て勝った負けただよねぇ。で、勝ったヤツはもう総取りになって負けたヤツはダメだと、そういう構図だったわけだけれども、我々はなぜ試合レポートをやっているかと言ったら、勝った負けただけじゃあ、勝負論だけの価値でしょ。勝ったヤツだけじゃなしに負けたヤツにも焦点を当てるとか、負けたヤツも救うとかいうのがプロレスファンの心情なわけよぉ。

谷川　はいはいはい。

山本　あるいは、もしかしたら負けたヤツのほうが重たいかも分かんないわけ。そういう意味でも、点数制にすることでプロフェッショナルなファイターとしての評価を、なんていうかさぁ、浮き彫りにしていくというかね、そういう形で視点を提示しようと思うんだよねぇ。

谷川　はいはいはい。

山本　それで、5つのポイントは、まず最初のポイントは、俺考えたんだけど、まずはモチベーションですよ。

——ハイ、一つ目がモチベーション。

山本　モチベーションというのは、よ～するに気迫ね、気迫というか闘志というかさぁ、気迫・闘志は何点だったか、それはよ～するに、試合に出てくる前の、出てきた瞬間の表情とか見て分かるわけですよぉ、通路歩いて来た時の、あるいは向かい合った時の感じとか。

谷川　なるほどなるほど。

山本　次は、よ～するに技術的、戦略的側面。つまり相手を倒すために、どれだけ技術的なものを示したか、闘ったか、あるいは戦略的な作戦が凄かったかどうかという、この技術的、戦略的側面を10点満点で評価する。

——はいはい、それから？

山本　3番目は、KOスピリット。相手をブッ倒してやろうという気持ちがどれだけあったかというね、だから武蔵とか中、中、中……。

谷川　中迫。

山本　うん、中迫はいつもゼロなんだよねぇ。

——ダッハッハッハッハ！

山本　勝ってもゼロ点ですよぉ。

——彼らは満点で40点なんだ（笑）。

山本　そうっ！　で、4番目が、よ～するにこれは重要なんだけど、あの～、勝ちっぷり負けっぷりというやつ。

——4番目は「勝ちっぷり負けっぷり」（笑）。

山本　うん。勝っても勝ちっぷりが何点と点をつける。負けたヤツでも負けっぷりが良かったら、例えば谷津みたいに10点になる。

——うんうんうん。

山本　これが4番目。最後はトータル的

▲ウォリアーズに囲まれた犯罪者顔の男が本誌・橋本。今のところ前科はないらしいが……

な見た印象。全体的な印象度、よ～するにファイターの磁場ですね、出てくる磁場。試合のスピリットの全体像、印象度というものを個人的に評価して、イメージというかさぁ、芸術点みたいなもんですよぉ、オリンピックで言うと。それで50点満点にして、表を作って、ポイントを作って、例えばさぁ、フィリォ対バンナだったら、フィリォは各項目何点、バンナは何点というふうに付けて、よ～するにその試合のいろんなファクターが見れるわけですよぉぉぉぉ。

谷川　はあはあはあ。

山本　で、それを見ることによって読者とかファンも学習になるわけですよぉ。ポイントがハッキリして。その試合はボーッと見て勝った負けたじゃなしに、技術的なこととか戦略的なこととか、ノックアウトスピリットとか、勝ちっぷり負けっぷりとか、そういうファクターが常に入ってくるから、自分でも点を付けられるわけよぉ。それをすることによって、単にレポートしているよりも、選手の側もそうやって数値化されたほうが、かえってストレートな関係になっていいわけですよぉ。それを全てのプロレス・格闘技専門誌に先だって、『SRS・DX』がPPJ作戦っていうのをやるわけですよぉぉぉ！

――PPJ作戦（笑）。

山本　そう！　そういうのを打ち出して、次のK―1の試合レポートの中にブチ込んでいくわけ。

谷川　はあはあはあ。さっそくK―1からやりましょう。

山本　これは面白いよぉ。

谷川　面白いですねぇ。

山本　そして、これをやれば、試合レポートも、今度はその点数について書かなくてはならなくなるんだよぉ。

――はあはあ、それで、ちゃんと試合レポートはあるわけですね。

山本　そうそう。試合レポートもあるんですよぉ。あるんだけども、その点数表を目立つようにすると、書き手がそれについて書かなきゃいけなくなるから、非常にさぁ、今までのような曖昧な試合レポートじゃなしに、明確な勝負になるわけですよぉぉぉ。

――明確な勝負（笑）。

山本　そう！　やる側と見る側がもの凄い激突するわけですよぉ。それにスキャンダリズムが加わって、こんなこと書きやがってとか選手は思うだろうし、ファンも抗議してくるだろうし。じゃあ、ファンはどうなんだとなるわけですよぉ。そしたら読者からもファックスを募集したりするわけよぉ。で、ファックスでバーッと来たやつを載せるわけですよぉ。ファンから来た点数はどうだったとか、面白い点数を付けたヤツを載せるとか。

谷川　団体関係者が嫌がりそうな面白いアイディアですね（笑）。

全てのプロレス・格闘技専門誌に先だって『SRS・DX』がPPJ作戦をやるわけですよぉぉぉ！

山本　いや、嫌がりませんよぉ。だって、俺がこれで言いたいのは、プロフェッショナルというのは、やる側の論理というよりも、見られてナンボなわけよぉ。今までは見る側は一人の記者個人の目でしか見なかったのが、点数という客観的な数字になると、これはよ～するにオリンピックのシンクロナイズドスイミングとか体操とか、点数付けるじゃない。あれと一緒なわけですよぉ。当たり前なわけよぉぉぉ。

谷川　あぁあぁあぁ。なるほど。

山本　プロとして重要な、気迫だとかノックアウトスピリットとか、技術的な戦略とか項目がハッキリしているわけだから。

谷川　なるほど。パチパチパチ。やりましょう、それ。

山本　柳沢氏はどう思う？

――いやぁ、面白いですけど、結局それは、点数を付けることで客観的どころか、主観の2乗3乗になるということですね（笑）。

山本　そうそう、ハッキリしていいわけですよぉ。

――ダッハッハッハッハ！

山本　でも、だいたい技術的、戦略的な側面とか、気迫、モチベーションとかKOスピリットとかは、だいたい同じになるでしょう。誰が見ても平均的に。ポイントは。

――そうかなあ？（笑）。

山本　面白いのは勝ったヤツが負けたヤツより点数が低くなることもあるわけよぉ。それはハッキリ言うとプロフェッショナルとしてダメだということだよねぇ。

谷川　なるほどなるほど。

山本　今『PRIDE』以外の試合って、終わった後に話題にならないでしょ。ファンも酒飲んでワイワイガヤガヤ語れないわけよぉ。だから語れるものにするための手段でもあるわけ、これは。豊かに語れるための、その、よ～するに部分的なファクターを与えるわけですよぉ。

――カウンターの最大の材料ですね。

山本　そうそうそう。『SRS・DX』がその点数制をやれば、ほかの試合記事なんて読んでられないよぉ、これから。

谷川　こうなったら、格通とゴン格には顔写真載せてもらおう。

――ガッハッハッハッハ！

山本　よしっ！　じゃあここで、俺たちが昔の試合で試しに点数付けてみよう。

――やってみましょう。

山本　なんの試合にする？

谷川　じゃあ、K―1でやってみましょうか。

山本　武蔵とか中迫でやってみよう！

――いきなり（笑）。

谷川　大変なことになるなぁ。じゃあ『K―1グランプリ』の時のフィリォ対中迫でやってみましょうか。

山本　あっフィリォ対中迫はいいねぇ。

――トーナメント1回戦だっけ？

谷川　そうそうそう。山本さんがシマウマ賛歌を書いたやつ。横浜アリーナの。

山本　よし、じゃあやってみよう！

～しばし、熟考～

山本　モチベーションとか低いもんなぁ。中迫もフィリォも。これは両方の点数が低くなるなぁ。勝ちっぷりのフィリォも悪いし、負けっぷりの中迫も悪いもんなぁ。よし、できたっ！

谷川　あらあらあら、山本さん非常に評価が高いですね。

山本　そう？　俺は、フィリォ21点、中迫12点。谷川なんてひどいよぉ、フィリ

ォ6点だよ、たったの。

谷川　じゃあ、それぞれ説明を。僕はですねぇ、トーナメントとしての気迫とかモチベーション・闘志だったらフィリォも中迫も、1回戦だから傷つかずに勝とうと思うのは正しいのかもしれないけど、まず、フィリォに極真のモチベーション、世界大会とかと比べると、まったく見られなかったから1ですね。

山本　ほぉ、そういうのも面白いなぁ。考え方が。

谷川　だから、極真空手として、あのモチベーションというのは正しくないですね。あとは、技術的・戦略的には、逆に言うと、傷つかずに勝とうというのはフィリォのほうが正しいなと。

山本　正しいねぇ。

谷川　でも、中迫に関しては、フィリォに向かっていかなきゃ絶対に勝てないわけですから、それが全然ないなと。

山本　そういうのを書くと面白いんだよなぁ。自分が見た、今のファクターの中で、俺はそういう形で点を付けたと。それを書くとものの凄い面白いわけよぉ。

谷川　山本さんはどういうふうに付けたんですか?

山本　俺はよ~するにさぁ、フィリォは傷つかないで勝つというモチベーションがあるので、これを評価しなくてはいけないんだよねぇ。フィリォからしたら、よ~するに傷つかないで余力を持たせると。プロとして見ると、ブッ倒せというイメージもあるんだけど、まあまあこれは5点か6点くらいの、中くらいの点はいっているわけですよ。それに対して中迫は、もう、よ~するにさぁ、特攻隊みたいにいかなくてはいけないのにいかないから、こいつはさらに点が低いと。KOに関しては、もう始めから両方ともさぁ、ないようなもんだから限りなく点は低いよねぇ。で、負けっぷり勝ちっぷりもホントは中迫なんかはゼロに近いんだけども、まあ、倒れなかったんで、2点くらいにして。で、まあ、全体的な印象としては中迫はゼロっていうかマイナス100くらいのところだよね、これ。

―マイナス100って、最初から点数崩してどうする（笑）。

山本　でも、俺の見方よりも谷川の見方のほうがよっぽど面白いな、鋭くて。柳沢氏はどう?

谷川　あれ? 中迫の技術点が高いなぁ。

―フィリォは、自分の潜在能力をほとんど出していないということで1。で、中迫は「逃げ回る」という部分で自分の技術的な部分を、一生懸命、平均点以上に出したんじゃないかというんで6。

山本　ぶわっはははははは。（拍手）

―KOスピリットというのは2人ともなし。で、勝ちっぷり負けっぷりもなし。

谷川　でも、そうだなぁ、たしかに。

―で、全体のイメージはフィリォのイメージがまったくないんですよ。

山本　うん、中迫のイメージのほうがあるなぁ。柳沢氏が一番正しいなぁ。二重丸だぁ。

―正解があったんだ（笑）。で、結果、12対7で中迫の勝ちになりました（笑）。

山本　中迫の勝ちだぁ、あっはははは。

谷川　うん、でもたしかに中迫の印象のほうがあるなぁ。

山本　あるねぇ。イメージ残ったとしたら、中迫に対して腹立ったというイメージが残ったということで、全体のイメージはあいつのほうが上だよぉぉぉ。

谷川　なるほどなるほど。

山本　じゃあ、フィリォとバンナはどう

PPJ プロフェッショナル ポイント ジャッジメント システム導入! 緊急お試し座談会

ターザン山本	フィリォ	中迫	バンナ	フィリォ	桜庭	ホイス	猪木	アリ	小川	佐竹
モチベーション（闘志・気迫）	6	4	10	5	8	9	10	4	7	7
技術・戦略	5	4	10	5	10	6	10	5	7	7
KOスピリット	2	2	10	3	7	7	10	3	8	3
勝ちっぷり負けっぷり	4	2	10	10	10	4	10	4	4	2
全体的な印象・インパクト	4	0 (-100)	10	3	10	10	10	10	10	4
合　計	21	12	50	26	45	36	50	26	36	23

サダハルンバ谷川	フィリォ	中迫	バンナ	フィリォ	桜庭	ホイス	猪木	アリ	小川	佐竹
モチベーション（闘志・気迫）	1	1	10	8	10	8	10	6	9	6
技術・戦略	2	1	10	3	10	9	9.8	3	6	5
KOスピリット	0	0	10	5	8	9	6	3	7	6
勝ちっぷり負けっぷり	0	0	10	10	10	9	10	10	10	10
全体的な印象・インパクト	3	2	10	10	10	10	6	10	9	6
合　計	6	4	50	36	48	45	41.8	32	41	33

発行人・柳沢	フィリォ	中迫	バンナ	フィリォ	桜庭	ホイス	猪木	アリ	小川	佐竹
モチベーション（闘志・気迫）	6	0	10	6	10	10	10	4	10	9
技術・戦略	1	6	10	1	10	10	10	4	6	6
KOスピリット	0	0	10	0	4	6	4	6	10	4
勝ちっぷり負けっぷり	0	0	10	10	10	10	10	4	8	4
全体的な印象・インパクト	0	6	10	10	10	10	9	10	8	8
合　計	7	12	50	27	44	46	43	28	42	31

なる？

〜しばし熟考〜

山本　凄いよぉ。俺は50点満点だよぉ、バンナは、ハッキリ言って。

谷川　僕もバンナは高いなぁ。

——俺もバンナ50点だ。

谷川　ああ〜、50点だぁ。あれはやっぱベストバウトなんだろうなぁ。バンナに関しては文句ないですね。で、モチベーションに関しては、フィリォはあったと思うんですよね。やっぱ極真の世界王者になった後ですから、ここで負けたらいけないということで。

山本　あったよ、たしかに。

谷川　ええ。だから平均以上あったと思うんですけど、でも、バンナよりは全然なかった。バンナは本能ですから、山本さんの言うように。で、技術的・戦略的というのは、フィリォは過去と比較したら悪くなっていますね。キックボクシングをやっていることによって。逆にダメになっている。KOスピリットは、倒すつもりはあったような気がするんですけど……。

山本　俺もあったように思う。

——フィリォのモチベーションは、俺も平均よりは上。でもとにかくフィリォの場合はモチベーションがあまり見えにくいというのが問題だと分かってきますね、これ（笑）。

山本　うん、分かってくるなぁ。

谷川　じゃあ、桜庭対ホイスでやってみませんか。同じ年間最高試合ということで。

〜しばし熟考〜

山本　（書きながら）桜庭という男は見えにくいんだよなぁ。隠れているからいつも。秘めているというか、表に出さないでしょ。モチベーションなんか分かりにくいよね。不透明だよ。ホイスはこれはかなりやろうとしていたもんなぁ、う〜ん、技術的には桜庭は10だよぉぉ、ホイスやられたよぉ。ギブアップで勝とうとしたという意味では、両方とももうひとつだもんなぁ、接近戦だよぉ、これ。勝ちっぷりは桜庭は10だよ。ホイスはだらしなかったもんなぁ、4だよ。全体の印象は桜庭はいいなぁ、ホイスもいいよぉ。

谷川　山本さん、うるさいです（笑）。全然考えられないですよ。

——ダッハハハハハ！　試験中にしゃべらないように（笑）。

谷川　真剣になるなぁ、これは。

山本　俺は桜庭45点。柳沢氏は何対何。

——44対46でホイス。

山本　あっそう。谷川は？

谷川　45対48で桜庭ですね。

山本　僅差だなぁ。

フィリォ対バンナはどうなる？
凄いよぉ、俺は50点満点だよぉ、バンナは

——KOスピリット以外は全て満点になっちゃった、俺は。

山本　あっそう。

谷川　山本さんはどうなんですか？

山本　よ〜するに、あまり勝とうという雰囲気が桜庭にはないんだよねぇ。見えてないというか。むしろホイスのほうが勝たなきゃいけないという、グレイシー一族のさぁ、グレイシートレインのイメージがあって上なわけよぉ。で、技術的・戦略的には、結果として後から見ると、桜庭のほうが秀でているんだよね。後で分かるわけ、いつも、桜庭の場合は。倒そうという意味では両方とも倒しにいったらマズイというんで、引いているから、2人とも7点。勝ちっぷりはいいんだよなぁ、桜庭は。ホイスの負けっぷりもいいんだけど、負けたというグレイシーのイメージから、俺は、ここは思い切り点を低くしたわけよぉ。で、全体的な印象は2人とも良かったなと。

谷川　僕は、桜庭に関しては、勝とうという意志だけ見られなかったですね。モチベーションに関しては、オヤジとかお兄ちゃんに頼っているホイスのほうが低いように感じたんですよね。

山本　ああ、ああ。そういう見方もあるなぁ。

谷川　で、桜庭はマスクを付けただけで、勝つ気は満々なような。あれは勝つ気がなかったら、マスクをつける自信なかったと思うんですよね。それで、桜庭のほうが高い。技術的・戦略的には2人とも良かったんですけど、後半から桜庭のペースになったんで、桜庭のほうがいいと。で、勝とうという意志だけはホイスのほうがちょっと高かったような気がするんですよね。

——例えばこれをね、猪木VSアリ戦とか猪木VSウィリー戦とか、プロレスの試合でやってみても面白いよね。

谷川　猪木VSアリ戦だったら、圧倒的に猪木が勝つなぁ。

山本　よし、猪木VSアリをやってみようか。

〜しばし熟考〜

山本　僕は猪木50点ですよぉ。全てを賭けて、命を賭けて、借金を背負って。アリが10点なのは印象ですよ、インパクト。

谷川　うん、インパクトは、アリのほうがあるなぁ。

山本　あとは、アリは5点以下ですよ。

谷川　でもアリはよく倒れなかったなぁと思いましたもん、あの試合の中で。だから、技術・戦略では、猪木さんはもう9・8ですね。

——なんだ、その微妙さは（笑）。

谷川　その微妙な0・2は、イライラしたんですよ。いけなかったじゃないですか、最後まで。

——俺はこの試合のポイントはKOスピリットだと思いますね。やっぱ猪木さんはKOスピリットを封印していたでしょ。

谷川　ああ、そっかぁ！　猪木さんはKOスピリットを封印していたんだ。

——だから、4対6にしているわけ。

谷川　だから、イライラはそこだったんだ、そうだそうだ。じゃあアリのほうが高いかもしれないわ、そうだな。

——アリのほうが「一発当たったらいっちゃうよ」っていう怖さを持ってた。

山本　なるほどねぇ。

谷川　そうだなぁ。技術・戦略じゃなくて、KOスピリットの問題だ。

——この、5項目にすると、猪木さんのポイントってやっぱりKOスピリットになるよ。それが色気につながるっていうか。

山本　馬場さんはどうなるん?

谷川　馬場さん……。

――馬場さんの問題は、モチベーションでしょうね。ハンセンVS馬場みたいになったら、モチベーションが500点くらいあるわけよ（笑）。

山本　モチベーションも棚卸しだから、2年に1回とか5年に1回とか、もう500戦くらい蓄積されているから、メチャクチャ高いわけか。

谷川　なるほどね。

――馬場さんの場合は常にKOスピリットは0でしょう（笑）。

山本　あっそこは猪木さんと馬場さんの違いではあるなぁ。

谷川　でも、インパクトは馬場さんは強いね。どんな試合でも強いわぁ。

山本　最後のインパクトというか印象度は強いよぉ、馬場さんは。

谷川　だから馬場さんはインパクトがいつも満点で、モチベーションが問題な選手だったと。でも、これでやっぱり一番難しい選手は桜庭だなぁ。

山本　だから強いわけですよぉ。見えてないから強いわけですよぉ。数値化されているところに潜んでいるわけですよぉ、彼の強さが。表に出ていないから相手もやりにくいし、本当に強いわけ、ああいうスタイルの試合では。そういう桜庭の特徴が浮き彫りになるわけですよぉ。

谷川　で、もうひとつの特徴は、桜庭の試合は相手の得点が高くなりますね。だからプロレスラーっぽいですね。

――そうそう、相手の点が高くなる。

谷川　相手のいいところを引き出してやっつけるタイプですね。

山本　それは猪木じゃない!

谷川　猪木ですね。

山本　バーリ・トゥードの中の猪木ですよぉぉぉ!

谷川　これはいろいろな発見がありますねぇ。あとは佐竹対小川も面白いなぁ、これは。

山本　いやぁ、面白いよ。よしちょっとやってみようか。小川をどうとらえるかだよな。これによって小川がどうやってあぶり出されていくか、彼の特徴が。不透明でしょ、あいつは。

谷川　不透明ですね。

～しばし熟考～

山本　できた。柳沢氏は何点? あれ、高いやぁ、小川!

――42対31。

山本　俺は36対23。モチベーションとか、KOスピリットとか、技術とかはみんな7～8点なんだよね、だいたい。俺の見る限り。ちょぼちょぼなんだよな、両方とも。

谷川　ちょぼちょぼの感じがするんですよね。

山本　踏み込まないんだよな。一番重要なのは、倒してやろうという気持ちが佐竹のほうになかった。で、余裕を持っている小川のほうが高いんだよなぁ。

――うんうん。

山本　で、負けっぷり勝ちっぷりでは、両方とも点が低いよぉ、俺は。印象度は小川が小川らしさを出したということで10点と、俺はそう思った。

――なるほどねえ。

谷川　佐竹が凄く平均的だったんだよね。でもこれ、こんなに点数が低くて、なんで面白かったんですかね、佐竹対小川って（笑）。そこが不思議だなぁ。

山本　やっぱり話題性でしょ。

谷川　でも、試合面白かったですよ、僕。

山本　俺も面白かったよ。

谷川　どこが面白かったのか……。

PPJ（プロフェッショナルポイントジャッジメント）システム導入! 緊急お試し座談会

桜庭は相手のいいところを引き出してやっつける。バーリ・トゥード界の中の猪木ですよぉぉぉ!

――たぶん客のモチベーションでしょ。

山本　ああっ、客のモチベーションはメチャクチャ高かったよぉ。

谷川　あっそうだ! 自分のモチベーションが高かっただけだ（笑）。そうだそうだ、それだ。

――それを緊張感とかに置き換えてもいいけど。

谷川　そうかそうか、自分のモチベーションが高いから面白く見えたんだ。

――だからこの項目は、やる側のことを客観視して付けてるから、個人的な印象度と違ってくるというのはあるでしょう。

山本　あるねぇ。

谷川　なるほどなるほど。僕が生涯の中で、ホントに純粋にファンとして見た、20世紀の名勝負ナンバーワンは猪木VSウイリー戦なんですよ。あれは勝手に自分が高かったですね。猪木VSウィリー戦に点をつけたら、これはちょっとひどいかもしれないけど、それに近いかもしれないなぁ。

山本　俺は猪木の試合は全部モチベーション高いよぉ、平均的に。

――それはそうでしょうね。

谷川　自分のモチベーションが高いからそういうふうに見えちゃうんだ。

山本　ホイスVS桜庭も高かったよぉ、みんな。

――高かったですよね。

山本　いやぁ、それにしてもこのシステムは凄いことになるよ、これをやったら。いろんな発見があるもんなぁ。もの凄い革命的なことだよぉ。谷川、どう思う? これはヤバイか?

谷川　いや、ヤバくないですよ。素晴らしいです。さっそくK―1からやってみましょう。

山本　表紙に打つんですよぉ、PPJと。

――PPJ方式導入!（笑）

山本　革命だよ、大革命だよぉ。

谷川　これをファイトマネーの査定にしてもらいましょうよ、プロモーターの。

山本　そうだよなぁ。パチパチパチ。それはいい!

谷川　だって、お客さん、見る側がそう言っているわけですからねぇ。

――それは凄い、画期的なことだ。ファイトマネーの査定（笑）。

山本　もう21世紀の『SRS・DX』はフライングしまくって、選手のファイトマネー査定までしますよぉぉ! 谷川ぁ、まずお前の年棒を俺が査定してやるっ!

谷川　ぼ、僕ぅ～?

山本　まず、お前がフジテレビの解説でもらっているギャラを徹底追及するっ! 実体のないフェイク・ギャラは俺が断固として認めませんよぉぉ!

谷川　んあああああああっ! ■

FAXナンバーは

03(3295)4441

※深夜ですので、FAXナンバーはお間違えのないように。混み合ってつながりにくいことが予想されますが、編集部へのお電話はご遠慮ください。

キリトリ

PPJ プロフェッショナル ポイント ジャッジメント FAX送信用紙(36号)

	桜庭和志	ハイアン	藤田和之	アイブル
モチベーション(闘志・気迫)				
技術・戦略				
KOスピリット				
勝ちっぷり負けっぷり				
全体的な印象・インパクト				
合　計				
寸　評				

というわけで、さっそく、12・23『プライド12』さいたまスーパーアリーナ大会の、(1)桜庭和志VSハイアン・グレイシー戦と(2)藤田和之VSギルバート・アイブル戦の2試合のPPJ(プロフェッショナルポイントジャッジメント)を読者の皆さんに大募集しま〜す! 今号の座談会をよ〜く読んで、PPJシステムをよ〜く理解していただいた上で、アナタの感じたままの、あるいはお友達とああだこうだと話し合って、ポイントを記入してみてください。もちろんPPVで観戦した方の投票も大歓迎。寸評に関しましては、そのポイントの理由、その試合を見て感じたことを書いてください。点数表だけ(寸評なし)の投票でもOKです。なお、気の利いた点数表、寸評をお送りいただいた方の中から5名様に、特製グッズをプレゼント。もちろん! アナタの意見・感想はバッチリ誌面に反映させていく予定。締め切りは12月24日の午前2時(試合当日の深夜2時)まで。アナタのファックスを待ってるゾ!

住所

氏名

(名前は掲載する可能性がありますので、ペンネーム希望の方は、ペンネームも明記)

職業　　　　年齢

TEL&FAX No.

大募集! アナタが選ぶ2000年格闘技ベストバウト&MVP

『SRS・DX』では昨年に続き、読者が選ぶ「2000年格闘技ベストバウト&MVP」を募集いたします。2000年にあなたが見た格闘技の中から1. 年間ベストバウト、2. 年間ベストイベント、3. 年間MVPの3つを書いて、編集部までご応募ください。格闘技と言っても、あなたが格闘技だと思ったものだったら全て選考対象に入れてもOK! 皆さんの熱き思いをハガキに込めてください。ご応募いただいたハガキの中から抽選で豪華プレゼントをお送りいたします。

選考対象

1 **年間ベストバウト** ……2000年、あなたが最も感動した試合を1つ
2 **年間ベストイベント** …2000年、あなたが最も感動したイベントを1つ
3 **年間MVP** ……………2000年、あなたが一番感動したと思う選手を1人

応募要項

①住所、②氏名、③年齢、④職業、⑤電話番号、⑥年間ベストバウト、⑦年間ベストイベント、⑧年間MVP(※⑥〜⑧は選考理由も簡単に書いてください)、⑨あなたが行きたい興行(例:◎月の「◎◎◎」。なお、当選者の方には編集部よりご連絡いたします)⑩パネルにしてほしい選手名、⑪本誌へのナイスなメッセージをお書きの上、

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
『SRS・DX』年間ベストバウト係まで。

締め切りは2001年1月9日(消印有効)。

プレゼント

特賞 1名
あなたが行きたい2001年に開催される格闘技イベントのSRS席をペアで

金賞 30名
好きな選手のパネル

銀賞 30名
SRS特製携帯ストラップ

銅賞 50名
好きな選手の生写真

12/14THU～12/28THU

CALENDAR

日付	予定
12/14 THU	★『SRS・DX』36号発売日
12/15 FRI	●フジテレビ系『SRS』(25:45～26:15) 放送⬅p69
12/16 SAT	■UFC-J/東京・ディファ有明 (17:00～) ⬅p47
12/17 SUN	■修斗/千葉・東京ベイNKホール (16:00～) ⬅p47 ■掣圏道/東京・ディファ有明 (18:00～) ⬅p47 ◆シュートボクシング"Be a Champ"/チケット発売⬅p48 ◆第2回TITAN FIGHT/チケット発売予定⬅p50
12/18 MON	
12/19 TUE	
12/20 WED	
12/21 THU	
12/22 FRI	■全日本キック連盟/東京・後楽園ホール (18:00～) ⬅p49 ●フジテレビ系『SRS』(25:45～26:15) 放送⬅p69
12/23 SAT	■PRIDE.12/さいたまスーパーアリーナ (16:00～) ⬅p46 ■ニュージャパンキック連盟/東京・産文ホール (16:00～) ⬅p50
12/24 SUN	
12/25 MON	■J-NETWORK/東京・後楽園ホール (17:30～) ⬅p49
12/26 TUE	■キングダム・エルガイツ/東京・北沢タウンホール (18:30～) ⬅p47
12/27 WED	
12/28 THU	★『SRS・DX』37号発売日

格闘技パーフェクトガイド

Perfect Guide

大会ガイド&チケット情報 ……………P.46
バックナンバーインフォメーション …P.51
浅草キッドのイチ押しイベント ………P.52
SRS番組インフォメーション …………P.69
TV GUIDE ……………………………P.70
VIDEO …………………………………P.72
GOODS ………………………………P.73
ET CETRA ……………………………P.74
星座別タロット占い …………………P.75

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

PRIDE

藤田vsアイブル戦、シウバvsヘンダーソン戦ほか追加カードが続々決定！

『プライド12』さいたまスーパーアリーナ大会の対戦カードが決定した。今回、藤田が闘うのは、『プライド10』でのグッドリッジ戦で左ハイキック一発KOシーンが衝撃的だった“ハリケーン”ギルバート・アイブル。そのほかにも、『プライド』リングでは未だ負けなしのシウバが、リングスKOKトーナメント初代チャンピオンのダン・ヘンダーソンと対戦。初参戦となるヘンダーソンがどのような闘いを魅せるのか楽しみな一番だ。

PRIDE.12

12月23日(土･祝) さいたまスーパーアリーナ

◆開場/14:00　試合開始/16:00
◆入場料/VIP100,000円（専用入場ゲート、グッズの特典付き）　RRS23,000円 スタンドS13,000円 スタンドA7,000円 ※桜庭和志応援シート、藤田和之応援シート、エンセン井上応援シート（各12,000円、応援グッズ付き）をドリームステージエンターテインメントにて発売
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメント他
◆会場アクセス/JR埼玉新都心駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

桜庭和志（日本）vsハイアン・グレイシー（ブラジル）
イゴール・ボブチャンチン（ウクライナ）vsマーク・ケアー（アメリカ）
アレクサンダー大塚（日本）vsガイ・メッツアー（アメリカ）
エンセン井上（日本）vsヒース・ヒーリング（アメリカ）
ジョイユ・デ・オリベイラ（ブラジル）vsカーロス・ニュートン（ブラジル）
小路晃（日本）vsアラン・ゴエス（ブラジル）
藤田和之（日本）vsギルバート・アイブル（オランダ）
ヴァンダレイ・シウバ（ブラジル）vsダン・ヘンダーソン（アメリカ）

アントニオ猪木イベント

桜庭と石澤がプロレス対決！
タッグトーナメント、バトルロイヤルも調整中

12月5日に行われた会見で、桜庭vs石澤の初のシングル戦が発表された。会見にはアントニオ猪木総合プロデューサー、参戦が決定した髙田延彦、桜庭和志、アレクサンダー大塚のほか、なんと新日本プロレス藤波辰爾社長も駆けつけた。「それは無理というカード実現に挑戦する」と猪木プロデューサー。どんなカードが発表されるのか、大晦日の「猪木祭」。ビッグカードの連発に期待！

アントニオ猪木総合プロデュース
Millennium Fighting Arts INOKI BOM-BA-YE

12月31日（日）　大阪ドーム

◆開場/17:00　試合開始/19:00
◆入場料/VIP席50,000円　RRS席20,000円　スタンドS席12,000円　スタンドA席6,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/下記の表を参照
◆会場アクセス/地下鉄大阪ドーム前千代崎駅下車すぐ、地下鉄九条駅より徒歩9分、JR環状線大正駅より徒歩7分
◆お問い合わせ/ステージア☎06-6344-4441、ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

桜庭和志vs石澤常光

チケット発売

チケットぴあ ☎06-6363-9999
☎06-6363-9966
（Pコード600-684）
ファミリーマート店舗販売 Pコード600-684
ローソンチケット ☎06-6387-1900
☎06-6369-6633
（Lコード55869）
ダイエーOMCプラザ
e+（イープラス） http://eee.eplus.co.jp/west
大阪ドーム

総合格闘技&ノールール系

UFC-J

近藤、ヤマケン、安生の試合のほか、世界のトップレベルの選手が参戦定！

アルティメット・ファイティング・チャンピオンシップ・ジャパン
12月16日（土）東京・ディファ有明

◆開場/16:00　試合開始/17:00
◆入場料/RS席30,000円 SS席20,000円 S席15,000円 A席8,000円 B席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、チャンピオン、プロレスマニア館、アイドール、チケット&トラベルT-1、バウトレビュー（http://www.boutreview.com）、パンクラス、パワー・オブ・ドリーム、UFCJ事務局
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/UFC-J事務局☎03-3498-1029

決定対戦カード

〈UFCミドル級タイトルマッチ〉
ティト・オーティズ vs 近藤有己
（アメリカ）（日本/パンクラス・東京）

〈UFCライト級タイトルマッチ〉
パット・ミレティック vs 山本喧一
（アメリカ）（日本/パワー・オブ・ドリーム）

〈ミドル級スーパーファイト〉
安生洋二 vs マット・リンドランド
（日本/フリー）（アメリカ）

〈ライト級スーパーファイト〉
高瀬大樹 vs ファビアノ・イハ
（日本/和術慧舟會東京本部）（ブラジル）

〈ミドル級スーパーファイト〉
エヴァン・ターナー vs ランス・ギブソン
（アメリカ）（オーストラリア）

〈ライト級スーパーファイト〉
マット・ヒューズ vs デニス・ホールマン
（アメリカ）（アメリカ）

〈ミドル級スーパーファイト〉
チャック・リデル vs ジェフ・モンソン
（アメリカ）（アメリカ）

修斗

ついに王者・宇野薫と佐藤ルミナが対戦！マッハの相手はフランク・トリッグに

前号では未定だった桜井“マッハ”速人の対戦相手が、フランク・トリッグに決定した。トリッグは過去にバリジャパ98でジアン・マチャド、『PRIDE.8』でファビアノ・イハなどを次々撃破している中量級の強豪だ。マッハはこの強敵にどう立ち向かっていくのか？

なお今大会では、ライトヘビー級王座を返上したエリック・パーソンの引退セレモニーも行われる。

READ～2000 SHOOTO～
12月17日（日）千葉・東京ベイNKホール

◆開場/14:00　試合開始/16:00
◆入場料/【1F】SRS席20,000円 RS席15,000円 SS席10,000円 S席7,000円（Devilockシート30,000円は、PALMSTORE☎03-3496-6464のみ）【2F】パノラマS席12,000円 パノラマ席10,000円 2FS席8,000円 A席6,000円　B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ、KEEL、e-ticket（http:www.e-ticket.net/）
◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅からホテル循環バス5分
◆お問い合わせ/バックステージプロジェクト☎03-3357-8080

決定対戦カード

〈ウェルター級チャンピオンシップ〉
宇野薫 vs 佐藤ルミナ
（和術慧舟會）（Kzファクトリー）

〈フェザー級チャンピオン決定戦〉
マモル vs 秋本じん
（シューティングジム横浜）（Kzファクトリー）

アレクサンドレ・フランサ・ノゲーラ vs ステファン・パーリング
（ブラジル/ワールド・ファイトセンター）（アメリカ/ジーザス・イズ・ロード）

レイ・クーパー vs アレックス・クック
（アメリカ/ジーザス・イズ・ロード）（AUS修斗スパルタンジム）

桜井速人 vs フランク・トリッグ
（GUTSMAN修斗道場）（アメリカ/rAwチーム）

三島☆ド根性ノ助 vs マーシオ・クロマド
（格闘サークルコブラ会）（ブラジル/ウゴ・デュアルチ&ペレイラ）

加藤鉄史 vs ダン・ギルバート
（PUREBRED大宮）（アメリカ/シカゴ・ファイト・チーム）

▲マッハの対戦相手、フランク・トリッグは強豪ひしめくrAwチームからの選手。この強敵にどう闘う？

▲8・27のマーシオ・フェイトーザ戦で評価を上げた三島は、同じ日に宇野をフロントスリーパーで失神させたマーシオ・クロマドに挑む

▲修斗ミドル級の加藤（右）は、8・4で中尾を流血させてTKO勝ちしたパワーファイター、ダン・ギルバートを迎え撃つ

▲王者・宇野（右）は「チャレンジャーのつもりでぶつかりたい」と控え目な姿勢だが、どのような攻防になるのか？

掣圏道

アルティメット・ボクシング定期戦
12月17日（日）東京・ディファ有明

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席9,500円　S席6,500円　A席5,000円 B席2,500円（当日は、500円増し）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/掣圏道協会東京事務所☎03-5456-7333

バトラーツ

BATTLE X'mas ～21世紀へぶちまけろ～
12月24日（日）東京・FMホール

RAW LIFE
1月7日（火）東京・後楽園ホール

◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

キングダム・エルガイツ

キングダム・エルガイツ東京大会 U・W・F・ALIVE
12月26日（火）　東京・北沢タウンホール

◆開場/18:00　試合開始/18:30
◆出場予定選手/入江秀忠、中野巽耀、荒井修、龍ヶ崎五郎、和知正仁、今成正和
◆入場料/RS席7,000円　自由席4,000円（当日券は500円増し）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、チケット&トラベルT-1、きんとき中央林間店、キングダム・エルガイツ
◆開場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/キングダム・エルガイツ☎042-331-2797

新日本キックボクシング協会

武田がラジャダムナンスタジアム認定ベルトに挑戦！

12月3日のタイのラジャダムナンでの興行に参戦した武田幸三、石井宏樹、深津飛成、菊地剛介、小出智の5選手が、1月21日の後楽園ホール大会に揃って登場する。メインでは武田が、ムエタイの殿堂と言われるラジャダムナンスタジアム認定のベルトをかけたタイトルマッチに挑戦する。

THE REMATCH Heaven or Hell
1月21日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 S席10,000円 A席7,000円 B席5,000円 立見4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/協会各ジム、チケットぴあ、後楽園ホール、協会公式ホームページ
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/治政館ジム☎0489-53-1880

決定対戦カード

―5回戦―

〈ラジャダムナンスタジアム認定ウェルター級タイトルマッチ〉
チャラームダム・シットラトラガーン vs 武田幸三
（タイ） （治政館ジム）

〈日本ライト級タイトルマッチ〉
石井宏樹 vs 中川タカシ
（藤本ジム） （トーエルジム）

小野寺力 vs 朴炳圭
（藤本ジム） （韓国）

深津飛成 vs X
（伊原ジム）

菊地剛介 vs 小川和宏
（伊原ジム） （治政館ジム）

小出智 vs 真鍋英治
（治政館ジム） （市原ジム）

マサル vs 兼子忠司
（トーエルジム） （伊原ジム）

―3回戦―

阿部道人 vs 金狼正巳
（治政館ジム） （尚武会）

青木克真 vs 鱒渕賢治
（トーエルジム） （尾田ジム）

乙幡耕一朗 vs 会田裕介
（尚武会） （治政館ジム）

▲前回は惜しくもドローとなり、タイトル奪取できなかった武田幸三が、チャラームダム・シットラトラガーンに再挑戦！

▲ライト級の石井宏樹と中川タカシ

シルバーウルフ

魔裟斗vsオワリ戦に続き小比類巻、柳澤、大野、大宮司が参戦！

WOLF REVOLUTION ～2nd Wave～
1月12日（金） 東京・Zepp Tokyo

◆開場/18:00 試合開始/19:00
◆入場料/SRS席15,000円 RS席10,000円 1階S席7,000円 2階S席7,000円 立見4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/ゆりかもめ青梅駅より徒歩5分、東京臨海高速鉄道東京テレポート駅より徒歩7分
◆お問い合わせ/シルバーウルフ☎03-3498-7979

決定対戦カード

魔裟斗 vs モハメド・オワリ
（シルバーウルフ） （ベルギー）

小比類巻貴之 vs X
（チーム・ドラゴン）

柳澤龍志 vs X
（チーム・ドラゴン）

大野崇 vs X
（正道会館）

大宮司進 vs X
（正道会館）

▲モハメド・オワリと対戦が決まった魔裟斗（右）。小比類巻の対戦相手は未定

総合格闘技&ノールール系

パンクラス

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
3月31日（土） 大阪・なみはやドーム サブアリーナ

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/SS席15,000円 RS-A席7,500円 RS-B席5,500円 2F-A席7,000円 2F-B席4,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/1月28日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、e+（イープラス）、チャンピオン大阪、バディ・スラム、エース、神戸ステーキ桜井ポートアイランド、神戸住吉・富方、パンクラス
◆会場アクセス/地下鉄長堀鶴見緑地線門真南駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

DEEP 2001 事務局

DEEP 2001
1月8日（月・祝） 愛知県体育館

◆開場/15:00 試合開始/16:00
◆入場料/VIP席20,000円 アリーナS席14,000円 アリーナB席10,000円 スタンドS席9,000円 2階席8,000円 3階席5,000（当日は1,000円増）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ファミリーマート、サークルK、プロレスバーSTF、名鉄プレイガイド、三越プレイガイド栄、三越プレイガイド星ヶ丘、松坂屋プレイガイド、CBCプレイガイド、Mステージ四日市、IVY BOOKS、HYBRID SPORTS PLAZA、パンクラス、DEEP2001事務局ほか
◆会場アクセス/地下鉄名城線市役所駅より徒歩6分
◆お問い合わせ/DEEP 2001事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

村浜武洋 vs ホイラー・グレイシー
（大阪プロレス） （ブラジル）

KEI山宮 vs パウロ・フィリョ
（パンクラス・東京） （ブラジル）

美濃輪育久 vs ヒカルド・リボーリオ
（パンクラス・横浜） （ブラジル）

藤井克久 vs マルセロ・タイガー
（フリー） （ブラジル）

石井大輔 vs ジョルジ・パチーノ・マカコ
（パンクラス・東京） （ブラジル）

謙吾 vs 大刀光
（パンクラス・東京） （SPWF）

窪田幸生 vs 上山龍紀
（パンクラス・横浜） （FIGHTING NETWORK RINGS U-FILE CAMP）

木村仁要 vs 掣圏道ファイター
（誠ジム）

キックボクシング

シュートボクシング

SHOOT BOXING “Be a Champ”
1月12日（木） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/RS席6,000円 A席5,000円 B席4,000円
◆チケット発売/12月17日
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、渋谷東急文化チケットセンター、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、チャンピオン、書泉ブックマート、後楽園ホール、ワールドスポーツプラザKINGS、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

キックボクシング

J-NETWORK

SHANGURILA-fin
12月25日（月）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/RRS席30,000円 SRS20,000円 RS席9,000円 S席7,000円 A席5,000円 B席3,000円 立見3,500円（当日券のみ） ※当日券は、1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田ジム、ソーチタラダジム渋谷、J-NETWORK
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

決定対戦カード

―5回戦―

増田博正 vs グライガンワーン・オースイープワローイ
（ソーチタラダ）（タイ）

カチャスック・ジャンボジム vs 小石原勝
（ジャンボジム）（習志野）

五十嵐ヨシユキ vs 高島義幸
（アクティブJ）（習志野）

―レディース・5回戦―

ジェット・イズミ vs 柴田早千予
（アクティブJ）（MAキック連盟／白龍）

―3回戦―

長谷川康也 vs 加瀬大策
（アクティブJ）（MAキック連盟／八街ジム）

北野裕治 vs 泉ユーサク
（ソーチタラダ）（MAキック連盟／山木）

浦林幹 vs 木下学
（アクティブJ）（習志野）

竹内清訓 vs 井上兼一
（ソーチタラダ）（アクティブJ）

▲増田はタイのグライガンワーンと対戦

▲小石原と対戦するカチャスック

▲五十嵐は高島と対戦する

2001年度興行予定

1月27日（土） 北沢タウンホール（予定）
2月26日（月） 北沢タウンホール（予定）
3月23日（金） 北沢タウンホール（予定）

全日本キックボクシング連盟

立嶋、酒井の対戦相手がタイの強豪選手に決定！

12月22日、全日本キック後楽園大会で立嶋篤史がグリット・ギャッタワンと、酒井秀信がサッダム・ギャットヨンユットと対戦することが決定した。対戦するグリットとサッダムは共に年齢は17歳と若いが、ルンピニーを主戦場とするタイの強豪選手だ。激しい試合が期待できるだろう。

DEAD OR ALIVE
12月22日（金） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/RS席12,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円 立見4,000円（当日券のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック電話予約 ※全日本キックでチケットを購入すると、2001年元日に「全日本キック特製年賀状（抽選で豪華プレゼントあり）」が送られる
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

▲立嶋は、かつて自身がトレーニングを積んだタイの「ゲオサムリットジム」のプリンス、グリットと対戦

▲酒井の対戦するサッダムは、昨年までルンピニースタジアムのバンタム級4位にランクされていた、本格派のムエタイファイターだ

決定対戦カード

―5回戦―

〈日本・タイ国際戦〉

立嶋篤史 vs グリット・ギャッタワン
（RIKIジム）（ゲオサムリットジム）

〈日本・タイ国際戦〉

酒井秀信 vs サッダム・ギャットヨンユット
（REX JAPAN）（タイ/ギャットヨンユットジム）

三上洋一郎 vs 江口慎吾
（SVG）（作真会館）

池田好治 vs 箱崎浩康
（藤原ジム）（TEAM-1）

高田耕芸 vs 加藤豊
（SVG）（月心会）

島野智広 vs 大月敦史
（不動館）（藤原ジム）

THE CHAMPIONSHIP
1月4日（木） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/RS席12,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円 立見4,000円（当日券のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック電話予約 ※全日本キックでチケットを購入すると、2001年元日に「全日本キック特製年賀状（抽選で豪華プレゼントあり）」が送られる
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

決定対戦カード

〈WKA世界ムエタイ・ライト級マッチ〉

小林聡 vs X
（藤原ジム）

〈全日本ミドル級タイトルマッチ〉

新田明臣 vs 清水貴彦
（SVG）（超越塾）

〈全日本ウェルター級王座決定戦〉

内田康弘 vs 千葉友浩
（SVG）（TEAM-1）

〈全日本ライト級王座決定戦〉

金沢久幸 vs 林亜欧
（TEAM-1）（SVG）

〈全日本フェザー級王座決定戦〉

遠藤慎介 vs 大月晴明
（不動館）（REX JAPAN）

〈全日本バンタム級王座決定戦〉

安川賢 vs 新開実
（SVG）（青春塾）

◀新田明臣は超越塾の清水貴彦と、ミドル級のタイトルマッチで対戦する

▲ウェルター級王座決定戦では、内田康弘と千葉友浩が対戦
ウェルター級王座決定戦では、内田康弘と千葉友浩が対戦

アマチュア

T.A.M.A.
(トータル・アスレチック・マーシャル・アーツ)

格闘技サミット・トーナメント

1月28日(日) 東京・ニューシティーホール国立特設コート

◆開場/11:00　試合開始/11:30
◆入場料/2,000円（当日3,000円）
◆会場アクセス/JR中央線国立駅南口より徒歩2分
◆お問い合わせ/T.A.M.A.代表　長瀬正和☎0425-72-6795　☎090-4829-3773

シュートボクシング

第1回全日本ライトアマチュア シュートボクシング選手権奈川大会

2月11日(日) 神奈川・大和スポーツセンター

◆開場/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

その他

ヴァーサス・エンターテイメント

CLUB FIGHT～ROUND 2～

1月20日(土)　大阪・MOTHER HALL

◆OPEN/21:00　FIGHT GONG/22:30
◆入場料/4,000円（当日500円増し）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/地下鉄名城線矢場町駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ヴァーサス・エンターテインメント☎03-5775-1668

決定対戦カード

山本喧一 vs 秋山賢治
（パワーオブドリーム）　（総合格闘技空手道禅道会総本部）

高橋洋子 vs 石原美和子
（Jd'）　（総合格闘技空手道禅道会総本部）

梁正基 vs 藤井敏也
（パワーオブドリーム）　（剛道館）

CLUB FIGHT～ROUND 3～

3月4日(日)　名古屋・Club OZON

◆OPEN/21:00　FIGHT GONG/22:30
◆入場料/4,000円（当日500円増し）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/地下鉄御堂筋線難波駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ヴァーサス・エンターテインメント☎03-5775-1668

ホークエンターテインメント

第2回TITAN FIGHT

1月21日（日）東京・アールンホール

◆試合開始/未定
◆入場料/前売り券3,000円　当日券3,500円
◆チケット発売/12月17日予定
◆チケット発売所/チケットぴあ（予定）
◆会場アクセス/東京モノレール東京流通センター駅より徒歩2分

空手

極真会館（松井派）

KOBE'S CUP 2000

12月17日（日）兵庫県立総合体育館

◆試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/阪神バス県立総合体育館前より徒歩1分
◆お問い合わせ/極真会館中村道場☎078-531-0664

成蹊館

総合格闘技　スタンドアンドファイト5

12月23日（土・祝）京都岡崎武道センター

◆試合開始/13:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄丸太町駅より徒歩5分

ルーキーファイト11
（成蹊館空手新人戦・KICK新人戦）

12月24日（日）　京都岡崎武道センター

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄丸太町駅より徒歩5分

キックボクシング

ニュージャパンキックボクシング連盟

MILLENNIUM WARS 11・YOUNG FIGHT

12月23日（土・祝）　東京・産文ホール

◆開場/15:30　試合開始/16:00
◆入場料/指定席5,000円　自由席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/小国ジム、産文ホール
◆会場アクセス/都営三田線板橋区役所駅より徒歩3分、東武東上線大山駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-5625-2371

決定対戦カード

—3回戦—

中山貴仁 vs 志村豊
（大和ジム）　（小国ジム）

平吹貴博 vs アキラ
（町田金子）　（ウィラサクレックジム）

黒石隆 vs 渡辺秀策
（KOファクトリー）　（小国ジム）

宮園泰人 vs 篠根理孝
（ウィラサクレックジム）　（拳友会）

竹越義晃 vs 櫻井伴保
（小国ジム）　（ウィラサクレックジム）

太田英夫 vs 三上勝矢
（ウィラサクレックジム）　（小国ジム）

若林直人 vs 獅子丸修平
（岩瀬スポーツ）　（小国ジム）

目黒勇気 vs 南健介
（小国ジム）　（ウィラサクレックジム）

小野瀬裕之 vs 高野義章
（小国ジム）　（健心塾）

木下智広 vs 辻中剛
（小国ジム）　（健心塾）

小島遵 vs 柳澤義弘
（小国ジム）　（闘真会）

Topic!

NJKF元バンタム級王者
中島昇が引退

11月26日に行われたニュージャパンキックの『MILLENNIUM WARS 10』のリング上で、元バンタム級王者・中島昇（大和）の引退セレモニーが行われた。中島は「20代の一度しかない青春を、キックボクシングに打ち込めたことは本当に幸せでした。常に大きな目標として有り続けた兄貴（稔倫・現フェザー級王者）がいたことを幸せに思います。キックボクシングを愛する思いを後輩に託し、新しい人生のスタートとしたいと思います」と語り、リングを後にした。生涯戦績は22戦11勝（5KO）8敗3分。

2001年度興行予定

日付	会場
1月26日(金)	後楽園ホール
2月12日(月・祝)	名古屋市公会堂
3月20日(火・祝)	名古屋市公会堂
4月15日(日)	Cassスポーツクラブ
5月25日(金)	後楽園ホール
6月24日(日)	後楽園ホール
7月8日(日)	後楽園ホール
9月8日(土)	後楽園ホール
10月8日(月・祝)	Cassスポーツクラブ
11月2日(金)	後楽園ホール

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8 若山ビル201
☎03-5824-1324

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1 サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
☎0489-63-0005

高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052 港区赤坂8-5-4 ルーメリ赤坂103
☎03-577-55700

掣圏道協会(SA)事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14 恵比寿スカイハイツ607
☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7 江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-1 サガノビル2F
☎03-5625-2371

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12 三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-40-10 グレースワン603
☎03-5713-8061

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ1,2F
☎03-3843-1212

BACK NUMBER INFORMATION
バックナンバー インフォメーション

2号・11号・12号・20号・22号・23号・25号・30号・32号・33号は完売しました。

《7・8　創刊号》
●大会情報/6・20『K-1 BRAVES'99福岡大会』
●インタビュー/髙田延彦、桜庭和志、エンセン井上
●SRS・DX特集★第1弾/お台場格闘チャンネル「SRS」どう〜なってるの？
●着メロ/ピーター・アーツ『ミザルー』

《8・12　創刊3号》
●完全速報/7・18『K-1 DREAM'99名古屋大会』
●インタビュー/フランク・シャムロック、マーク・ケアー、小川直也インタビュー
●SRS・DX特集★第3弾/佐山聡の掣圏道とは何か？
●着メロ/『闘志天翔〜覇王・佐竹雅昭のテーマ〜』

《8・26　4号》
●インタビュー/ホイス・グレイシー、佐竹雅昭、桜庭和志、田村潔司、ビル・ロビンソン
●極真カラテ（松井派）世界大会へのカウントダウン
●SRS・DX特集★第4弾/沖縄の夏　美女と達人に出会う旅
●着メロ/田村潔司『FLAME OF MIND』

《9・9　5号》
●完全速報/8・22『K-1 SPIRITS有明コロシアム大会』
●インタビュー/石井和義、髙田延彦、アレクサンダー大塚、魔裟斗、郷田勇三、田中健太郎
●SRS・DX特集★第5弾/最強！　俺の格闘お宝アイテム
●着メロ/髙田延彦『TRAINING MONTAGE』

《9・23　6号》
●インタビュー/髙田延彦、前田日明、エンセン井上、佐山聡、髙阪剛、武蔵、ノブ・ハヤシ
●SRS・DX特集★第6弾/大山倍達を悩ませた最後の格闘技『中国拳法の謎』
●着メロ/武蔵『KICK START MY HEART』

《10・14&28　合併号　7号》
●本誌独走スクープ！/猪木&小川　闘魂師弟、モンゴル相撲に殴り込み！！
●完全詳報/9・12『PRIDE.7』
●SRS・DX特集★第7弾/桜庭和志の『バーリ・トゥードはプロレス技で勝て！』
●着メロ/エンセン井上『Chant of the Islands』

《11・11　臨時増刊号　8号》
●完全速報/10・3『K-1 GRAND PRIX'99開幕戦』大阪ドーム大会
●現地徹底取材/9・24『UFC-22』
●大特集/格闘王国オランダの強さに迫る
●着メロ/アンディ・フグ『WE WILL ROCK YOU』

《11・11　9号》
●第7回極真世界大会直前大特集/大山倍達のカラテ道人生、ブラジル怪物育成の秘密に迫る
●歴史的対談実現！　石井和義VS松井章圭
●SRS・DX特集★第8弾/微笑みの国タイの国技ムエタイとは何か？
●着メロ/フランシスコ・フィリォ『I'LL BE MISSING YOU』

《11・25　10号》
●完全速報/11・5〜7『第7回極真世界大会』
●詳報/10・28『リングスKOK』代々木大会
●11・21『プライド8』有明大会直前情報/髙田、ゴエス インタビュー
●着メロ/『空手バカ一代』

《1・13　13号》
●インタビュー/佐竹雅昭、桜庭和志、フランシスコ・フィリォ、アーネスト・ホースト、アレクサンダー大塚×ターザン山本対談
●『SRS・DX』が選んだ1999年格闘技界10大ニュース
●詳報/バーリ・トゥード・ジャパン'99
●着メロ/桜井"マッハ"速人『不死身のエレキマン』

《1・27　14号》
●1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000』大会情報 髙田、桜庭、エンセン井上、大刀光インタビュー、佐竹雅昭×ターザン山本対談
●本誌初登場！　船木誠勝インタビュー
●SRS・DX特集★第9弾/まだある大山倍達　世界ケンカ旅行の謎
●着メロ/グレイシー一族『FORT BATTLE』

《2・10&24　15号》
●PRIDE GP 2000直前大特集/佐竹&藤田のシアトル衝撃スパーをレポート◎佐竹のシアトル絵日記◎藤田インタビュー◎ホイス&ホリオンインタビュー
●熱烈応援！　2・26リングスKOK/田村潔司インタビュー、アイブル　インタビュー
●1999『SRS・DX』読者選定ベストバウト！ 桜庭、ダントツでMVP&ベストバウト2冠王に輝く
●着メロ/桜庭和志『SPEED TK REMIX』

《3・9　臨時増刊号　16号》
●完全速報/1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000開幕戦』
●詳報/1・25『K-1 RISING 2000』長崎大会
●熱烈応援！2・26『リングスKOK』★編集長インタビュー/前田日明、ヘンゾ・グレイシーインタビュー
●着メロ/辰吉丈一郎『GAME OF DEATH〜辰吉丈一郎のテーマ〜』

《3・9　17号》
●5・1東京ドームへ『PRIDE GP 2000』その波紋の行方/藤波辰爾、永田裕志、桜庭和志、佐竹雅昭、エンセン井上インタビュー、ボブチャンチン×ターザン対談、アレク×ターザン対談
●熱烈応援！　2・26『リングスKOK』★編集長インタビュー/前田日明　ほか
●着メロ/藤田和之『STAR CYCLE』

《3・23　18号》
●徹底検証&完全詳報『リングスKOK』/KOK緊急大総括、田村、ヘンゾ、ヘンダーソン、ハンインタビュー、試合レポート
●佐竹、掣圏道に弟子入り
●緊急レポート/船木の高知合宿、アブダビ速報
●着メロ/アントニオ猪木『炎のファイター』

《4・13　19号》
●大会速報/3・19横浜アリーナ『K-1 BURNING 2000』
●5・1『PRIDE GP 2000決勝戦』情報/藤田パラオでA.猪木と猛特訓！、ホイス・グレイシーインタビュー&緊急会見、桜庭和志大激怒の反論会見
●着メロ/パンクラス『HYBRID CONSCIOUS』

《5・11　21号》
●完全詳報/4・23大阪ドーム『K-1 THE MILLENNIUM』
●5・1『PRIDE GP 2000』直前情報/エリオインタビュー、佐山聡VSターザン山本対談
●4・30パンクラス横浜文化体育館大会情報/髙橋義生インタビュー
●詳報！ 4・14『UFC-J』代々木第二体育館大会 /ヤマケンが語る4・14『UFC-J』、こんなヤツらこそ金網が似合う
●大会速報/4・20リングス代々木第二体育館大会
●大会レポート/4・15『フューチャーブロウル2000』、4・16佐藤塾『第15回全日本大会』ほか
●着メロ/アレクサンダー大塚『AOコーナー』

《6・22　24号》
●完全速報！　6・4『プライド9』
●海外速報　6・3『K-1 FIGHT NIGHT』スイス大会
●大会詳報　5・28『K-1 SURVIVAL 2000』札幌大会
●その後の『コロシアム2000』/近藤有己&吉村直明プロデューサーインタビュー
●6・17〜18極真カラテ全日本ウェイト制大会プレビュー/田中健太郎インタビュー
●編集部の注目！/6・11『アルティメット・ボクシング』横浜アリーナ大会
●大会レポート/5・21SB後楽園大会、5・24全日本キック後楽園大会、5・26MAキック後楽園大会
●着メロ/天田ヒロミ『PRETTY FLY』

《7・27　26号》
●大会速報！　7・7『K-1 SPIRITS』仙台大会
●K-1 WORLD GP 2000開幕/バンナ、フィリォ、アーツインタビュー
●大会詳報！　6・24 K-1 東ヨーロッパ&ロシア地区予選
●特別現地レポート/注目の石沢&永田、猪木島を征く
●スペシャル対談/桜庭和志VS中井美穂（前編）
●編集部の注目！/6・26パンクラス後楽園大会、菊田早苗インタビュー、魔裟斗インタビュー
●大会レポート/6・20全日本後楽園大会、6・24THE KING OF CAGE、7・1コンテンダーズ
●着メロ/小林聡『KIDS RETURN』

《8・10　27号》
●スペシャル対談/アントニオ猪木VSターザン山本、桜庭和志VS中井美穂（後編）
●8・27『プライド10』特集/桜庭和志、ヘンゾ&ハイアン・グレイシー、藤原喜明、ケン・シャムロック、エンセン井上インタビュー、藤田和之アメリカ修行レポート
●7・30『K-1 WORLD GP 2000 in 名古屋』直前情報/ニコラス・ペタス、金泰泳インタビュー
●編集部の注目！/アレクサンダー・カレリン、『新生パンクラスの男たち第1回』近藤有己
●大会レポート/7・7NJKF後楽園大会、7・16修斗後楽園大会、7・20MAキック後楽園大会、7・22修斗北沢大会、7・23パンクラス後楽園大会
●着メロ/植松直哉『ワルキューレの騎行』

《8・24&9・14　合併号　28号》
●8・20『K-1 WORLD GP 2000 in 横浜』直前情報/緊急座談会、盧山初雄、シリル・アビディ、中迫剛インタビュー
●大会詳報/7・30『K-1 WORLD GP 2000 in 名古屋』
●8・27『プライド10』直前情報/猪木が石澤&藤田を従えPRIDE出陣記者会見、新間寿VSターザン山本対談、ハイアン・グレイシーインタビュー
●大会レポート/7・26WOLF REVOLUTIONヴェルファーレ大会、7・29新日本キック後楽園大会、7・30全日本キック後楽園大会　新世界王者・小林聡VSビートたかし対談、8・4修斗大阪大会
●着メロ/長州力『パワーホール』

《9・28　臨時増刊号　29号》
●緊急追悼特集/8・24アンディ・フグ逝く
●大会速報/8・27『プライド10』
●大会詳報/8・20『K-1 WORLD GP 2000 in 横浜』、フランシスコ・フィリォ&シリル・アビディ インタビュー
●海外レポート/桜庭戦後のホイス・グレイシーをロスの自宅でキャッチ
●大会レポート/女子ボクシング世界戦in韓国、極真全関東大会
●噂の三面記事/パンクラス・近藤がUFCに挑戦！
10・22『サムライ』有明大会で柳澤龍志が掣圏道と激突！　ほか

《10・12&26　合併号　31号》
●巻頭ストーク特集・第2弾！ 検証・まだまだ続く石澤問題!!/山本小鉄、辻義就インタビュー
●海外レポート / 9・22『UFC 29』パンクラス・近藤、UFC初見参！
●石井館長と語ろう！ 10・9『K-1 WORLD GP 2000』福岡大会の見どころ！
●10・31『プライド11』特集/髙田延彦、藤田和之、桜庭和志（後編）インタビュー
●『SRS・DX』の注目！/10・22『サムライ』有明大会、どうなる極真・全日本！
●大会速報/9・24パンクラス横浜文化体育館大会、新生パンクラス・須藤元気
●大会レポート / 9・10正道会館全日本大会、9・13全日本キック後楽園大会、9・15修斗後楽園大会、9・20SB後楽園大会、9・21女子ボクシング下北大会

《11・23　34号》
●完全詳報&特別企画/10・31『プライド11』大阪城ホール大会、緊急『プライド』座談会
●完全詳報/11・1『K-1 J・MAX』後楽園ホール大会/魔裟斗&小比類巻、メジャーリーガーの証明
●『SRS・DX』の注目！/大仁田厚が『プライド』森下社長に猪木戦直訴！、10・27修斗NKホール大会で宇野薫VS佐藤ルミナ戦 決定！、11・26『バトラーツ駒沢大会』直前情報
●大会レポート/10・31『パンクラス』後楽園ホール大会、10・29『アルティメット・ボクシング』有明大会、11・4〜5 極真全日本空手道選手権 大会速報、10・21ニュージャパンキック名古屋大会、10・28 新日本キック後楽園大会
●ついに発売!!サクラバマシンフィギュア&アントンTシャツ情報！

《12・14　35号》
●世紀末大特集・20世紀と格闘技/プロレス&格闘技年表、力道山、新日本プロレス、極真、UWF、K-1、UFC、『プライド』、平成のデルフィン、東スポ伝説、私の選んだ名勝負BEST.5
●インタビュー大特集/バンナ、武蔵、谷津嘉章、髙橋義生、アレク、魔裟斗、武田幸三、12・3ラジャ興行に出場する新日本キック王者たち
●緊急『東スポ大賞』座談会/2000年のMVPは誰だ！
●大会レポート/11・12『クラブファイト』、11・12修斗後楽園大会、11・11MAキック後楽園大会
●噂の三面記事/12・31、猪木イベントの正体はワンナイト・タッグトーナメント！　新イベント『DEEP 2001』に未知のグレイシー来襲か！？　打倒ムエタイのロマンとは何か？　ほか

バックナンバー　通信販売方法
定価／各680円　送料／1冊＝310円、2冊＝340円、3冊以上＝500円。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1〜2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

恒例！　キッドの『プライド12』直前大予想

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.kidchan.com

博士　いよいよ近づいてきたぞ、今世紀最後の『プライド12』！　会場はさいたまスーパーアリーナだ！

玉袋　大阪大会の桑田佳祐に対抗して、会場で〝さいたまんぞう〟が名曲『なぜか埼玉』を熱唱！　会場大盛り上がりですよォオーッ！

博士　そんな懐かしい「あの人は今」的な人間を出したって盛り上がらないよ！

玉袋　そして全試合の終わりに、ターザン山本と長谷川京子の電撃結婚記者会見が開催されます。

博士　さいたまアリーナはたまたまキムタクが工藤静香との結婚記者会見を開いた場所ってだけだろ！

玉袋　長谷川京子がターザンの子供を妊娠したんですよ！

博士　「ローズマリーの赤ちゃん」じゃないんだから気持ち悪いよ！　長谷川京子とターザンとの絡みは向こうの事務所からNG喰らったから、もう二度とできないらしい。

玉袋　前田、長州に続いてハセキョーからも取材拒否ですか。

博士　取材拒否って言い方あるかよ！

玉袋　よーし！　こうなりゃターザンに「姫さまは高い塔の上に囚われの身になっているから略奪せよ！」っても っと焚き付けてやる！

博士　その気になるからやめろ！

玉袋　だって12月ですよ。「たかし」が走ると書いて師走ですから。

博士　書かないよ！　マット界以上に日本の政界も大騒ぎ。

玉袋　そうそう、猪木会長の『プライド』プロデューサー不信任案は結局否決されてね。

博士　お前は国会をどういうふうに見てるんだよ！　あれは森首相の内閣不信任決議案が否決されたんだよ！

玉袋　でも翌日の東スポ一面はぶったまげた。「猪木、藤波社長辞任案否決」でした。

博士　さすが東スポ！　って思わずズッコケたけどな。

玉袋　その記事を見て長州力がコップの水をぶちまけてましたよ！

博士　するか！　なんで長州が大学時代の師匠、松浪健四郎のマネをするんだよ！

玉袋　きっと水をぶっかけた先に安生の墓があったんですよ。

博士　なんで安生の墓があるんだよ！

玉袋　だって松浪はよく言ってましたよ。「墓に糞ぶっかけてやる！」て。

博士　だからそれが後輩の長州のセリフなんだよ！　松浪は下劣なヤジに怒ったんだよ！

玉袋　この八百長野郎！

博士　それは北尾がテンタに吐いた発言だろ！　「ちょんまげ野郎！」だよ。

玉袋　そのヤジに対して、塩をまいて、四股を踏めば、松浪さんは粋だったのにな。

博士　なんで相撲取りになってんだよ！

玉袋　松浪はこの責任をとって自らの手で菜切り包丁を使って髷を落とし、心機一転日本プロレスを旗揚げ。

博士　そのエピソードは力道山が相撲廃業した時のエピソードだろ！

玉袋　その力道山の長男の義浩さんが亡くなりました。

博士　話が飛び過ぎだよ！

玉袋　死因は幼い頃、力道山に真冬のプールに落とされたからです。

博士　だから、なんで関係ない力道山ファミリーのエピソードを語ってるんだよ！　松浪は野中に言われて髷を落としたんだよ！

玉袋　断髪式には行方不明だった憲子夫人も〝凛として〟駆けつけてましたよ。

博士　二子山騒動と一緒になってるよ！

玉袋　だからヨコヅナは死んだのです。

博士　そりゃ元FMWのレスラーの話だろ！　松浪の話はどこいったんだよ！

玉袋　松浪は今度の『プライド12』で保守党松浪健四郎VS民主党細野豪志の水かけマッチが決定してますから！

博士　向こうが受けないよ！

玉袋　アマレスのチャンピオンの松浪は今後プロに転向して谷津の仇をとるべきですよ！

博士　ゲーリー・グッドリッジと闘うのかよ！

玉袋　それがいやなら、ロシアの水ぶっかけ王のジリノフスキーと闘え！

博士　レスリングVSコマンド・サンボでメチャクチャ楽しみなカードだろ！

玉袋　とにかく松浪は今回のペナルティーで保守党を離脱してZERO－ONEを旗揚げするべきですよ！

博士　それは新日を解雇になった橋本だろ！

玉袋　俺は動いた！

博士　全然動いてないよ！

玉袋　動いてない証拠に、橋本はお腹がまだ出てましたよ。

博士　動いてないの意味が違うよ！　しかし森内閣不信任案で加藤紘一がな～んか橋本に見えて仕方ないんだけど。

玉袋　泣き虫、優柔不断、家のローンが残ってる。本当だ、共通点が多い！

博士　加藤さんに家のローンが残ってるかは知らないよ！

玉袋　加藤さんのベンツに「小川」ならぬ「森」って落書きされたらしい。

博士　そのエピソードも橋本のだろ！　そして注目はやっぱりメインの桜庭だ！

玉袋　ボコボコにされて巨乳絞られてましたよ。

博士　「ReMix」の桜庭あつこの話はいいよ！　桜庭和志は他社の雑誌でうちの師匠（ビートたけし）とツーショットで表紙を飾ってた。

玉袋　あの雑誌を見て対戦相手のハイアンが、出版した講談社に傘と消化器をもって殴り込みましたよ！

博士　殴り込まないよ！　しかも、その雑誌の出版社は新潮社だよ！

玉袋　でも、うちの師匠と対談したくらいですから、次はコマネチを使った技を披露してくれるんじゃないですか！

博士　志村さんの「アイ～ン」はやってるからな。お笑いシリーズ有り得るぞ！

玉袋　そうなると、たけしと志村で「タケシムケン」ですから、決まれば試合がすぐ終わりそうですね。

博士　失礼なこと言うな！　そして藤田はアイブルと対戦決定。

玉袋　藤田は最近「金持ちラッパの吹き方」って本出したね。

博士　それはマクドナルドの藤田田（でん）の自伝だろ！

玉袋　失礼しました。藤田の本は「美獣」でした。

博士　「野獣」だよ！　「美獣」じゃハーリー・レイスだよ！

玉袋　美獣→ピカチュウ→ライチュウ？

博士　美獣じゃなくて、その進化系はピチュウだ！　『プライド』と何も関係ない話だよ！

玉袋　蝶野→獣神→長州？

博士　新日の年功序列だろ！　ますます関係ない！　そして、どっから見てもケアーの負けだったけど、ノーコンテストになったボブチャンチンVSケアーの再戦だ。

玉袋　ケアーはそろそろ大爆発しないと、戦力外通告されますよ。

博士　たしかに最近ノーマーク・ケアーと言われてるからな。林家ペーパーも真っ青のダジャレだけど……。

玉袋　林家ケーアーとして芸人になるしかない。

博士　そしてアレクVSメッツアーだよ。

玉袋　ガイVSゲイ！

博士　アレクはゲイ雑誌でモデルやってただけだ！　本当にゲイじゃない！

玉袋　なにやら怪しげな雰囲気の膠着マッチにならなきゃいいが。

博士　だから違うって言ってんだろ！

玉袋　この試合だけ森下代表には代表の座を降りてもらいまして……。

博士　なんで降りなくちゃいけないんだよ！

玉袋　IWAジャパンの浅野起州社長に仕切らせましょう！

博士　本格的な新宿二丁目マッチになっちまうよ！

玉袋　頑張れアレク！　キープムービング！

博士　とにかく最近、新しい格闘技イベントもナゴヤのほうで旗揚げしたらしいから、『プライド』も頑張りどころ！

玉袋　どうなんですかね～「リーブ21」って。

博士　「DEEP21」だよ！　いい加減にしろ！　■

2000年12月31日、20世紀から21世紀へ

猪木の名のもとに、遂に新日本プロレスとPRIDEが

ドッキング合体!!

主催／毎日放送　大阪ドーム

アントニオ猪木総合プロデュース

0.12.31～2001.1.

記者会見

FM802　協力／

ステージエンターテ

アントニオ猪木プロデュース／ミレニアム・ファイティング・アーツ
「イノキ・ボンバイエ」記者会見

▲記者会見は、12月5日（火）東京プリンスホテルで行われた

新日本プロレス藤波辰爾社長が登場！

仰天！

◀驚いたのは、新日本の藤波辰爾社長が現れたことだ。「猪木さんには驚かされることばかりで、先程〝来い〟と言われました」と藤波社長。本当にラフなかっこうだった

世紀末の2000年12月31日、大阪ドームで開催されるアントニオ猪木プロデュースの格闘技イベント「ミレニアム・ファイティング・アーツ・イノキ・ボンバイエ」の記者会見が、12月5日(火)都内にある東京プリンスホテルで開催された。驚いたのは、そこになんと新日本プロレスの藤波辰爾社長が現れたこと。猪木の元に、遂に新日本プロレスと『プライド』が合体した。

握手

橋本、小川も出場が決定！ 大阪ドームのチケットは初動1万枚が売れる異常人気！

桜庭VSカシン戦が早くも決定！ 猪木がグレイシーと対決する？

アントニオ猪木プロデュースの世紀末イベント「イノキ・ボンバイエ」が、ついに動き出した。

ロスから一時帰国した猪木は、その後、佐竹を伴ってパラオ共和国入り。そして、再び帰国した12月5日に、都内の東京プリンスホテルで記者会見を開いた。

12月31日の大晦日から元旦にかけて行われる同イベントは、猪木がプロデュースし『プライド』を主催するDSEが大会を運営。主催者には、毎日放送、大阪ドーム、イベント会社のステージアが名を連ねている。

そして、この日の記者会見で一番驚いたのが、新日本プロレスの藤波辰爾社長が出席し、新日本が全面協力することを発表したことだ。当初、藤波社長は「格闘技の『プライド』なら選手を送り込むことはあるが、プロレスのイベントとなると別」と、DSE主導で行われる同イベントに対して警戒心を見せていた。

それもそのはず、もしこの世紀末イベントが成功すれば、DSEが『プライド』以外のソフトとして、プロレスに本格的に進出する可能性も十分秘めているからだ。

今の『プライド』のメンバーを考えれば、それもうなずける話。高田道場勢に加え、UFO、藤田和之、佐竹雅昭といった手駒が揃っている。新日本プロレスのリングで名を上げた元アルティメット戦士ドン・フライのように、外国人選手にもプロレス向きは多いからである。

しかし、藤波社長をはじめとする新日本の幹部は、猪木の「いろんなこだわりや枠があるけど、それを取っ払えば、こんな花が咲いたよ、ということがある」という一言で方向転換し、会社を上げて協力することを決意したようだ。

「猪木さんには驚かされる。この記者会見があるのも先ほど聞いた」と苦笑いしながら会場に姿を現した藤波社長は、猪木とガッチリ握手。これにより、新日本所属のプロレスラーが『プライド』のリングに、そして『プライド』の戦士が新日本のリングに上がるという信じられない交流が、21世紀から活発に行われる可能性が出てきた。

これに対し、現役復帰をにらむ長州現場監督や新日本の主力レスラーがどう出るかは見もの。いずれにしても、この握手で当初考えられていた『プライド』戦士がプロレスをやるイベントとは、完全に性質が違うものになってきた。猪木の言う、枠を取っ払った結果、そこに新しい何かが生まれる期待もある。

そこでまず決定したのが、桜庭和志VSケンドー・カシンのシングル対決。猪木によれば「インターネットを通じて、ファンの声を聞いているんですが、〝これは無理だよ〟という意見が多い。その無理に挑戦したいと思う」と、いち早くこのカードを決定した。

ほかには高田とアレクサンダー大塚も出席し、同イベントの参戦を表明。4年ぶりのプロレスの試合となる高田の口からは「タッグマッチというより、シングルがやりたい」という発言が出て、具体的には〝武藤敬司〟の名前も飛び出した。

高田は12月7日から渡米して、猪木の住むロサンゼルスに入る。そこで、猪木だけでなく、武藤とも合流する。

「〝どうしても〟ってわけじゃないけど、武藤ならいいものが気持ちの中から沸き出る相手。でも、ファンに懐古的な闘いと見られるんならやりたくないけどね」と高田。果たして、高田VS武藤か、高田・武藤組が実現するのか、注目したいところだ。

新日本と『プライド』の世紀の合体！　こうして、猪木の元でプロレス最大メジャーの新日本と『プライド』がド

ケンドー・カシン VS サクカラス？（桜庭和志）

▲桜庭VSカシンのカードが早くも決定。桜庭にとっては、久々のプロレスの試合となる

◀猪木と親しそうに話す高田も出場が決定。武藤敬司との対決か、タッグマッチを匂わせた

▲記者会見には、出場が決まっているアレクサンダー大塚のほか、『プライド』の森下直人社長や主催者である毎日放送の役員が出席

ッキングしたことで、夢のカードはいくらでもできるようになった。新日本からは、カシン、武藤だけじゃなく、話題の安田忠夫やドン・フライ、そして猪木イベントということで、独立した橋本真也や小川直也も出場するというから目が離せない。

また、『プライド』側からは、王者マーク・コールマンをはじめ、マーク・ケアー、ケン・シャムロック、ゲーリー・グッドリッジとアルティメット元王者、バス・ルッテンの5名の怪物の出場がほぼ決定している。こうなると、本当にマット界の21世紀を占うイベントとなりそう。当然、1・4新日本のドーム大会との絡みも出てくるはずだ。

本誌は前号で「ワンナイトのタッグ・トーナメント」をやる可能性が高いと書いたが、猪木の構想ではまだそのアイディアは残っている。

しかし、選手の気持ちは髙田をはじめ〝シングル〟を希望する者が意外と多く、もしかしたら「新日本プロレスVS『プライド』」の構図の試合や、プロレスラーと『プライド』戦士をミックスしたタッグマッチなど、バラエティに富んだマッチメイクがラインナップされるかもしれない。本誌が発売される頃には全体像が見えているだろう。

しかも、仰天情報として本誌に入っているのは、猪木自身もグレイシーとのスペシャルマッチを考えているということだ。これが実現すれば、凄いことになる。いったい、グレイシーの誰が猪木と肌を合わせるのだろうか？

猪木のことだけに、グレイシーをプロレスの土俵に上げることは十分考えられたが、まさかその相手に自分を考えているとしたらさすがとしか言いようがない。

もちろん、こうしたイベントを開くと、格闘技側の一部から猛反発を食う可能性もある。また、フタを開けてみたら大したことのない内容になってしまうこともありえる。そういう意味では、本当に読めないイベントである。

また、読めないという点で言えば、この種のイベントを開くことで『プライド』側がダメになっていくのか、新日本プロレスが落ちるのか。あるいは、相方が交わることで新しい何かが生まれるのかということである。

そういう読めないところと『プライド』の追い風に乗って、この世紀末イベントは、目が離せないものになっているのである。とにかく、それらの答えは、行ってみなければ見つからないだろう。

なお、同イベントは、『プライド』に出ている選手が今さらプロレスをやっても……という声をよそに、チケット発売と同時に約1万枚が売れるという異常な反響ぶりを見せている。

競技は別だが、ファンも選手も、今や完全にボーダーレス化している証拠だ。■

髙田、トークショーで、『プライド』続行、プロレス復帰宣言！

12月2日、パイオニアから『プライド』のDVDの発売に関連して、髙田と松井のトークショーが開催された

12月2日、渋谷Qフロントで、髙田延彦と松井大二郎のトークショーが行われた。『プライド11』でのボブチャンチン戦以来、久々にファンの前に元気な姿を現した髙田は「お客さんに近くでジーッと見られるのは苦手だね。パンツ一丁になると元気が出るんだけどね（笑）」といきなり会場を笑わせた。

トークショーが始まって、司会者の質問が、髙田からボブチャンチン戦の前に飛び出した「もしかしたら、これが最後のバーリ・トゥードになるかも知れない」という発言に及ぶと、「期待を裏切る試合が続いていたので、これ以上辛抱して見てくれてる人達を引っ張り続けるわけにはいかないっていうのが自分の中にあって、区切りを付けるために試合をしたんですけど、試合後にもう一度『プライド』で試合をしてくれという声が非常に多かったので、リング上に忘れてきた物を拾いに行きます」と答えた。気になる“忘れ物”については、司会者やショー終了後にマスコミ陣も突っ込んで聞いたのだが、「勝ち星とかではなく、人です。あとはノーヒント」と答えるだけにとどまった。しかし、その口振りから察すると、まだ闘ったことのない相手のようだ。

12月31日の猪木祭りについては、「出場します。せっかくだから、思い切りプロレスをしたいので、相手はトップでうまい選手がいい」とプロレス復帰を宣言。練習については「してません。自分に染み着いたものを確認したい」とコメントした。しかも、この日の髙田は舌の方も絶好調！「12月31日は先の尖った靴を履き、ターバンを被り、上田さん（馬之助）の様に竹刀を持っていきたい（笑）」とヒール願望を告白したかと思えば、「ハイアン？　サクならセコンドも水も要らないんじゃない？」と会場を大いに沸かせた。

『プライド』&アルティメットからは、この5人のメンバーの参戦が決定！

ゲーリー・グッドリッジ
〈トリニダード・トバコ/フリー〉

マーク・ケアー
〈米国/ハンマーハウス〉

バス・ルッテン
〈オランダ/ビバリーヒルズ柔術クラブ〉

ケン・シャムロック
〈米国/ライオンズ・デン〉

マーク・コールマン
〈米国/ハンマーハウス〉

見所

世紀末、大ブレイクした『プライド』の今年最後の大会は全8試合

藤田はアイブルと野獣対決 KOK王者ヘンダーソン出場！

世紀末の2000年、最もブレイクした格闘技が『プライド』であることは、誰も異論はないだろう。

その『プライド』の20世紀最後を締めくくるのが、12・23さいたまスーパーアリーナで開催される『プライド12』。

驚くことに、すでにチケットは、大阪城ホール大会の時と同様、当日券を残してほぼ完売状態。そうなると、気になるのが、当日のカードである。

『プライド12』は、全8試合。小川VS佐竹の〝柔道VS空手〟の世紀の他流試合といったスペシャルカードはないが、メインの桜庭和志VSハイアン・グレイシー以外のどのカードを見ても、インパクトというよりやってみたら実に面白い試合になりそうなマッチメイクがラインナップされている。

たとえば、桜庭VSハイアン戦で言えば、前回のハイアンはグレイシーというより、個人の持つ狂気性で石澤に勝ったというインパクトがあまりに強い。

そんなハイアンだけに、桜庭という強豪を迎えて、どんなグレイシー性を出すのか興味が湧いてくる。これまで、桜庭と闘ってきたグレイシーは、ほとんど精神的にその狂気性を封印してミスをしない闘い方をしてきた。

しかし、それが逆に桜庭マジックにかかり、いつの間にか桜庭ペースで試合を展開されてしまっている。

だが、猪木をして「一番ヤバイ」と言わしめるハイアンは、石澤戦を見る限り、最初に自分でペースを作り、乗ったらその勢いは誰も止められそうにないタイプ。

石澤戦後、ブラジルのナイトクラブで酔っぱらってヴァリッジ・イズマイウとストリートファイトをしたというハイアン。その野性ぶりが桜庭のIQをどう狂わせるかに注目したい。今や桜庭はそれほど追われる立場だからだ。

野性ぶりと言えば、藤田和之VSギルバート・アイブルの野獣対決も非常にスリリングな一戦である。藤田はこれまで、マーク・ケアーやケン・シャムロックといった野獣タイプに勝ってファンを驚かせた。しかし、ケアーやシャムロックが身体能力的な野獣とすれば、アイブルは闘いの感性や精神が野獣的なタイプ。そういう意味では、過去の試合とは違った試合展開になる可能性が高い。

これまでの藤田は、そういった身体能力の長けた怪物を相手に、相手の攻撃をしのぎ切り、チャンスと見るや一気に逆転してネジ伏せるという戦法をとってきた。しかし、アイブルは過去リングスの田村潔司戦などを見ると、終始動物的カンを働かせて勢いに乗るタイプ。そんなアイブルを相手に、藤田がどんな新しい一面を見せるかに期待がかかる。

そう言えば、今大会にはアイブルに続いて、リングスの初代KOK王者に就いたダン・ヘンダーソンが参戦してくる。相手はブラジルのIVC王者で、立ってよし寝てよしの総合ファイター、ヴァンダレイ・シウバである。

ヘンダーソンは、立ち技で相手を固定したまま打つアッパーでダメージを与え、グレコローマンスタイルのポジション取りで相手を翻弄して勝ってきたタイプ。バルセロナ、アトランタ五輪に出場し、UFCライトヘビー級トーナメントでは、あのアラン・ゴエスを破って優勝しているから、実績も申し分ない。この一戦の勝者は、桜庭戦がグンと近くなるはずだ。

このように一戦一戦を見ていけば、どれも噛み合いそうな試合ばかり。こういうチケットが売れている勢いのある時は、いかに当日のお客さんを満足させられるかにかかっている。その積み重ねが、『プライド』の信用となっていくはずだ。その意味で、『プライド12』はそれを狙った興味深い対戦ばかりだ。

そして、もうひとり、本誌が注目しているのが『プライド9』の不慮の事故で、全身に火傷を負って試合をしないまま入院してしまった〝ファイアーマン〟ことジョイユ・デ・オリベイラである。

主催者のミスであれほどの目に遭いながら「早く治して『プライド』に出たい……」と泣かせるセリフを吐い

▼ルンピニースタジアムでムエタイを観戦するエンセン。エンセンはムエタイの伝説のチャンピオン、センティアンノーイのジムで練習していた

タイで特訓していたエンセン井上を直撃！

――エンセン選手、噂によると内緒でタイに来たみたいですね。

エンセン　立ち技好きだし、勉強しなくてはいけないと思ったから。みんなに黙って練習して、試合でムエタイの動きが出せるようになったら、「タイで練習してますよ」って言いたかったネ（笑）。

――今回の練習は『プライド』のためですか？

エンセン　もちろん『プライド』のため。だけど、ヒース・ヒーリング選手は特別に立ち技が必要か、寝技が必要かじゃない。カレは全てできるから、べつにそういうための練習じゃないけど、自分の選手としてのための練習ネ。

――ヒーリング選手は『プライド11』でトム・エリクソン選手に勝ってますけど、どういう印象がありますか？

エンセン　勢いあるネ。でも、ちょうどいいと思う。自分も熱くなりすぎだから、冷静に桜庭っぽく試合をやってみたかったから、カレは熱い選手だから、ちょっと引いてみて。

――今までは熱いエンセンだったけど、今回は……。

エンセン　考えるエンセン（笑）。アハハハ。ボブチャンチン戦の最初の1分は何も考えてなかったから（笑）。もう、ビデオで転んだりしてるの見て、ホント恥ずかしかった（笑）。でも、そこまでなるなら、冷静に技や技術、勉強したものを出せるように、ちょっと落ち着いたほうがいいかなと。

――今回は、とにかく勝ちたいと。

エンセン　勝ちたいというのが一番の目的ではない。今回は凄い技を出したい。しっかりした技術を見せたい感じネ。熱くなるのは問題ないから。それは途中でもできるから（笑）。最初はできれば冷静に、バーンとならないように。だから、みんな見てて「それは寂しい」となるかもしれないけど、途中でなるよ、絶対に。だから、それは問題ないネ（笑）。

――冷静にやるのはどっちかというと立ち技？

エンセン　もちろん、試合は立って始まるから立ち技。それで、カレに任せます。カレが

たオリベイラ。相手は希代のテクニシャンのカーロス・ニュートンだが、ぜひ応援してほしい。

しかし、『プライド12』が盛り上がるかどうかは、当日の選手のモチベーション次第。くれぐれも盛り上がりで12・31猪木イベントに負けて、本末転倒にならないことを祈るばかりだ。■

12・23 さいたまスーパーアリーナ『PRIDE.12』全カード

ダン・ヘンダーソン〈米国/フリー〉 VS ヴァンダレイ・シウバ〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉

藤田和之〈猪木事務所〉 VS ギルバート・アイブル〈オランダ/ゴールデン・グローリー〉

カーロス・ニュートン〈カナダ/ローニン〉 VS ジョイユ・デ・オリベイラ〈ブラジル/アカデミア・ブドーカン〉

エンセン井上〈PURBREAD大宮ジム〉 VS ヒース・ヒーリング〈米国/ゴールデン・グローリー〉

桜庭和志〈高田道場〉 VS ハイアン・グレイシー〈ブラジル/ハイアン・グレイシー柔術アカデミー〉

アレクサンダー大塚〈格闘探偵団バトラーツ〉 VS ガイ・メッツアー〈米国/ライオンズ・デン〉

小路　晃〈A3ジム〉 VS アラン・ゴエス〈ブラジル/ブラジル・トップチーム〉

マーク・ケアー〈米国/ハンマーハウス〉 VS イゴール・ボブチャンチン〈ウクライナ/フリー〉

テイクダウンしたいんだったら、寝技で勝負しよう。カレ、もし殴り合いたいんだったら、立ち技で勝負する。

――タイでの練習のスケジュールは？

エンセン ルンピニーパークで走って、戻ってストレッチして、2時くらいに出発して3時にジムに着く。そして5キロくらい走って、その後に縄跳びか、大きいタイヤでジャンプして、ストレッチして、4ラウンドくらい自分で教えてもらったフック→右ローとか、ワンツー引いて右ローとか、基本的なことの繰り返し。で、センティアンノーイかミット持ってくれる人に「リング入れ」って言われたら、日によって違うけど、3ラウンドも4ラウンドもやって、かなりスパーリングみたいな感じネ。ちょっと、違うね。疲れちゃうネ。

――センティアンノーイジムで一番学んだことは？

エンセン 一番勉強してるのは、首相撲と簡単な基本的なコンビネーション。こっちはみんなタイボクシングできて当たり前だと思ってるから、凄くコンビネーション教えてくれるネ。自分もまだできないと思うけど、下手だけど繰り返し、繰り返し何百回もやってどんどん動きを覚えている。それは勉強になった。柔術だったらやっぱりブラジルに勉強しに行かないと気持ちが分からない。立ち技だったら、ムエタイ。タイに行かないと勉強にならないと思うネ。

――今度のヒーリング戦について、エンセン選手にとってはどんな意味がありますか？

エンセン う～ん、できれば立ち技で試合を終わりたい。ちょっとみんながバカと思ってるかもしれないけど、一番エキサイトするのは、自分の弱いところで勝負すること。そのほうがなんか、凄い勉強になると思うから。ヒーリングとの試合は、立ち技での勝負が面白いなぁと思って。カレがもし打ち合ってくれば、打ち合う。自分がもらったらいくかもしれないけど。一応、立ち技でやってみようと。

――では、最後にファンにメッセージをお願いします。

エンセン F1の車のレースみたいで、いつも300キロくらい出すんだったら出せるよ。でも、エンセンの前のF1みたいな運転だったら、300キロ出しっぱなしで爆発するネ、エンジン。今回は出して、引いて、出してのことができるかなぁと思って、それを期待してほしいんだけど、まあそういうことを言い過ぎたくないんで。もしかしたら、また、ゴングなったらボブチャンチン戦みたいな勢いになっちゃうから（笑）。それもあるかもしれないから、読めないから面白いと思う。一応、全部全て出して、タップも絶対にしないし、もう倒しに行きます！■

異変発生

12・16『UFC—J』全対戦カードが決定! 1・8『DEEP2001』も、注目対決が目白押し……

村浜武洋VSホイラー正式決定! パンクラスとリングスの対決も

開催までわずかとなった12・16『UFC—J』ディファ有明大会の対戦カードが出揃った。

今回、新たに発表されたカードは4試合。11月17日にアメリカ・アトランティックシティで行われた『UFC28』が終わったことで、続々とカードが決定した模様だ。このアトランティックシティ大会で予定されていたチャック・リデルVSジェフ・モンソンの一戦は、両者の体重オーバー&ドクターストップで中止となり、日本で改めて試合が行われることになった。

ほかに発表された『UFC—J』のカードも、和術慧舟會の高瀬大樹VSファビアノ・イハなど、好ファイトが期待できそうな対戦ばかりとなっている。

そしてこの『UFC—J』の最大の注目は、ミドル級、ライト級の王座に日本人ファイターが挑戦する2大タイトルマッチだ。近藤とティトは当初、9月22日の『UFC27』で対戦するはずだったが、その際はティトが試合をキャンセルしている。今回に関しても実現を危ぶむ声があったが、とうとう正式に決定した。5・26『コロシアム2000』のサウロ・ヒベイロ戦以来、その評価が上がる一方の近藤。ヒクソン・グレイシーとの対戦を希望しているが、現在、ヒクソンには小川直也、桜庭和志というビッグネームが対戦候補と言われている。プロのファイターとして彼らに負けないだけのステータスを築き上げるためにも、是が非でもベルトを自分の腰に巻きたいところだ。

船木誠勝引退をきっかけに、パンクラスでは若い選手がどんどん台頭している。近藤がタイトル奪取に成功すれば、「新生パンクラス」にはますます勢いがつきそうだ。

そのパンクラス、最近は全方位外交という路線を打ち出しているのだが、実際『UFC—J』に続き、来年1月8日、愛知県武道館で行われる総合系の新イベント『DEEP2001』にも、大量に選手を送り込むこととなった。

前号でも、パンクラスと『DEEP2001』の協力体勢に関してはお伝えしたが、12月7日、名古屋ヒルトンホテルで行われた記者会見でのカード発表によると、実に5人ものパンクラシストが出場するという。現ライトヘビー級王者のKEI山宮を筆頭に、今パンクラスマットで最もイキのいい美濃輪育久や石井大輔、謙吾、窪田幸生と、いずれも将来を嘱望される若い世代の選手たちだ。

それだけに、今後のパンクラスの方向性、それに格闘技界全体の趨勢を占う意味でも、『DEEP2001』は重要と言えるだろう。

山宮がパウロ・フィリョ、美濃輪がヒカルド・リボーリオ、石井がジョルジ・パチーノ・マカコと、パンクラス勢がブラジリアン柔術家と対戦するのも、大きな注目ポイントだ。パンクラスは、エースであった船木がヒクソンに負けて引退したり、ポジショニングの攻防に難があると言われたり、つまり柔術家(およびそのテクニック)は〝天敵〟とも言える存在なのである。

しかも、フィリョ、リボーリオ、マカコの3人は、柔術界でもトップ中のトップと言える実績の持ち主。大会名どおり〝ディープ〟でマニアックなカードではあるが、パンクラスにとって、かなりの大勝負なのは間違いない。

またパンクラス絡みで言えば、窪田の試合も、相当な注目を浴びるだろう。窪田が対戦するのは、上山龍紀。そう、あのリングスの上山なのだ。11・25『コンテンダーズ』では、パンクラスのネオ・ブラッドトーナメントで優勝したRJWの星野勇二と対戦して話題となった上山。それに続いて今回は、正真正銘のパンクラス所属選手との試合である。

パンクラスとリングスといえば、まったくの水と油というか、もう永遠に交わることはないと思われてきたのだが……。今回、リングスとパンクラスにまたしても接点ができたことで、何らかの異変が起こっていくのだろうか。

そして、『DEEP2001』の最大の異色カードは、謙吾と大刀光の一戦だろう。はっきり言って、あまりにも異色すぎて、どんな意味を持つカードなのかさえ見えてこないという感じさえする。『プライド』やアルティメットボクシングに出場しているとはいえ、大刀光は紛れもなく〝純プロレス〟の世界の住人だ。

まさかこれが、船木の「21世紀には純プロレスともクロスしてくる」という発言の真相だったのだろうか。今後もこういった(メジャーかインディーかは別として)パンクラスと純プロレスのクロスオーバー現象が見られれば、マット界に大きな波紋を起こすことになる。

12・16『UFC－J』ディファ有明大会 対戦カード

◀一度は流れたティトVS近藤だが、日本でついに正式決定

〈UFCミドル級タイトルマッチ〉		
ティト・オーティズ(アメリカ)	vs	近藤有己(パンクラス・東京)
〈UFCライト級タイトルマッチ〉		
パット・ミレティック(アメリカ)	vs	山本喧一(パワー・オブ・ドリーム)
安生洋二(フリー)	vs	マット・リンドランド(アメリカ)
高瀬大樹(和術慧舟會)	vs	ファビアノ・イハ(ブラジル)
エヴァン・ターナー	vs	ランス・ギブソン
マット・ヒューズ	vs	デニス・ホールマン
チャック・リデル	vs	ジェフ・モンソン

1・8『DEEP2001』愛知県武道館大会 対戦カード

◀噂は本当だった! なんと村浜がグレイシー越えに挑む

村浜武洋(大阪プロレス)	vs	ホイラー・グレイシー(ブラジル)
KEI山宮(パンクラス・東京)	vs	パウロ・フィリョ(ブラジル)
美濃輪育久(パンクラス・横浜)	vs	ヒカルド・リボーリオ(ブラジル)
藤井克久(フリー)	vs	マルセロ・タイガー(ブラジル)
石井大輔(パンクラス・東京)	vs	ジョルジ・パチーノ・マカコ(ブラジル)
謙吾(パンクラス・東京)	vs	大刀光(SPWF)
窪田幸生(パンクラス・横浜)	vs	上山龍紀(FIGHTING NETWORK RINGS U-FILE CAMP)
木村仁要(誠ジム)	vs	掣圏道ファイター

異色の対戦という意味では、メインイベントもかなりの異色。かねてから噂に上っていたホイラー・グレイシーと村浜武洋の対戦が正式決定したのだ。

かつてのシュートボクシングのエースで、大阪プロレスに所属する村浜。この夏、リングスに出場したことはあったが、決してVTを中心に闘ってきたわけでも、打倒グレイシーを目標にしてきたわけでもない。

そんな村浜が、いきなりホイラーと対戦とは驚いてしまうが、どんな展開になるか読めないという意味では、いわゆる〝総合／VT系の強豪選手〟がホイラーと対戦するより面白味がありそう。ホイラーVS村浜にしても、謙吾VS大刀光、窪田VS上山にしても、これまでは考えもしなかったカードばかり。『DEEP2001』の出現によって、21世紀のマット界はますますグチャグチャになっていくことだろう。もちろん、それが観客にとって面白いものであれば、まったく問題はないのである。

また、『DEEP2001』には、ホイラーのセコンドとしてヒクソンが来日することも決定している。■

11・17『UFC28』アトランティックシティ大会・全試合結果

〈UFCヘビー級タイトルマッチ〉
○ランディ・クートゥアー（3RTKO）ケビン・ランデルマン●
※クートゥアーが王座奪取

○レナート・ババル（判定）モーリス・スミス●

○ジョッシュ・バーネット（2RTKO）ゲン・マギー●

○アンドレイ・オルロフスキー（腕ひしぎ十字固め）アーロン・ブリンク●

○ジェンス・パルバー（1RTKO）ジョン・ルイス●

○マーク・ヒューズ（判定）アレックス・スティーブリング●

○ベン・エアウッド（判定）クリス・ライトル●

RESULT

ホイラー戦が決定した異色の格闘家、村浜武洋を直撃！

——村浜選手、いきなり『DEEP2001』に出るかと思いきや、対戦相手はホイラー・グレイシーじゃないですか。

村浜 そうなんですよ。

——そもそも、どういったいきさつで大会に出ることになったんですか？

村浜 佐伯代表（DEEP2001事務局代表）は元々大阪プロレスも応援してくださっている方で、「こういう大会があるんだ」という話があって、僕が「出たいですねぇ。どうせやるならめちゃくちゃ強いやつとやりたいです」って言ってたんです。そうしたら、なんと……自分の希望を聞きすぎてくれたというか……（笑）。

——エラい希望の叶え方してもらいましたよね（笑）。そもそもいつぐらいに決定したんですか？

村浜 最近ですよ。11月の下旬くらいですね。

——最初に相手がホイラーだと聞いたときの率直な気持ちは？

村浜 ヨッシャ〜って感じですね。それと同時に各方面からもねたまれるのではないかと。

——ホイラーと闘いたい選手はたくさんいますからね。

村浜 まあ、でもやったもん勝ちですからね。やったもん勝ちって……。村浜選手はグレイシーに対してどういう印象を持っているんですか？

村浜 あれですワ。ムエタイのチャンピオンと同じ感覚ですね。強い、強いと世間では言われてますが、実際にやってみるとそうでもないと。権威とか名前にみんなビビってるだけですよ。

——グレイシーの中でもホイラーに対するイメージは？

村浜 まあ、寝技はエキスパートでしょうね。僕が寝たら100に1つも勝ちはないでしょうね。

——あら……。

村浜 冷静に分析してますからね。寝技は凄いと思いますよ。

——これまでホイラーは、朝日選手や、佐野選手や桜庭選手と対戦したじゃないですか。それぞれの試合は見てますよね。

村浜 ビデオでは見てますね。

——桜庭選手との試合をビデオで見て参考になったところなどはありましたか？

村浜 参考らしい参考はないんですけど（笑）。あの〜、自分とまったく武器が違うじゃないですか。

——桜庭選手もホイラー戦は寝技に付き合わない戦法でしたよね。

村浜 そうですねぇ。でも、桜庭選手は〝寝てもいけまっせ〟っていう余裕があるじゃないですか。自分は寝たら余裕ないですから。桜庭選手は寝かされてもいいんだという打撃を出してたじゃないですか。自分は寝かされたらダメな打撃の使い方ですからね（笑）。

——そ、そうなの（笑）。でも、村浜選手の作戦としては打撃で勝負ですよね。

村浜 それしかないですからね。立ち技の間合いというか、第一次接点と、第二次接点と、第三次接点があるじゃないですか。立ち技の間合いとレスリングの間合いと、寝技の間合いの3つがありますよね。向こうの武器は寝技だけじゃないですか。それで、自分の武器は打撃だけじゃないですか。だから、第二次接点をどちらが制するかによって勝負が決まってくるんじゃないでしょうか。ちなみに、自分は柔道二段ですから。

——そういえば、そうでしたね。

村浜 柔道ルールだったらいつでもやってやりますよ。絶対勝てますもん（笑）。

——まあ、VTルールだと違いますもんねぇ。

村浜 そうなんですよ。ルールはほぼなんでも有りになるんじゃないかと思います。

——分かりました。では、試合への意気込みを！

村浜 勝ちにいこうと思います。ミスをしたほうが負けだと思うので、そうなると、面白い試合になるか、クソつまらん試合になるかのどちらかと思うんですよ。ほどほどに面白い試合にはならないと思うので。やっぱり寝技になって変に動いたら命取りになってしまいますからね。でも、そんな中でももちろん、勝ちにいきますよ。自分はマット界のマリオン・ジョーンズを狙ってますから！■

驚愕！

遂に桜庭の技術書が完成！

（しかもビデオ付）

12月19日発売

その名も……

桜庭和志の

ギミック

～これが桜庭流PRIDE必勝法だ～

桜庭和志のギミック
～これが桜庭流PRIDE必勝法だ～
桜庭和志 著
Gakken AV BOOKS

▲桜庭オリジナルのギミック技「炎のコマ」も書籍ではしっかり技術的に解説されている

遂にというか、桜庭和志の初めての技術書が出ることになった。

それが12月19日に学習研究社から発売されるAV　BOOKS『桜庭和志のギミック～これが桜庭流PRIDE必勝法だ～』。60分の技術解説ビデオと新書サイズの本がワンセットになって3300円（税別）と超お買い得な価格になっている。

これまで桜庭関係の書物は自伝の『ぼく』があったが、技術書という形式では今回が初めて。

桜庭といえば、ここ2年ほどでグレイシー勢に3連勝し、さらには世界の強豪たちを次々と撃破して「プロレス界の救世主」と言われ、今や『プライド』のエースに成長し、時代の寵児となっている。

たしかに桜庭の試合を見ていると、今の桜庭なら負ける気がしないという感じがするのだが、じゃあ、実際に桜庭の強さってどこにあるんだろうと考えると定義するのはなかなか難しい。

ところが、よくよく考えてみるとその謎は、ある言葉を使うと非常に分かりやすくなるのだ。

その言葉とはズバリ「ギミック」！

「ギミック」とは相手を騙したり、引っかけたり、嘘をついたり、罠を仕掛けたりして驚かせることで、それが桜庭の強さの秘密を表す言葉にピッタリくるのだ。

桜庭の試合をじっくり見ていれば分かるが、フィニッシュシーンまでのプロセスは、これでもかというくらい相手の嫌がることを徹底的に仕掛けている。

そのために、桜庭はスカしてみたり、フェイント技を掛けたり、罠を仕掛けて〝桜庭ペース〟を作り上げ、相手が気づいた時には、いつの間にか劣勢に立たされ敗れていくといった感じなのだ。

こんな桜庭も魅力的であるが、もう一つの魅力は、『プライド』のリングでプロレス技やオリジナルのギミック技を出してしまうところにもある。正攻法で攻めればあっという間に決められる場面でも、あえて桜庭は余計なギミック技を使って観客さえも驚かすことが多い。

普通にパンチを打てばいいのに、わざわざモンゴリアンチョップをやってみたりする。相手にそれがちゃんと引っかかり、技として成立しているのが凄いところである。

AV BOOKSの書籍では、桜庭の強さの源になっている「ギミック」にキーワードにおき、桜庭流「ギミック戦法」が多方面な角度から語られていて、なかなか興味深い内容になっている。

▶桜庭がなぜこんな姿をしているのかというと、VIDEOでコント(?)をやったから。これがマジで面白い！

桜庭、ハイアン戦への意気込み(?)

ある昼下がりに都内某所にある「ギミック研究所」で、VTで使えるギミック技開発に余念のないはずの桜庭博士と豊永くんの会話……。

桜庭博士（以下博士） ムフ～……豊永くん、やっぱりフルーツパフェはおいしいねぇ。特に生クリームとバナナの組み合わせはたまらないものがあるねぇ。

豊永くん（以下豊永） 博士、そのたっぷりある生クリームを僕にもちょっとくださいよ。

博士 ん？　君は生クリームはヤバイんじゃないの？　一口でやめときなさい。だって、君は見た目100キロなんだから。

豊永 博士、僕、100キロないです！　だからヤバくないですよ。

博士 何言ってるんだね、君は運動してないじゃない！

豊永 博士、運動してるじゃない！

博士 ああ、あれだぁ、ウェイトトレーニングとかあんな感じの運動だろう？　あれは、脂肪が燃えないもの。ランニングだとかそういうのもやらないし。

豊永 は……博士？　ランニングって博士もやってないじゃないですか！

博士 ランニングと同じような運動はしているよ……。

豊永 博士、僕だってスパーリングしてるじゃないですか。

博士 スパーリングしてるけど、カロリーの消費量が違うだろう。だって、君は全然動かないもの。

豊永 博士、僕は動いてるじゃないですか。

博士 ……動いてないねぇ。

豊永 博士、動いてるじゃないですか。まあ、疲れてる時は動かないですけど……。

博士 ほらぁ……。

豊永 と、ところで、博士！　12・23のハイアン戦に向けて、ギミック技はできたんですかぁ！

博士 豊永くん、そんな簡単に言ってくれるけどね、ギミック技なんてそんなに簡単に思いつくもんじゃないんだよ！

豊永 だって、試合はもうすぐなんですよ！　ハイアンのデータは集まってるんですか？

博士 あのね、ハイアンは石澤選手と試合したけど、短い時間で終わったから彼のことは何も分からないんだよ。とはいっても、10・31大阪大会では私の試合も早く終わってしまってちょっと欲求不満というか、ストレスもたまっているんだけどねぇ。

豊永 博士ぇ、そんなね、ギミック技もできなかったらね、この研究所は終わってしまうんですよ！　クソッ（と言って、白衣を脱いでなぜか上半身裸の豊永くん）！

博士 バ、バカモン！　バチン！

豊永 は、博士……？

博士 で、できたぁ！（ニマ～）

（果たして、12・23『プライド12』で桜庭博士発明の謎のギミック技がハイアンに炸裂するのか？　さいたまスーパーアリーナで確認だ！）

※この会話はフィクション？

これまでグレイシー3連勝を果たしたということで、対グレイシーへのギミック戦法が語られているが、いったいどんな戦法なのかと思いきや、答えは「相手のペースに付き合わない」といたってシンプルなもの。あまりの脱力感タップリな回答に思わず、ガクっとなってしまうが、これまでどんなファイターもグレイシーのペースを破ることはできなかった。では、なぜ桜庭だけがそれをできるのか？　その秘密は桜庭の生き方そのものにあるのだ。

本書では、桜庭の試合だけのギミック話だけでなく、幼少の頃の話や意外なことがギミック戦法になっていることが解き明かされている。そしてホイラー、ホイス、ヘンゾ戦で仕掛けたギミック話、桜庭がなぜ『プライド』のリングでギミック技を出すのかなど、新たな魅力も発見できる内容となっている。

またビデオでは、桜庭自身が分かりやすく技を解説。アームロックや、腕ひしぎ十字固め、ヒザ十字固めなど桜庭独自の入り方なども紹介されていたり、VTで使えるプロレス技なども、じっくり解説している。これを見れば今後の桜庭の試合がより面白く見られることは間違いないだろう。

さらに、ビデオの特典はあの桜庭がコントに挑戦していることだ。桜庭オリジナルのギミック技である「WARスペシャル」「ゆりかもめ」「もみじ」などを、桜庭が博士役、後輩の豊永稔が助手役となってコントで紹介。

お笑い好きな桜庭の絶妙な間合いと、豊永のナチュラルなボケが妙にマッチしていて、抱腹絶倒な仕上がりとなっている。それでもただふざけているのではなく、ちゃんと試合で使えてしまう技であるというのが、桜庭の怖いところ。ただのお笑いビデオでなく、ちゃんと技術解説ビデオとなっているのだ。

この書籍とビデオを見ると、桜庭の強さの謎がどこにあるのかがよく分かるだろう。内容的には桜庭の性格が出ていて、思わず笑ってしまうのだが、それぞれが桜庭の強さに直結するものだけに、妙に納得するものばかりだ。

発売は12・23『プライド12』の4日前。イベント前に書籍を読んで、ビデオを見て、桜庭ワールドをしっかり叩き込んで、桜庭を応援しよう！

▲な、なんで流血に場外乱闘？　この謎はVIDEOで確認！　桜庭のプロレスラー魂がふんだんに見られるぞ！

新刊紹介……日本中に衝撃を走らせた英雄の死

アンディ・フグ追悼本が遂に発売!

まだまだ知らないアンディがそこにいた!

〈谷川貞治著/石井和義監修～廣済堂出版◎定価1400円(税別)〉

アンディ・フグの生涯

世紀末のK―1は、まさにジェットコースターに乗っているような一年だった。K―1の中でよく話題になる〝運〟。しかし、最後の最後になって、マイク・ベルナルドとジェロム・レ・バンナが「ワールドGP」を欠場するとは思ってもいなかった。

〝世紀末〟は何かが刺激的に変わっていくと言われるが、K―1も例外ではなかった。それでもまさか「ミスターK―1」と呼ばれたアンディ・フグが、この世を去るなんて誰も信じられなかっただろう。

アンディが死して2カ月後。K―1から連絡があった。あらゆるアンディに関する追悼企画を考え、その収入をアンディの息子セイヤ君に渡してあげたいという。これは、儲けを考えた話ではない。K―1としても、遺族に対してできるだけのことをしてあげたいという思いなのである。

K―1が出すアンディの関連商品には全てそんな思いが込められている。そこで、私も得意分野の活字でアンディに何かしてあげたいと思い、今回『アンディ・フグの生涯』という本を書かせてもらった。監修は正道会館の石井和義館長である。

なんとか、「K―1ワールドGP」決勝大会までに間に合うよう、わずか数週間で書き上げたものだが、それでもアンディと親しかった関係者に話を聞くと、私も知らないことがたくさんあって驚いた。

たとえば、アンディは自分の生い立ちについてあまり語ろうとしない。それはアンディにとって決していい思い出がないからである。

アンディの父親は世界中を旅する傭兵。母はアル中で精神を病んでおり、アンディを生むとすぐに家を出ていった。そのため、アンディは、親類の家をたらい回しにされた後、4歳から祖父ヘルマン、祖母フリーディの手で育てられている。幼少の頃は、それこそ靴も買えなかった記憶すらある。

そんなアンディのたった一度の父との再会。アンディが見たのは、酒場で殴られている父の姿だった。

その後、空手と出合って、両親に誉められたことがなかったアンディは、人から初めて評価を受けるようになった。しかし、アンディは結局家族には恵まれず、父親と同じ道を辿ることになる。

アンディの父は外国人部隊だったが、アンディもまた形を変えた外国人部隊として妻子を母国スイスに残し、日本のK―1という部隊で活躍していくことになる。結局、アンディは今年、イロナ夫人と離婚することになっていた。

最後まで家族の愛には恵まれなかったアンディ。そんなアンディの知られざるエピソードの数々がこの本に書かれている。やっぱり私はアンディのことを思う時、どうしてもサムライの生き方と家族というものがオーバーラップしてくるのだ。

偶然にも、私はアンディが病気になり、昏睡状態に入ってから24時間闘い続けた姿に立ち会うことができた。これまで、いろんな格闘家の試合を見てきたが、こんなに凄絶な闘いを目の当たりにしたのは初めてである。できれば、できるだけ多くの人に、アンディの生き様をこの本を読んで知ってもらいたいものである。

(谷川)

History of Andy Hug

谷川貞治 著　石井和義 監修

アンディ・フグの生涯

FIGHT TO MUAY THAI 2000

12.3★タイ・ラジャダムナンスタジアム

世紀末、キック界にも大偉業

藤原敏男以来22年ぶり、日本人では2人目

これは“打倒グレイシー級”の快挙だ！

昨年に続いて行われた新日本キックのタイ興行で、小笠原仁がラジャダムナンスタジアムのJrミドル級初代王者となった。500年の歴史を誇るタイの国技・ムエタイのタイトルを外国人が奪うのは、まさに快挙。VTの世界で言えば“打倒グレイシー”なみの価値がある

小笠原仁、ムエタイの殿堂・ラジャダムナンのタイトルを奪取！

▲タイでの興行を実現させ、その上、愛弟子がタイトル奪取。新日本キック・伊原信一代表の喜びようといったら、それはもう……

新日本キック・6人の王者が本場タイに殴り込みをかけた

▲フライ級からミドル級まで、日本チャンピオン6人が全員で出場したラジャ興行。新日本キックの選手たちは、この大会に出場する栄誉を大きな目標としているという

撮影◎吉澤 晃

“打倒ムエタイ”の情熱に全てをかけた
伊原会長と、それに応えた愛弟子

美しき師弟愛が、こんなところで結実するとは…

ドン底を見た男が、この大一番で復活！

▲出だしからローキックで優位に立った小笠原は、相手をコーナーに詰めてパンチのラッシュをかける。最後は左フックでダウンを奪い、そのままレフェリーが試合をストップ。小笠原の名前が、ムエタイ500年の歴史に刻まれた瞬間だ

▲ムエタイの殿堂・ラジャダムナンスタジアム。数多くの会場があるが、ラジャダムナンとルンピニースタジアムの二つが、タイの国技における最高峰の舞台である

小笠原仁が、キックの歴史を塗り変えた！

★第10試合/ラジャダムナンスタジアム認定Jrミドル級王座決定戦
○小笠原仁（1RKO勝ち）デンスッキー・マハーチャイウィラー●
<伊原道場> <タイ>
※左フック

▶小笠原のＫＯ勝ちが決まると、伊原代表はもの凄い勢いでリングに駆け上がり、愛弟子を称えた。ありったけの努力で最高の舞台を用意した師匠と、それに結果で応えた弟子。美しすぎる師弟愛である

本誌でキックボクシングの担当をやっていて、いつもタイ人の強さとか〝打倒ムエタイ〟の意義などを書いてはいるが、実を言うと今回が初めてのタイ出張だった。

やっぱり一度は本場で見ておかなきゃ、と普段から思っていたので、12月3日の新日本キック・ラジャダムナン興行は、まさに絶好のチャンス。谷川編集長が、いつも「タイはいいよぉ」と言うのを聞いているので、とても楽しみにしていたのだ。もちろん、楽しみは試合観戦だけじゃない。タイ料理もうまいしなぁ。あぁ、微笑みの国・タイ……。

でも、タイは僕には微笑んでくれなかった。12月2日から6日までの新日本キックの応援ツアーで行ったのだが、その間取材以外の時間がほとんどなかったのだ。TVの解説で来ている谷川さんはタイマッサージでほぐれまくっているというのに、こっちは睡眠時間すら満足にないっつーの！。

まあでも、それも自業自得だからしょうがない。なにしろ、望んでタイトなスケジュールを組んでしまったのだ。2日の深夜にタイに到着して、翌日は朝から計量を取材。夜はラジャダムナンで試合を見て、翌4日の早朝にタイを離れていったん日本に戻り、パンクラスの武道館大会を取材する。そのまま朝まで原稿を書いたら今度はまたタイに行って、魔裟斗が出る国王生誕記念大会を観戦。そして次の朝に帰国……。つまり、5日間で日本とタイを2往復してしまったわけだ。なんだか、書いてて自分でもイヤになってくる。でも、どの大会も重要なんだから、

FIGHT TO MUAY THAI 2000

12.3★タイ・ラジャダムナンスタジアム

外野の雑音は、力でねじ伏せるしかない

小笠原よ、タイに永住覚悟でタイトルを守り抜け!

ムエタイ500年の歴史に刻まれた勝利を300人以上の日本人が目撃

▲小笠原を祝福した後、伊原代表は大会の応援ツアーの観客席に駆け寄って喜びを分かち合う。今回のツアー客はなんと260人。ツアー以外の観客も含めれば、300人以上の日本人が、この快挙を目撃したことになる

▲地元の記者からの取材を受ける小笠原。小笠原は今後、自身の評価を本場タイでも上げていかねばならない

▲試合当日の朝7時から、軽量とドクターチェックが行われた。ここで初めて、対戦相手のタイ人と遭遇することになる。武田の相手・チャオワリットの身長が高く、いかにも手強そうなのが印象的だった

▲軽量を終え、食事を採る選手たち。普段は別々のジムに所属しているが、こういう所では同じ日本代表チームとしての結束を感じさせる

▲試合後、たくさんの観客が小笠原と記念撮影していた。TV中継の解説を務めたこの人もパチリ…。この大会の模様は12月16日(土)、関西テレビで25時15分より『ラジャダムナンが燃えた! 〜小笠原仁 ムエタイ王座への軌跡〜』のタイトルで放送される

▲セコンドたちと記念撮影。深津飛成も、何度となく涙を拭っていた

▲大会の最高責任者なのにもかかわらず、日本人側のコーナーから声を嗄らして選手を激励していた伊原代表。とことん情熱的な人である

見るしかないよなぁ。

周りからは「死ぬからやめとけ」とか「頭おかしいんじゃねぇか?」とか言われたが、そのことで逆に「でも、やるんだよ!」とテンションが上がってくる。ラジャダムナンで取材している時も、寝不足のクセに異様に集中力が研ぎ澄まされていく感じがした。

いや、これはなにも自分のスケジュールのせいだけじゃない。〝敵地で闘う日本人〟というシチュエーションそのものが、見ていて興奮するのだ。

実際、(失礼な話だが)彼らの試合をここまで没頭して見たことは、これまでなかったかもしれない。後楽園で見ている時は、どうしても次の仕事の段取りや、どの試合を大きく扱おうかなんて考えながら試合を見ているもんだが、今回に限っては違った。もう100%リング上の闘いに集中。「もっとミドル蹴れ、ミドル!」なんて声まで出そうな感じ。

これで日本人が勝ってくれたら最高なのだが、やはりムエタイは甘くない。小出智、石井宏樹、菊地剛介と、いきなり3連敗を喫してしまったのだ。深津飛成がKO勝利で連敗を止めたものの、続く武田幸三も、まさかの判定負けとなってしまう。

大会前、他誌の記者の人たちと「この大会に出てくるタイ人の情報はないけど、武田の相手だけは強いはず。タイ側も、武田のことは本気で脅威に感じてるだろう」という話をしていたら、直前になって武田の相手、チャオワリットがラジャのJrミドル級6位だと分かった。それでも武田は、今や〝打

お見事！速攻KOでタイ初勝利 深津飛成、

▲まずはローキックでダメージを与え、そこから得意の左フックへ。ダウンした瞬間、勝利を確信できる鮮烈な失神ＫＯだった

★第8試合
○深津飛成（1RKO勝ち）ヨータヌー・トゥンソンタックシン●
＜伊原道場＞ ＜タイ＞
※左フック

▲出だしから日本勢が連敗を続けていたが、４人目に登場した深津が１勝目をあげた。これが深津にとってもタイでの初勝利になる。深津は伊原代表に抱きかかえられながら勝利の雄叫び！

武田幸三がまさかの敗北 何やってんだよ、おい……

▶「なんでヒザなんかやってんだよ！　勝たなきゃ話にならないだろ！」。試合後、武田は師匠である治政館の長江国政館長に叱責を受けた

◀パンチとローで相手をブッ倒すのが武田の真骨頂なのだが、この日は珍しく首相撲からのヒザ蹴りを多めに使っていた。今後を見据えての試運転のはずが、それが勝利を遠ざけることにもなってしまった

▶目の前のドリンクに手をつけず、計量を待つ武田。タイは段取りなどがアバウトなため、ペースが狂うこともあるが、武田は「日本と違って試合のことだけ考えていればいいんで、却って楽しい」と言う

▲ラジャダムナンのウェルター級１位で、来年１月には王座再挑戦も決まっている武田幸三。今回のメンバーの中でも、最も勝利が確実視されていたが……。Jrミドル級６位のチャオワリットにまさかの判定負けを喫してしまう

★第9試合
○チャオワリット・ジョッキージム（5R判定）武田幸三●
＜タイ＞ ＜治政館＞

倒ムエタイ〟に一番近い男。来年1月にはラジャダムナン王座に再挑戦するだけに、取りこぼしは許されなかったのだが……。武田が負けて、日本側は1勝4敗。負け越しが決定してしまった。

やはり、競技性、採点基準の違いは大きい。ムエタイは芸術性というか、ミドルやハイキックといった高い蹴りを確実に当てることがポイントにつながる。パンチとローで攻めるタイプの多い日本人は不利なのだ。

ただ、それ以上に感じたのは、タイ人たちの強さだった。たぶん戦績などから考えても、今回のタイ人たちには日本でなら勝てていたと思う。新日本キックの王者たちには、それくらいの実力がある。でも、本場タイのメジャースタジアムで、ムエタイ500年の歴史を背負いながら闘うとなると日本とは気合いの入り方が違うのだろう。石井も「どこがどうとは言えないけど、日本とはまるで違う」と言っていた。そんなタイ人と闘うからこそ、タイに乗り込んで試合をする意義もあるのだが。

日本の負け越しに「やっぱり厳しいな……」と感じながら迎えたメインイベント。ここに歴史的な事件と感動のドラマが待っていた。小笠原仁が、ラジャダムナンのJrミドル級初代王者決定戦に出場し、KOでタイトル奪取を果たしたのだ。ムエタイという牙城の強固さを考えれば、これはVTでいう〝打倒グレイシー〟級の快挙である。過去にムエタイで外国人王者となったのは、藤原敏男とムラッド・サリの2人だけ。小笠原は史上3人目の偉業を達成したことになる。

FIGHT TO MUAY THAI 2000

12.3★タイ・ラジャダムナンスタジアム

対抗戦は2勝4敗で

日本、負け越し

同じ相手と後楽園でやったら、結果は逆かもしれないが……

本場で見たムエタイ戦士たちの異様な底力にア然!

華麗なる天才児・石井宏樹 あと半歩の壁に泣く

▲センスあふれるテクニックの持ち主で、ラジャダムナンのライト級10位にもランクされた石井宏樹だが、ガーオグライに判定負けを喫してしまった。勝敗を分けたのはほんの少しの差でしかなかったように見えたが、本人は「あと一歩どころじゃない。弱すぎますね。タイ人相手にやっちゃいけないことをやってしまった」と反省

▲石井のパンチは効果的に決まっていたのだが、蹴りのタイミングをことごとく外されてしまったのが判定に響いたのだろう。ムエタイではミドルやハイといった高い蹴りがポイントになる

▲各選手は試合前、TVのインタビューを受けていた。昨年の大会の中継は、かなりの好視聴率をマークしている

★第6試合
○ガーオグライ・ゲーンノロシン(5R判定)石井宏樹●
<タイ> <藤本ジム>

今大会のベストバウトは小出智の試合だった

▲4試合の前座(タイ人同士の試合)の後、日本勢の先陣を切って登場したのはフェザー級王者の小出智。敗れたとはいえ今大会の中でも最も白熱した好勝負を展開してみせた。ヒジ打ちで出血しながらも、小出はパンチでガンガン前に出ていく

▲小出はボディへの左フック、相手のコチャサーンは左ヒザと、試合は壮絶なレバーの叩き合いに。思いっきりヒザを入れられていた小出だが、決して屈することはなかった

★第5試合
○コチャサーン・ギャットプラッサーンチャイ(5R判定)小出智●
<タイ> <治政館>

▲大会翌日に行われた打ち上げパーティー。選手、関係者、ツアー客に加え、タイ側からも多数のゲストが来場

◀"オカマムエタイ戦士"として話題になったパリンヤーも、大会を観戦&パーティーに出席。選手としては引退し、いまやこんな姿になっちゃってます

菊地剛介は昨年と同じ相手にリベンジ失敗 でも、胸を張れる内容だったぞ!

▶昨年のラジャ大会で惜敗を喫したパヤックレックと再戦した菊地剛介だったが、今回も僅差で判定負けを喫してしまう。勝負所の終盤に蹴りで転倒させられたのが痛かった。ムエタイでは相手をコカすのも大きなポイントになるのだ

◀リベンジに失敗し「同じ相手に2回も負けちゃったんで。僕は何も言えないです」と語った菊地。だが、内容的にはタイ人と比べてまったく遜色がなかった。今年は不調が続いていた菊地だが、最後に来年への足がかりを掴んだと言えるのではないだろうか

★第7試合
○パヤックレック・ソーソーゴージム(5R判定)菊地剛介●
<タイ> <伊原道場>

このラジャダムナン興行に向け、伊原信一代表をはじめとする新日本キックのスタッフは、大会を成功させるためにあらゆる努力を惜しまなかった。その結果、伊原代表は愛弟子にタイトルマッチという最高の舞台を用意し、そして小笠原はそれに応えてみせたのだ。

昨年のラジャ大会で負けて以降、小笠原は1年間、不本意な試合を続けてきた。それがこの大一番で、本来のポテンシャルを出し切って勝ったのだから見事である。

伊原道場の仲間たちが、リング上の小笠原を中心に歓喜の輪を作る。みんなが、目に涙を浮かべていた。控室に戻った小笠原に、何度も「やったじゃないか。良かったなぁ……」と声をかける伊原代表。見ているほうも泣けてくるような、いい光景だった。

ラジャのランキングに入ってからわずか2カ月での王座奪取だということもあり、今後、多くのキックボクサーたちは小笠原に批判、やっかみをぶつけてくるに違いない。タイ側だって「ムエタイの本道は軽量級だから」と、冷ややかな反応をすると思う。

そんな声は、結果で黙らせるしかない。藤原もサリも、一度も防衛戦をしないままタイトルを剥奪されている。ならば小笠原は、防衛を重ねることで実績を上げていけばいい。できればタイに永住する覚悟でこのタイトルを守りとおし、評価を確実なものにしてほしいと思う。もし、小笠原がタイで防衛戦を行う日がきたら……。その時は自分も、どんなに厳しいスケジュールだろうと、またタイに行こうと思っている。

(橋本)

SRS
SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

12/15、12/22の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは12月4日現在のものです。都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

注目！ SRSは金曜日25:45～に放送日変更になりました！

SRSの放送日が木曜日から金曜日に変更になったので　ました。しかも次の日はお休みだから、夜更かししてもすが、皆様もう覚えていただけましたか？　そうです、オッケーですよね。オッケーな人もそうでない方も、こ飲んだくれて家に帰るとちょうど見られる時間帯になり　れからは金曜深夜はSRSで楽しんでね！

『SRS』は金曜日深夜25時45分～26時15分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。お見逃しなく！

12/15

今世紀最後の『プライド』大特集！

12・23『プライド12』直前情報

12/15（金）放送　25:45～26:15

10月31日の『プライド11』の興奮も未だ冷めやらぬうちに、20世紀最後の締めくくりとして、『プライド12』が、12月23日（土）にさいたまスーパーアリーナで開催されます。20世紀も最後の最後になって大ブレイクした感のある『プライド』ですが、今回の『プライド12』も見過ごせないカードばかりなので、SRSが徹底分析しちゃいます。“グレイシーハンター”桜庭和志VSグレイシー一族で“最狂”と呼ばれるハイアン・グレイシー、そして1年前無効試合に終わったイゴール・ボブチャンチンVSマーク・ケアーと、超ド級のカードが出揃った『プライド12』の直前情報を皆様にお届けします。しかもSRSはアメリカに取材に飛んで、ハイアン・グレイシーのインタビューに成功！既にチケットも完売した『プライド12』の見どころを存分にお伝えするので、皆さん、放送を楽しみに待っててくださいね！　なお、『プライド12』の試合中継は来年1月2日に放送予定です。お楽しみに！

▲サクサンタ！？　のプレゼントに今からワクワク！

12/22

1年半ぶりの再戦！

修斗　宇野薫VS佐藤ルミナ

12/22（金）　25:45～26:15

今年最後のSRSの放送は『修斗』で決まり！　というわけで、SRSは12月17日（日）東京ベイNKホール大会を丸ごと30分放送します。1999年5月、「天国のお父さんやっと一番になれました」、という叫びと共に修斗に新しきウェルター級のチャンピオンが生まれました。若者の名は「宇野薫」。今や清涼飲料水のCMにも起用されるほどメジャーになった若きエースと、宇野戦以来、修斗公式戦負けなしで突っ走ってきた佐藤ルミナのウェルター級チャンピオンシップをお届けします。また、この2人の1年半ぶりの再戦の他にも、フェザー級のチャンピオンシップ、マモルVS秋本じん戦の模様も含めて、話題タップリの修斗・東京ベイNKホール大会を余すところなくレポートします。会場に行く人も行かない人も、SRSで絶対にチェックしてくださいね！

▲どんな結果になろうと2人から目を離すな！

※SRSは12月29日と1月5日はお休みさせていただきます。

あなたが選ぶ SRSベストバウト大賞

SRSの視聴者の皆様、SRS・DXの読者の皆様に、今年のベストバウトを選んでいただく時期になってまいりました。2000年で一番心に残った試合はいったいどの試合かは、貴方様の貴重な1票次第です。ということで極真、K-1、『プライド』、キックボクシングの各分野から1試合ずつお選びください。応募方法は官製はがきに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、〒119-8088フジテレビ「SRS ベストバウト 2000」係までご応募いただけますようお願い申し上げます。尚、締め切りは1月10日必着分をもって終了させていただきます。ご応募いただいた皆様の中から抽選で、長谷川京子サイン入りのSRSTシャツを20名様、SRSストラップを10名様にプレゼントさせていただきます。どしっとご応募お待ちしております。また、各分野ごとにベストバウト候補の試合をリストアップしたものがSRSのホームページ上に掲載されているので、ぜひこちらもご参照ください。

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
12/14（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～20：30 23：00～24：30	11.23後楽園ホールで開催の新日本キックボクシング連盟『KICK GENERATION2』を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	内容未定
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	日本テレビ	コロッセオ	26：25～26：55	内容未定
12/15（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00～8：00 12：00～13：00 17：00～18：00	12/14を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13：00～14：00	12/14と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～16：00	12/14と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16：00～17：00	これまで放送分の『ワールドコンバットファイト』からの再放送シリーズ。『ケージファイトトーナメント2』(96.4.21/オランダ)から7試合を放送
	フジテレビ	SRS	25：45～26：15	⬅P69
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	26：00～29：00	9.22に米国・ルイジアナ州で開催された『UFC27』を3時間スペシャルで放送
12/16（土）	スカイパーフェクTV	R.E.A.D～2000 SHOOT～	15：00～	8.27横浜文化体育館大会を再放送（PPV）
	関西テレビ	小笠原仁ムエタイ王座への軌跡	25：15～26：15	⬅Pick Up①
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：05～27：05	名古屋愛知県体育館での大会を放送
12/17（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	12/14と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～11：00	12/14と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00～12：00	12/14を参照
	スカイパーフェクTV	R.E.A.D～2000 SHOOT～ O CAMINHO DO CAMPEAO	15：00～	⬅Pick Up②
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15：00～17：25	2000名勝負集PART1、1.4東京ドーム～5.5福岡ドームまで
	GAORA	全日本キックボクシング	16：00～18：00	11.29後楽園ホール大会を放送
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	18：00～20：00	12.9青森県武道館大会
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24：30～25：30	ブレッド・ハート特集
12/18（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16：00～17：00	12/15を参照。『バトル・オブ・スタイルズ1』(96.10.26/オランダ)あらゆる格闘技の総合イベント。フリーファイト、NHB、パンクラスルールなど5試合
	日本テレビ	超K-1宣言	25：55～26：25	武蔵のこの1年を振り返る
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	26：45～27：45	12/17と同内容
12/19（火）	GAORA	週刊格闘JAM！	22：55～23：00	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手など、格闘技界の旬な話題をピックアップして放送。選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
12/20（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16：00～17：00	12/15を参照。『バトル・オブ・スタイルズ2』(96.10.26、97/オランダ)あらゆる格闘技の総合イベント。バーリ・トゥード、NHB、フリーファイトなど
	スカイ・A	パンクラス2000トランスツアー	22：00～24：00	船木誠勝～格闘技にかける情熱、集大成～　闘魂の歴史
	テレビ東京	Gパラ　コロシアム	23：55～24：35	内容未定
12/21（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～21：00 23：00～25：00	11.25にディファ有明で開催された『The Contenders4』を放送。宇野薫vs三宅靖志、星野勇二vs上山龍紀ほか
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	内容未定
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	12/14を参照
	日本テレビ	コロッセオ	25：25～26：55	内容未定
12/22（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00～8：00 12：00～13：00 17：00～18：00	12/14を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13：00～14：00	12/21と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～16：00	12/21と同内容
	GAORA	北斗旗全日本無差別空手道選手権大会	15：00～17：00	大道塾主催により、11.1国立代々木第2体育館で開催された『2000年北斗旗全日本無差別級選手権大会』の模様を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16：00～17：00	12/15を参照。『アブソリュート・ファイティング・チャンピオンシップ4 USA vs USSR』(98/イスラエル)イゴール・ボブチャンチン、ニック・ヌターほか
	スカイ・A	パンクラス2000トランスツアー	22：30～24：30	12/20と同内容
	フジテレビ	SRS	25：45～26：15	⬅P69
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	28：00～29：00	12/17のJスカイスポーツ3と同内容
12/23（土）	スカイパーフェクTV	PRIDE.12	18：00～	『プライド12』さいたまスーパーアリーナ大会をPPV生放送。再放送有り
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25：45～26：45	12/17のJスカイスポーツ3と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：35～27：35	大阪府立体育館での大会を放送
12/24（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	12/21と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～11：00	12/21と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00～12：00	12/14を参照
	WOWOW3　BS-9	リングス2000	18：00～20：00	12.22に大阪府立体育会館で開催の『リングス　KING of KINGS』トーナメントBブロックの模様を放送
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24：00～25：00	12/17と同内容
12/25（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	4：00～8：00	12/15を参照。4：00～『グラジエイターズ2』、5：00～『ギルバート・アイブル特集』、6：00～『イゴール・ボブチャンチン特集』、7：00～『ダン・スバーン特集』
	GAORA	K-2エクストリーム	15：30～16：30	11.12に東京武道館で開催の全日本新空手道連盟『第59回新空手道交流試合』を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	17：00～18：00	12/15を参照。『USWF5』を再放送

ON THE AIR 12/14～12/28

格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1

『ラジャダムナンが燃えた！
小笠原仁ムエタイ王座への軌跡』
関西テレビ
12月16日（土）/25:15～26:15

12月3日、新日本キックがムエタイの本場・ラジャダムナンで開催した大会の模様を放送。2度目となるこの大会では、打倒ムエタイに燃える新日本キックの6人のチャンピオンたちが、ムエタイの殿堂に殴り込みをかけ、タイの強豪達と試合をする。メインは小笠原仁のタイトルマッチ！　藤原敏男以来22年ぶりの日本人チャンピオンの誕生を、この目で見るチャンス。キックファンならずとも必見の番組だ！

Pick Up 2

『R.E.A.D～2000 SHOOTO～
O CAMINHO DO CAMPEAO』
スカイパーフェクTV
12月17日（日）/15:00～試合終了まで

12月17日に行われる、修斗の東京ベイNKホール大会をPPVで当日に生放送。今大会の目玉は、なんと言っても宇野薫と佐藤ルミナのウェルター級チャンピオンシップだ。昨年の5月、粘りながら最後はチョークスリーパーで勝利を収めたのは宇野だった。それ以来の両者の再戦となるが、今回はどのような結末を迎えるのか？　その他にも、マモルVS秋本じんのフェザー級チャンピオン決定戦、そして桜井“マッハ”速人の参戦と見所はたくさんある。今世紀最後の修斗公式戦にふさわしいカードが出揃ったこの大会を見逃すな！※再放送あり

『プライド』PPV情報

『PRIDE.12』
当日に生放送。再放送も有り

◆放送時間/初回　12月23日　16:00～　再放送　12月23日～31日まで連日放送　開始時間は日付順に22:00、19:00、23:00、23:00、19:00、14:00、24:00、19:00、8:00
◆チャンネル/当日　Ch.117 再放送　日付順にCh.111　113　121　121　113　121　119　113　121（全てパーフェクトチョイス）
◆視聴料金/2,000円/番組

『PRIDE HISTORY Vol.2』

1997年10月からスタートした『プライド』シリーズをダイジェストにして紹介する『PRIDE HISTORY Vol.2』。以前放送した『PRIDE HISTORY』に『プライド9～11』の3大会分を加えてリメイクしたものだ。
◆放送時間/12月1日～31日まで連日放送中　13:00～14:30
◆チャンネル/Ch.121パーフェクトチョイス
Ch.141パーフェクトチョイス
◆視聴料金/500円/番組

『PRIDEシリーズ　完全アンコール』

今世紀最後の『プライド』、『プライド12』の開催に向けて、過去に放送した『プライド』シリーズを一挙に連日再放送中。
◆放送時間/12月11日～23日　8:00～（11日に『プライド1』から順番に）
◆チャンネル/Ch.121パーフェクトチョイス
◆視聴料金/『プライド』1～4各1,000円　5～8各1,500円
GP開幕戦～11各2,000円

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
12/25（月）	スカイ・A	パンクラス2000トランスツアー	20：00～22：00	船木誠勝～格闘技にかける情熱、集大成～　12.4日本武道館大会
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45～26：15	K-1ジャパンシリーズの1月大会の最新情報を放送
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	26：30～27：30	12/17と同内容
12/26（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）修斗スペシャル「6hours×4days」	3：00～9：00	R.E.A.D2000修斗スペシャル　3：00～『1.14後楽園ホール』、4：30～『3.17後楽園ホール』、6：00～『4.2大阪なみはやドーム』、7：30～『4.12北沢タウンホール』
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9：00～12：00	9：00～『ニュージャパンキック～3.10後楽園ホール』、10：30～『日本キック連盟～4.22後楽園ホール』
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	16：00～18：00	ニュージャパンキック『7.7後楽園ホール』
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	19：00～21：00	ニュージャパンキック『9.24後楽園ホール』
	GAORA	週刊格闘JAM！	27：55～28：00	12/19を参照
12/27（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）修斗スペシャル「6hours×4days」	3：00～8：30	3：00～『SUPERBRAWL 17』、4：30～『修斗～5.22後楽園ホール』、6：30～『修斗～7.16後楽園ホール』
	スカイ・A	パンクラス2000トランスツアー	20：00～22：00	12/25と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）コンテンダーズ～宇野薫の世界～	22：00～26：00	22：00～『WK/Network～Zepp Tokyo』、24：00～『WK/Network～ディファ有明』
	テレビ東京	Gパラ　コロシアム	23：55～24：35	内容未定
	GAORA	北斗旗全日本無差別空手道選手権大会	26：00～28：00	12/22と同内容
12/28（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）修斗スペシャル「6hours×4days」	3：00～9：00	R.E.A.D2000修斗スペシャル　3：00～『7.22北沢タウンホール』、5：00～『8.4大阪府立第2競技場』、7：00～『8.27横浜文化体育館』
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～19：00	COMBAT2000・10：00～『3.20後楽園ホール』、11：30～『5.26後楽園ホール』、13：30～『1.30後楽園ホール』、サムライルール・15：00～『4.29後楽園ホール』、17：00～『6.18後楽園ホール』
	WOWOW3　BS-9	リングス	17：35～20：00	2.26に日本武道館で開催された『1999KING of KINGS グランドファイナル』の模様を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	22：00～24：00	サムライルール　『10.22サムライプロジェクト有明コロシアム大会』
	日本テレビ	コロッセオ	26：25～26：55	内容未定
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	27：00～29：00	修斗『9.15後楽園ホール』

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888　☎03-5802-5550
（9：00～21：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5280-1104／☎06-6374-0002
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ－ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5351-4055
（16：00～21：00）

■J SKY SPORTS
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

VIDEO
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介①〉 It's HOT!

『Professional SHOOTO 2000 6thTHE LEGEND 2000・8・27YOKOHAMA』

クエスト/90分
6,600円/発売中

**宇野とルミナが揃って登場！
12・17の予習はこのビデオで！**

8月27日に行われた、修斗・横浜文化体育館大会を収録したビデオが登場。宇野薫はマーシオ・クロマドと、佐藤ルミナは桑原卓也と対戦している。2人にとっては昨年の5月に対戦した因縁の横浜文化体育館での試合だが、12月17日に東京ベイNKホールでの再戦が決まった2人がどのような試合をしているのか、ビデオでチェックしてから会場に行こう！　また、メインの巽宇宙VSノゲーラをはじめとして、その他にも見応えのあるカードがテンコ盛り！　買って損はないぞ！

〈新作紹介②〉 It's HOT!

『KASSHIN ―合戦― amazing MUAYTHAI』

ファイブウェイズ/30分
5,800円/発売中

真樹ワールドを堪能できる１本！

今年の2月13日に沖縄で行われた、マッキーこと真樹日佐夫プロデュースの『KASSHIN -合戦-』の模様を収録したビデオの登場だ！　いきなり棒術の演武から始まるこのビデオは、バーリ・トゥードトーナメントやムエタイVS空手、キックという異種格闘技戦、そしてカール・マレンコVS青柳館長のVT戦という異色のカードが、30分という短い収録時間の中にぎっしり詰まっている。また、試合の合間には、オープンフィンガーグローブを着けた女性3人組によるダンスも収録されているというおまけつきだ！　ぜひとも手に入れておきたい1本だ！

〈おすすめビデオ〉 It's HOT!

『第17回オープントーナメント全日本ウェイト制空手道選手権大会　男は戦うほどに強くなる』

メディアエイト/90分
7,800円/発売中

このビデオは見るほどに男を強くする！

今年の6月17・18日に大阪府立体育会館で行われた、極真の『第17回全日本ウェイト制空手道選手権大会』の模様を収録。軽量・中量・軽重量・重量の4つの階級での、"これぞ極真！"という激しい闘いが堪能できる。極真ファンならずとも手に汗握る闘いに、興奮させられること間違いなし！　無差別級とは違う、ウェイト制の大会の醍醐味をこのビデオでとくと味わえ！

RENTAL RANKING（11/12～11/26調べ）

1. 『PRIDE10 2000・8・27in SEIBU DOME』 メディアファクトリー/150分
2. 『KING of KINGS』 ポリスター/375分
3. 『第17回オープントーナメント全日本ウェイト制空手道選手権大会　男は戦うほどに強くなる』 メディアエイト/90分
4. 『KASSHIN ―合戦― amazing MUAYTHAI』 ファイブウェイブズ/30分
5. 『真樹日佐夫直伝　真樹道場　ファイティング空手』 ファイブウェイブズ/80分

5位

真樹日佐夫が空手の神髄を叩き込んだビデオが登場だ！

『真樹日佐夫直伝　真樹道場　ファイティング空手』

真樹道場結成20周年を記念して作られたのがこのビデオだ。真樹道場の稽古風景がそのまま収録されていて、真樹先生に本当に稽古を付けてもらっているかのような錯覚を起こすほどだ。稽古内容は基本編、移動稽古編、組み手編、型編の4部構成で、応用編や補強運動もばっちり入っている。見るだけじゃ物足りない人は真樹道場に急げ！

SELL RANKING（11/12～11/26調べ）

1. 『Professional SHOOTO 2000 6th THE LEGEND 2000・8・27 YOKOHAMA』 クエスト/90分 6,600円
2. 『CONTENDERS 2000 CLASS-A MATCH 2000・7・1 ZEPP TOKYO』 クエスト/90分 6,600円
3. 『PRIDE10 2000・8・27in SEIBU DOME』 メディアファクトリー/150分 9,500円
4. 『KING of KINGS』 ポリスター/375分 14,286円
5. 『桜庭和志VSホイス・グレイシー～死闘1時間47分完全収録～』 メディアファクトリー/120分 2,800円

2位

組み技だけでも面白い！今が旬の『コンテンダーズ』ビデオ登場！

『CONTENDERS 2000 CLASS-A MATCH 2000・7・1 ZEPP TOKYO』

ランキング2位と売れ行き好調なのは『コンテンダーズ　2000』だ。メインの宇野薫VS須藤元気のように"見たい！"と思わせるようなカードが収録されているのが、人気の秘密だ。また、ビデオならではのお楽しみとして、『プライド』で活躍中の小路晃が解説を務めている。まだ見てない人は至急ビデオショップにGO！

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈新作紹介〉 It's HOT!

『谷津"荒武者"Tシャツ』
3,800円（税別）

『プライド11』のMVP、谷津のTシャツだ！　オリャ！

『プライド11』では、ゲーリー・グッドリッジを相手に昭和のプロレスラーの生き様を見せつけ、今やギャルにも人気爆発寸前の谷津嘉章Tシャツが登場（限定販売）。その名も"荒武者"Tシャツだ！　ブラックでもネイビーでも着てみぃ、こんなこれぇ！

〈おすすめグッズ①〉 Recommend

『アルティメットグローブ』
7,800円（税別）

バーリ・トゥード用グローブに鮮やかなレッドが登場！

パンチしたり掴んだりが自在にできて、品質にも定評のあるイサミのバーリ・トゥード用グローブに、新色のレッドが仲間入り。写真がモノクロで申し訳ないが、燃えさかる炎のような真っ赤なグローブで、キミの闘魂にも火をつけること間違いナシなのだ！

PRESENT!

今回、このコーナーで紹介した『谷津"荒武者"Tシャツ』（Lサイズ／ネイビー・ブラック、各1名）と『HCK Tシャツ』（Lサイズ／ブラック、1名）を、『SRS・DX』読者合計3名にプレゼントするぞ。希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望するグッズ名と今号の感想を明記した上、下記の宛先までご応募を。締め切りは、12月28日（木）の消印有効。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部グッズプレゼント係

イサミ尚武堂（株）
大貫勲店長

「こんにちは、店長の大貫です。当店ではお客様の持ち込みでのネーム（刺繍）も受け付けております。ビデオの売れ行きが好調で、最近はDVDの販売もはじめました。水道橋に来たらぜひ寄っていってください」

イサミ尚武堂（株）
東京都千代田区三崎町2-18-5京三会館2F
☎03-5214-6487
営業時間/11:00～19:00（毎週火曜、祝日休業）

〈おすすめグッズ②〉 Recommend

『HCK Tシャツ』
3,500円（税別）

柔術メーカー「HCK」のオリジナルTシャツ

ブラジリアン柔術衣メーカーのHCK（HOWARD COMBAT KIMONOS）より、オリジナルTシャツが到着。何にでも合うブラックの生地に、赤い「HCK」と白い「HOWARD COMBAT KIMONOS」のロゴをプリントしたプレーンなデザイン。柔術ファンでなくとも是非ゲットしよう！

エルボールームが贈る、格闘技三昧のスペシャルツアー！
添乗員&現地スペシャルアドバイザー同行

「2001年2月4日」21世紀最強のキックボクサーはこの日に決まる！「ランバージャックリターン・バトルinアーネム」観戦ツアー オランダ5日間の旅

旅行代理店「夢屋」の格闘技専門セクション・エルボールームが、2001年2月4日（日）に行われる「ランバージャックリターン」の観戦ツアーを開催する。ジムの見学やショッピング、大会出場選手を囲んでの打ち上げパーティなどなどスペシャル企画も目白押し！　オランダでヨーロッパ最強のヘビー級キックボクシングを観戦しよう！

▲世界中の強豪が勢揃いするフリーファイトを観戦しに、カメラ片手にオランダへGO！

日付	場所	交通	時間	日程	食事
2/3（土）	成田空港発 アムステルダム着	航空機 専用車	11:00 15:00	東京・成田発空路アムステルダムへ アムステルダム到着後、ホテルへ ゲストを囲んでのウェルカムパーティ!! <アムステルダム泊>	夕
2/4（日）	アムステルダム アーネム アムステルダム	専用車	夕方 深夜	大会観戦出発までフリー バスにてアーネムへ移動 「ランバージャックリターン」観戦 バスにてアムステルダムへ <アムステルダム泊>	朝 夜
2/5（月）	アムステルダム		夕方 夜	夕方までフリー ボスジム見学&お買い物へご案内！ 大会出場選手をゲストに招き、アムステルダム最後の夜に打ち上げパーティ!! ※プレゼント付き <アムステルダム泊>	朝 夜
2/6（火）	アムステルダム発	航空機	午前 14:10	朝食後、ホテルをチェックアウト、空港へ アムステルダム発空路帰国の途へ <機内泊>	朝
2/7（水）			09:20	東京・成田空港到着後、各自解散	

◆旅行期間/2001年2月3日（土）～2月7日（水）5日間
◆行き先/アムステルダム（オランダ）
◆募集人員/20名様（最少催行人員/10名様）
◆旅行代金/188,000円（お1人様）
※成田空港施設使用料（2,040円）、オランダ出国税（2,100円）込み
◆営業時間/月～土　10:00～18:00（日・祝祭日休業）
◆利用予定航空会社/KLMオランダ航空　往復エコノミークラス
◆利用予定ホテル/レンブラント・レジデンス、エデン、チューリップ・インシンゲル、アベニューのいずれか（ツインルーム）

格闘技王国オランダのルーツに迫る6日間 3大ジム見学であの選手に会える!?

同じくエルボールームでは、オランダの格闘技探索&3大ジム訪問ツアーも開催。オランダといえばピーター・アーツ、アーネスト・ホースト、ラモン・デッカーなど打撃系の選手をはじめ、ギルバート・アイブル、ジェラルド・ゴルドーなど総合格闘技のリングで活躍するトップファイター達がゴロゴロいる国。アムステルダムにある3大ジム（チャクリキ・ボス・メジロ）はファンなら必見のポイント。大好きなあのファイターに会えるかもしれないスペシャルツアー、21世紀一発目の旅はこれで決まり！

日付	場所	交通	時間	日程	食事
1/25（木）	成田空港発 アムステルダム着	航空機 専用車	11:00 15:00	東京・成田発空路アムステルダムへ アムステルダム到着後、ホテルへ ボスジム見学&有名ヘビー級選手と記念撮影会！ ゲストを囲んでのウェルカムパーティ	夕
1/26（金）	アムステルダム		昼 夜	午前中フリー ゲストを囲んでオランダ料理の昼食会 ※ゲストは2名を予定 メジロジム見学	朝 昼
1/27（土）	アムステルダム		午前 午後	チャクリキ・ジムにて体験練習・見学!! コーチにはスペシャルゲストを予定 フリー：希望者には各種オプションもご用意します	朝
1/28（日）	アムステルダム ユトレヒト	専用車	午前 夕方 深夜	フリーファイト大会観戦まで自由行動 ホテル出発 フリーファイト大会観戦 大会終了後はゲストと一緒にバスでアムステルダムへ。大質問会開催！ ホテル到着後解散	朝 夕
1/29（月）	アムステルダム発	専用車 航空機	14:10	朝食後、ホテルをチェックアウト、空港へ アムステルダム発空路帰国の途へ <機内泊>	朝
1/30（火）			09:20	東京・成田空港到着後、各自解散	

◆旅行期間/2001年1月25日（木）～1月30日（火）6日間
◆行き先/アムステルダム（オランダ）
◆募集人員/20名様（最少催行人員/10名様）
◆旅行代金/178,000円（お1人様）
※成田空港施設使用料（2,040円）、オランダ出国税（2,100円）込み
◆利用予定航空会社/KLMオランダ航空　往復エコノミークラス
◆利用予定ホテル/レンブラント・レジデンス（ツインルーム）

ツアーについてのお問い合わせ・お申し込みはこちらまで！

◆旅行主催/株式会社エイチアイエス（運輸大臣登録旅行業第一種724号）
◆お問い合わせ・お申し込み/株式会社夢屋（東京都知事登録旅行業第三種第3569号）格闘技関係専門セクション エルボールーム
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-5-10 2F　☎0422-23-1711 FAX0422-23-1544　E-MAIL elbow@yume-ya.co.jp
担当者携帯☎090-4743-8717 担当/久米　http://www.elbowroom.ne.jp/　◆営業時間/月～土　10:00～18:00（日・祝祭日休業）

GAME INFOMATION

1/25にカプコンから発売される話題の『UFC』ゲームが12・16『UFC-J』で体験できる！

来年1月25日（木）にカプコンから発売されるゲーム『ULTIMATE FIGHTING CHAMPIONSHIP』（PS2／ドリームキャスト用。価格5,800円/税別）が、12月16日（土）、『UFC-J』会場のディファ有明のカプコン試遊台コーナーで体験できるゾ！　全米で爆発的な人気を博したこのソフト。高阪剛やコールマン、ルッテンなど、実際に『UFC』に出場した選手たちが実名で登場しており、動きや技も超リアルな格闘ゲームだ。まだ発売まで約1カ月あり、今回は発売前にプレイできる貴重なチャンス。ゲーム好きも格闘技好きもこの機会を逃すな！

※画面は開発中のものです

Et cetra

エンセン井上・朝日昇が講師をするジム、『PUREBREDアリーナ』オープン！

GOLD'SGYMさいたまアリーナに、修斗・柔術・レスリングを学べる『PUREBREDアリーナ』が11月よりオープンした。修斗クラスの講師にはエンセン井上や朝日昇ほかプロ修斗選手が担当し、柔術クラスもエンセンが指導にあたる。またレスリングクラスの指導には山本美憂・徳郁の姉弟と講師陣が実に豪華！ 練習スペースは6Fにあるので見晴らしも抜群にいいらしい。初心者も大歓迎ということなので、これを見て興味を持った人は是非入会しよう!

◆入会金/5,000円（各クラス共）
◆月謝/修斗・柔術クラス7,000円 レスリングクラス6,000円（修斗・柔術クラスとレスリングクラス共に入会の場合は入会金は共通だが、月謝は別になる）
◆練習時間/修斗（火）・（木）20:30～22:00
柔術（木）18:45～20:15 （日）16:15～17:45
レスリング（火）18:45～20:15 （日）14:30～16:00
◆住所/埼玉県与野市上落合2-27 さいたまスーパーアリーナ6F
◆お問い合わせ/GOLD'SGYM さいたまアリーナ
☎048-600-3939 PUREBRED大宮☎048-686-3328

▶エンセンや朝日昇に直接教えてもらって、心も体もたくましくなろう!!

君もナマ・マッキーに会ってみないか？ 真樹日佐夫先生サイン会開催

真樹日佐夫先生の素手喧嘩（すてごろ）回顧録ともいうべき、新刊『すてごろ懺悔』（発行元：フル・コム）の発売を記念してサイン会が行われる。サインをもらいたい人は、芳林堂書店高田馬場店で『すてごろ懺悔』を購入すると整理券が配布されるので、これを当日持参すること。しかもサイン会当日の先着30名様には、真樹先生プロデュースのビデオ『真樹日佐夫直伝 真樹道場ファイティング空手』（定価8,800円）をプレゼント！ マッキーにここまでサービスされたら行くしかない！

◆日時/12月16日（土）15:00
◆会場/芳林堂書店高田馬場店
◆お問い合わせ/フル・コム ☎03-5413-5890

バトラーツが年末恒例もちつき大会開催！

格闘探偵団バトラーツが、毎年恒例となっている「もちつき大会」を開催するぞ！ レスラーたちと楽しく触れ合えるチャンスだ。バトファンは各自好きなドリンク持参の上（重要らしい）、行ってみよう！

◆日時/12月30日（土）11:00～
◆場所/バトラーツジム[B-CLUB]内（JR越谷駅から徒歩30秒）
◆お問い合わせ/バトラーツジム[B-CLUB] ☎0489-63-7515

J-NETWORKが池袋にジムをオープン 1月31日までキャンペーン中！

1月10日（水）にキックボクシングのJ-NETWORKが、池袋から徒歩5分の好立地に「池袋ジム」をオープンする。インストラクターは増田博正（フェザー級チャンピオン）、蔵満誠などの現役キックボクサーが務める。ほかにも女性インストラクターによる、エアロビクス＆ムエタイのオリジナルプログラム「シェイプリーキック」もやっているそうだ。1月31日までは入会金無料キャンペーン＆パンチンググローブプレゼント中だから、今がチャンス！

◆住所/東京都豊島区南池袋2-12-5 第6.7中野ビル4F（JR池袋駅から徒歩5分）
◆ジム解放時間/平日15:00～22:30 土曜12:00～22:30 日・祝12:00～18:00
◆入会金/12,000円
◆月謝/10,500円（一般） ※各種コース、学生割引あり
◆お問い合わせ/池袋ジム ☎03-5954-8815

T.A.M.A.主催のアマチュア大会『格闘技サミット・トーナメント』開催！

T.A.M.A.（トータル・アスレチック・マーシャル・アーツ）が、アマチュア大会『格闘技サミット・トーナメント』を開催する。ルールはTAMAフリーファイトルール、またはTAMAスタンディングルールから選択でき、軽量級（-65kg）、中量級（-75kg）、重量級（75kg以上及び無差別）の各階級に分かれている。参加希望者は以下の要領で申し込もう。

◆日時/1月28日（日）集合/10:30 開場/11:00 試合開始/11:30
◆会場/東京・ニューシティーホール国立特設コート（JR中央線国立駅南口より徒歩1分）
◆参加費/7,000円（保険料込み）
◆申し込み方法/電話にて問い合わせた後、申込書が郵送されるので、それに記入した上、参加費と一緒に現金書留にて返送する
◆あて先/〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5長瀬正和
◆お問い合わせ/T.A.M.A.代表 長瀬正和☎0425-72-6795 ☎090-4829-3773

シュートボクシングのアマ大会出場選手募集！

シュートボクシング協会では、2月11日に開催される『第1回全日本ライトアマチュアシュートボクシング選手権神奈川大会』の出場選手を募集中。参加希望者は、シュートボクシング協会に問い合わせてみよう！ また、申込書・参加費は現金書留で湘南ジム（下記）まで郵送すること。

◆日時/2月11日（日） 集合時間/10:00
◆場所/神奈川・大和スポーツセンター
◆参加資格/あらゆる格闘技のプロの試合経験、または、あらゆる格闘技のアマチュア大会における入賞経験歴を持たない、心身ともに健康な男女
◆参加費/4,600円
◆あて先/〒242-0016 神奈川県大和市大和南2-13-14 ☎046-264-9867
◆締め切り/2月1日（木）
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会 担当：森谷 ☎03-38843-1212

藤本ジムがカルチャースクールを開催！

新日本キックボクシング協会の藤本ジムが、東京・目黒でキックボクササイズのカルチャースクールを開催する。体力作りやシェイプアップ、減量にも効果の高いトレーニングを、新日本キックのエース・小野寺力や、同ジムのコーチで元日本バンタム級王者の鴇稔之氏らに直接指導してもらえるぞ。12月18日には体験会も行うので、キックボクササイズに挑戦してみよう！

◆体験会日時/12月18日（月）19:00～20:30
◆体験会会費/1,500円
◆スクール初回日時/1月15日（月）19:00～20:30
◆スクール会費/21,000円（3カ月10回）
◆場所/目黒学園カルチャースクール（JR目黒駅から徒歩0分）
◆お問い合わせ/目黒学園 ☎03-3442-7533

▲前日本フェザー級チャンピオン・小野寺力が各自のレベルに合わせて指導してくれる。まずは体験会にGO！

田中稔トークイベント『稔のホントのところ』開催！

IWGPジュニアチャンピオンの田中稔が、神戸のプロレスショップ「リングソウル」でトークイベントを行う。デビュー当時からジュニアのベルトを獲得するまでを、本音でトークする。他にもお宝オークションや、サイン会、ツーショット撮影会もあり、稔ファンは見逃せないぞ！

◆日時/12月18日（月）19:00開場 19:30開演
◆場所/リングソウル（JR元町駅から徒歩3分）
◆料金/2,500円（ワンドリンクオーダー別）
◆チケット/来場希望者はTEL・FAX・E-mailにてエム・ファクトリーまたは、リングソウルへ直接申し込む（先着順）
◆申込先/エム・ファクトリーコーポレーション TEL＆FAX 03-3604-2259 E-mail em.fact@d8.dion.ne.jp リングソウル ☎078-333-6690

あの島田レフェリーが店長に！『ジャポネット しまだ』オープン！

バトラーツがインターネットで、ショッピングコーナー『ジャポネット しまだ』を開始する。これは『プライド』リングなどでレフェリーを務める島田裕二さんが、自ら店長となって世界を飛び回り、面白い・便利・素晴らしい物を紹介するコーナーだ。その第一弾としてダイエットサプリメント『エクソライズ』を販売する。ダイエットに興味がある人は早速アクセスしてみては？ また、『エクソライズ』はバトラーツの会場でも発売中だ。

◆価格/60カプセル 3,800円
◆HPアドレス/ http://www.phytocise.com/
◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005
◆商品に関するお問い合わせ/☎0120-511-644

格闘技オフィシャルホームページ

K-1
http://www.k-1.co.jp/

UFO
http://www.ufojp.co.jp/

極真会館（松井派）
http://www.kyokushin.co.jp/

リングス
http://www.rings.co.jp/

アントニオ猪木
http://www.antonio-inoki.com/

大道塾
http://www.daidojuku.com/

パンクラス
http://www.so-net.ne.jp/pancrase/

UFC
http://www.seg.com/ufc/

格闘探偵団バトラーツ
http://www.ops.dti.ne.jp/~batbat/

シュートボクシング
http://www.shootboxing.org/

日本武道伝骨法會
http://www9.big.or.jp/~koppo/

修斗
http://www.alles.or.jp/~shooto/index.html

新日本キックボクシング協会
http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/

全日本キックボクシング連盟
http://www.aj-kick.co.jp/

J-NETWORK
http://WWW.kickboxing.co.jp/

PRIDE
http://www.jside.com/pride/

高田道場
http://www.takada-dojo.com/
http://www.takada-dojo.com/i/
（iモード用）

聖圏道
http://www.seiken-do.com/

星座別 タロット占い

12/14 Thu. ～ 12/27 Wed.

宇月田麻裕
mahiro utsukita

プロフィール　ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「ダ・マーヤー占星術」を中心にタロットカード、西洋占星術、四柱推命などオールマイティな占いを使う。現在、雑誌・映像などで活躍中。
URL http://www.happiness-f.com/

牡羊座 3/21～4/20

全体運　絶好調！　仕事や学校、試合の成績は、努力次第で納得いく結果が得られるとき。目の前に立ちはだかっている障害も、打破できるチャンスなので、思い切った策略で臨むとグッド。恋愛では、何人もかけもちしている人は、クリスマスに向けて、本当に必要な人だけに絞って。トラブルに発展して、誰もいなくなる前にケジメをつけよう。

勝負運　猪突猛進。とにかく前へ出て先手必勝がグッド。

健康運　車の運転に要注意。事故に遭いやすいとき。

金　運　ギャンブル運あり。パチンコでもいかが？

ラッキーアイテム：**レザージャケット**

ラッキーカラー：**ボルドー**

牡牛座 4/21～5/21

全体運　バタバタと忙しくなってくるとき。こっちの用事を済ませていたら、あっちのことを忘れてミスしたりと、集中力が分散してしまいそう。まずは、ひとつ一つ片付けて、大切なことは、メモ書きしておくこと。恋愛は、真剣な恋愛よりも、楽しむことを考えて。クリスマスパーティで、ラッキーな出会いが、あなたを待っているハズ！

勝負運　5の付く日か、火曜日に勝負のチャンスあり。

健康運　カラオケで歌い過ぎて、喉を痛めそう。

金　運　歳末バーゲンで、掘り出し物あり。

ラッキーアイテム：**ペンダント**

ラッキーカラー：**シルバー**

双子座 5/22～6/21

全体運　「自分らしく」いることがテーマ。どんなに多忙になろうとも、人がどうであろうと、「自分は自分」ということを忘れないで。人の犠牲になって、あとから後悔するよりも、悪影響だと感じる人とは距離を置いて付き合うようにして。恋愛では、カップルは、肌と肌を触れ合うことで、問題は前向きに解決の方向へと向かいそう。

勝負運　上腕筋肉を鍛えておくと、技がキマる！

健康運　乾燥肌に悩みそう。スキンケアをお忘れなく。

金　運　パーティのビンゴゲームで賞品ゲット！

ラッキーアイテム：**ハンドクリーム**

ラッキーカラー：**ライトパープル**

蟹座 6/22～7/23

全体運　ちょっとイヤなことが起きるかも。ライバルに、オイシイとこ取りされたり、上司に叱られたり。でも、それは今のあなたにとって大切なプロセス。どんな課題が隠されているか、敏感に感じ取って、成長の糧にして。恋愛では、仲間とクリスマスのプランニングを。パーティで意気投合した人とカップリングも。ナンパ作戦もイケそう。

勝負運　勝負はちょっと待った！　まず、先方の出方を見て。

健康運　年末の暴飲暴食の割には体重がキープできそう。

金　運　格安の年越しツアーがゲットできそう。

ラッキーアイテム：**クリスマスグッズ**

ラッキーカラー：**ラベンダー**

魚座 2/20～3/20

全体運　目上の人と仲良くするとグッド。日頃の感謝を伝えたり、礼節を重んじることで、ラッキー到来。有意義な人や仕事を紹介してくれたり、ステップアップできるチャンスを与えてくれそう。恋愛は、南の方角でのデートを。ロマンティックなデートを演出してくれるハズ。欲情のままに身を・・・。フリーは、外面だけにとらわれてはダメ。

勝負運　目上の人がキーマンに。アドバイスを聞いて。

健康運　暴飲暴食からの胃腸障害に要注意。

金　運　パーティの幹事で、黒字を出してあぶく銭が。

ラッキーアイテム：**静電気防止グッズ**

ラッキーカラー：**ブラック**

獅子座 7/24～8/23

全体運　絶好調の運気に突入！　表舞台に立てるときなので、パーティの誘いには即ＯＫの返事を。どこでどんな出会いが待っているか分かりません。仕事に結びつく可能性もありそう。恋愛も、そんなスポットで始まる予感。目と目があった瞬間に、恋の炎が燃え上がりそう。カップルは、恋人の悩みを真剣に聞くと信頼関係アップ。

勝負運　燃えているそのときがラッキータイム。

健康運　お酒の飲み好きでアレルギーが出そう。

金　運　ギャンブル運あり。懸賞に応募してみては？

ラッキーアイテム：**スケジュール表**

ラッキーカラー：**レッド**

水瓶座 1/21～2/19

全体運　自己改革に目覚めるとき。この１年の仕事や試合を振り返ってみて。今後の新しいテーマを見つけるのにはグッドタイミング。もともと個人主義で、個性的なセンスを持っているので、それをどう活かしていけるかが大きな課題。恋愛は、多忙でも、リフレッシュするために温泉に出かけたり、心温まる休日を恋人と過ごすとグッド。

勝負運　たまにはブレイクタイムにしておいたほうがいいかも。

健康運　足下に注意。酔っぱらってコケたりしないで。

金　運　取り立ては早めに。貸したものが戻らなくなりそう。

ラッキーアイテム：**ブーツ**

ラッキーカラー：**ワインレッド**

乙女座 8/24～9/23

全体運　救世主が出現する暗示。何かとモノいりなシーズン。お金に困ったら、親が援助してくれたり、タイミング良くラッキーが舞い込んできそう。でも、それはあなたの日頃の行いが作用するので、陰徳を積んでいくことが必要条件。恋愛では、カップルは、クリスマスを家族で過ごしたり、アットホームな交際へと進展しそう。

勝負運　頭脳プレイが勝利に近付けるポイント。

健康運　顔がカサカサしそう。洗顔石鹸を変えるとグッド。

金　運　節約モードに切り替えないと生活困難に。

ラッキーアイテム：**ロウソク**

ラッキーカラー：**ライトピンク**

山羊座 12/23～1/20

全体運　年の瀬になって、あなたの中に新風が吹き込みそう。パーティで出会った人や、今まで話したことがない人がキーマンになる暗示。ジックリと話していくうちに、刺激的な話題が飛び出しそう。ハートにキープ！　恋愛は、相手の欠点ばかり見てはダメ。まずはあなた自身が悪い癖を直す必要があるみたい。そうしたら円満解決に。

勝負運　噛ませ犬になってみては？　意外と良い勝負に。

健康運　冷えに注意。関節を痛めたりしそう。

金　運　忘年会で予算オーバー。計画的に使って。

ラッキーアイテム：**フラワーアレンジメント**

ラッキーカラー：**オレンジ**

射手座 11/23～12/22

全体運　運気アップ！　多忙な生活だけど、比較的スムーズに進行していくとき。仕事やトレーニングでは、効率の良さやプロセスが評価され、忘年会では、活躍できるステージが。面倒だけど、幹事などは快く引き受けるとグッド。恋愛では心境の変化が訪れそう。恋人との環境や関わり合い方が変わったり、極端な人は、恋人が変わることも……。

勝負運　思い付きの行動や技がキレイにハマりそう。

健康運　エネルギー配分を。一気に使っては息切れ。

金　運　ダウン。余分な現金は持ち歩かず、貯金しよう。

ラッキーアイテム：**ウォッチ**

ラッキーカラー：**ベージュ**

蠍座 10/24～11/22

全体運　リベンジ運あり。負けた勝負はそのままにしていてはダメ。勝ってスッキリと年越しをしたいモノ。今だったら勝利の可能性大。また、忘年会シーズン、お酒の飲み過ぎで、暴言や暴力に走ることがあるので、気を付けて。恋愛は、カップルは結婚を意識する瞬間が訪れそう。同棲話が出る人達も。フリーは、友達にアシストを頼んで。

勝負運　強運のとき。リベンジにチャレンジ！

健康運　ビルや電線など、上からの落下物に要注意。

金　運　お金に関わる交渉事は早めにするとグッド。

ラッキーアイテム：**栄養ドリンク**

ラッキーカラー：**ライトブルー**

天秤座 9/24～10/23

全体運　ラッキーな情報を入手できるとき。金運がアップしているので、一儲けできる情報が手に入りそう。試合では、20世紀最後のベストバウトが観戦できたり、あなた自身がそれを体験する暗示。恋愛では、トラブルが消滅して、クリスマスに向かって幸せ気分に。フリーは、海外運があるので、海外向けにメル友募集してみてはいかが？

勝負運　賞金などお金が絡むと、けっこうイケそうなとき。

健康運　脂肪がつきそう。シェイプアップに励んで。

金　運　儲け話は口外しないで、仲間内だけで。

ラッキーアイテム：**パソコン**

ラッキーカラー：**トリコロールカラー**

一撃コラム 連載第36回

伊原会長の執念が実った歴史的勝利！ 人を嫉妬させてこそ、それは本物である

12月3日、ムエタイの殿堂ラジャダムナンスタジアムで行われた、新日本キックボクシング協会の年に一度の一大イベントを現場で見てきた。

　ご存知キックボクシングは、タイの国技ムエタイから生まれており、キックの究極の目標は〝打倒・ムエタイ〟にある。しかし、これまで本場ラジャダムナンスタジアムやルンピニースタジアムのベルトを獲った外国人は、500年の歴史の中でも日本人の藤原敏男とフランス人のムラッド・サリだけ。そのため、打倒ムエタイは、バーリ・トゥードの試合でグレイシー柔術を破るより難しいと言われている。

　なぜ、それほど打倒ムエタイが難しいのか？　3万人とも言われる選手層の厚さもあるだろう。また、タイでは子供の頃からムエタイを学び、成人する頃には100戦近くの試合経験がある選手もたくさんいる。さらに、身体能力的にも日本人が相撲に向いているように、タイ人はムエタイに適した身体を持っていることも理由のひとつだ。

　しかし、それ以上に考えられるのが、ムエタイの競技の性質にある。ムエタイはギャンブルとして成立しているため、他の競技のような単純な倒し合いはしない。1・2Rはお互いに様子を見ながら、3・4Rにポイントを奪い合う。そして、5Rはポイントを取っているほうが逃げるというゲームのような展開をする。

　さらに言えば、ジャッジの取り方も非常に複雑で、どんなにパンチで相手の顔をボコボコにするより、腰から上をある程度の力で数多く蹴ったほうが勝ちになるという競技だ。打倒ムエタイとは、そんなどこかスッキリしない、ムエタイの土壌に身を置くことで初めてスタートするのである。

　これまで、私も何度もそういうムエタイの壁を破ろうとした日本人の試合をタイで見てきた。清水隆広、立嶋篤史、前田憲作……しかし、彼らは勝つことはあっても、ランキングに名を連ねるだけでも難しいし、タイトルに挑戦するまでには至っていない。そういう悔しい思いをいつも味わってきた。

　しかし今回、そのムエタイ越えを、小笠原仁という、まだあまり知られていないキックボクサーがあっさりとやってのけた。あまりにもあっけない歴史的快挙に、感動する間もなかった。まだまだ小笠原個人に対する思い入れの量が足りなかったことも理由にあるだろう。

　しかし、その小笠原の隣りで号泣して喜ぶ伊原信一会長の姿を見ると、その感動、そしてムエタイ越えがどれだけ大変なことかは十分伝わってきた。私には、この勝利は、伊原会長の執念で、伊原会長が獲ったようにしか見えなかったのだ。

　伊原会長とは〝キックの鬼〟沢村忠と同じ目白ジムの後輩にあたり、キックがゴールデンタイムで放送されていた時の最後のスター。今は新日本キック協会の代表であり、小川直也や永田裕志、謙吾にキックの手ほどきをしていることでも知られている。小川が佐竹に勝った陰の功労者は、この伊原会長だ。

　そんな伊原会長は、キック団体乱立時代にどことも交わろうとせず、〝打倒・ムエタイ〟とハッキリ目標を据えて、独自の路線を貫いてきた。他は交流したり、くっついたりしているが、結局は内部分裂を起こすから意味はないと考えているのだ。その意味で今、最もキックボクシングを貫いているのが新日本キックだ。

　興行はいつも満員。そして、昨年から伊原会長はムエタイを倒すために、本場ラジャダムナンで手打ち興行まで開き始めた。これは、外国人が大相撲をプロモートして、日本人VS外国人の試合をするようなもの。そこまでして、ムエタイの中に入り、500年の歴史を打ち砕いたのである。

　今、キック界は、K―1中量級と新日本キックという大きな流れに分けられる。きっと、小笠原が藤原敏男以来のベルトを巻いたことに対して、他のキックボクサーたちは嫉妬の目で見るだろう。

「なんで小笠原が……」

　でも、そこがいいのだ。これまで、K―1や『プライド』といった成功者は、他の団体からすればジェラシー以外の何ものでもなかった。第三者から嫉妬されてこそ、それは本物の証明である。小笠原がラジャダムナンのベルトを奪ったことで、今までムエタイに挑戦してきた名前の売れているキックボクサーは、それこそなんだったのかということになる。だから、私は〝お見事、伊原会長〟と拍手を贈りたい。

　小笠原の勝利は、きっと他のキックボクサーに大きな刺激を与えることになるだろう。また、小笠原自身がそれに耐えられる器の男なのか、それとも単なるフロックなのか、その真価を問われるのはこれからである。

　もちろん、本家ムエタイもこれでいいのかという問題もある。その意味で、世紀末のこの快挙には、中量級の立ち技格闘技を面白くしそうな期待感がある。

　しかし、もっと重要なのは、その嫉妬する気持ちをどれだけ多くの人に与えられるかということである。たしかにこの快挙は、キック界には刺激を与えている。だが、片やグレイシーを破った桜庭和志が世間に届くほどの大ブレイクをしているのに対し、難しさから言ったら同レベルのムエタイ越えはまったくと言っていいほど世間に届いていない。

　翌朝のスポーツ紙を見てもそのことは取り上げられなかった。あくまでも、格闘技界の中の、ひとつの事件といった感じなのだ。そこが、次に新日本キックが考えなければならないことである。

　〝打倒・ムエタイ〟が、『プライド』をプロデュースする猪木やK―1の石井和義館長が嫉妬するほどのものになってこそ本物。やる側の快挙を見る側も感じる快挙に、ぜひ変えていただきたい。■

▶小笠原に遂にベルトを獲らせた伊原会長。とにかくこの日は、伊原会長しか目に入らなかった

向井亜紀さん、ガンバレ!!

クンフー・マクダニエル

編酋長◎井上きびだんご

VOL.22

連続テレビドラマロマン劇場

桜祭り残酷天狗

ある日突然に

コケシアラカルト!

大天狗	★泉　リカ
	★シークレットマミー
残酷	★リトルダイナマイト
	★町中としお
コケシ	★五月レイカ
	★五月カンナ
妖精	★ミスダリヤ
	★女義太夫

3月21日より
31日まで　15本立

㊙

本もの外人
ミス・シルバー

東大阪　世界のイノキへ大PR作戦

晃生ショー劇場　近鉄布施駅下車すぐ
TEL(06)782-273

コジキーター vol.22

神社界に衝撃！

開運 闘魂御守

これさえあれば２００７年は、
キミの飛躍の年！

ANTON

FRONT

BACK

12・31大晦日
『イノキ・ボンバイエ』in大阪ドームで
発売決定！

困ったときには、悪魔頼み！
ごめんなさい、神様よりも好きです…。

■アントニオ猪木闘魂御守　￥1,000
（税込／カラーは濃紺と赤の2種類）

※岡山県倉敷市の足高神社にて御祈祷予定。学業成就、商売繁盛、家内安全、安産、身体健固、交通安全など、いつ何時でもその効力を発揮いたします。我々の荒ぶる創作魂は、すでに「たけしの元気がでるハウス」の域にまで昇華！ ダンカン、このヤロッ！（通販の予定はありません）

※賢明なる読者の皆様、このページはリハビリセンターでも私立刑務所でもありません。くれぐれもお間違えのないようお願い申しあげます。

凄い……凄すぎる！

ワンフーに驚異の大型新人現る！

『部下と一緒に』

この前、部下と一緒に『プライド11』を見に行ってまいりました。部下は生粋のプロレスファンで、仕事中はいつもプロレスの話をしております。ワタクシはいつも「オイオイ、山下君、プロレスも猪木もいいけど仕事も大事にな」と声を掛けます。それくらい、部下の山下君はプロレスが大好きなのです。

それにしても、最近のプロレス&格闘技界は力道山世代の私にとって訳がわかりません。どうなっているんですか（怒・怒・怒）。

小川対佐竹の試合はとても感動しました。部下の山下君も腕を振り上げて応援しておりました。「がんばれ、小川。ファイト小川。小川。小川」

こういう具合だったので、ワタクシは本当にコマリンコ。コマワリ君。

それにしても、あなた方が作っていらっしゃる雑誌は本当に面白いですね。そーですね。

がんばれ、がんばれ、『SRS・DX』。

『憧れサブミッション』

アキレス腱固めを考える
優しさを取り戻せ
蛇を食べた。チョップした
がんばれ小川、がんばれ小川
アキレス腱固めを考える
スーパーでニンジンを買う
HIPHOPに参加する
ボディスラムで投げられる
脇固めを考える
アパートを経営する
街のはずれで治療する
脇固めを考える
優しさについて考える
ジャーマン・スープレックス・ホールドで4人殺す
ニンジンを捨てる
HIPHOPで考える
日本語RAPを考える
脇固めを掛けられる
脇固めを考える

『サンタ・サンタ・サンタ』

サンタモニカの朝がきた
プロレスを見に行って握手した
ドカンの中からこっちを見ている
マーク・ケアーと握手した
サンタモニカの朝がきた
ネェネェ、妖精。是か非か。
こうしている間にも
アフリカでは一分間に
五百万人の子供が死んでいます
サンタモニカの朝がきた
この前、ファミレスに居た
ハンバーグを食べた。
ライスを2杯食べた
マーク・ケアーと握手した
サンタモニカの朝がきた
ドイツ旅行3人で五万六千円です
ドカンの中から出てきた
ポルシェを買った。ベンツを売った
サンタモニカの朝がきた
サンタモニカでナンパした
マーク・ケアーと握手した

東京都北区・杉田八郎（？歳）の作文&ポエムに読者投稿界の夜明けを見た！

PRIDE.12
AT SAITAMA SUPER ARENA
12/23 SATURDAY PM5:00 START
SAKU
RYAN
VALEU
LIVE !!
狂犬狩り!!!!!
SAKURABA HUNTS A MAD DOG OF THE GRACIE !!

▲京都府左京区・ソバットシアター・？歳

かたや、毎回安定したペンさばきを見せる東京都狛江市・爆苦連亡世（25）の観戦記も捨てがたい！ この独特のリズム感&世界観はきっと誰の共感も呼ばないだろう。だけど気にするな。俺が必ずお前を守ってやる（嘘）。

押忍！ ベロンチョ男でえ〜す。いやぁ〜、女子プロの22日の『L―1』と23日の『レスリング・フェスティバル2000』を観戦して女子プロを馬鹿にできないと思ったっすよぉ〜。はっきり言ってはまりましたよぉ〜。面白いっす！

まず、『L―1』については神取VSほったはすごい技術の攻防で試合は打撃で押していったほったが有利だと思ったけどまさか！ 神取がほったのうでをきめて神取が勝つとはあらためて『プライド』に負けないくらいの名勝負っすよぉ〜。小川VS橋本、川田VS健介、髙田VSボブチャンチンと同じぐらい感動した試合でしたよぉ〜。それと俺、LLPWの社長の風間ルミ姉さんのちょっとしたファンなのですが負けてしまいちょっと残念っすよぉ〜。ルミ姉さんのエロいところが好きっすね（笑）。

この大会のいいところはガチンコの試合で流血もあったので初期のUFCを思いだす格闘技好きにはたまらない大会でした。

次の23日もまた面白いのですよぉ〜。レスリングの山本聖子が脇澤美穂に相手にならないほど強かったのですよぉ〜。まぁ〜、打撃なしの試合なのでしょうがないけど何でもありの試合で山本VS脇澤をやってほしいっすね！ やっぱレスリングは強いのでしょうかねぇ〜？ 全女の大会でレスリングの山本聖子が参戦するということは女子プロもリングス、パンクラスなどの団体みたいにプロ格の方面に行くということと思いますね！ うれしいかぎりっすよぉ〜。あと最後オクタゴンのタッグ戦は俺が好きな流血になるし、まるで猪木さんが新日本でバリバリ試合していた頃のケンカファイトを思い出す試合でしたよぉ〜。全女の伊藤、中西、高橋には他団体をたたきつぶすという新日イズムの見本を見せてもらった感じでしたね。それと中西は可愛くて強いと思いましたよ。ガチンコの試合に参戦してほしいっすね。キッスの世界の『バクバクKiss』も生できけたし最高の大会でした！ 時代は昔でいうと猪木さんが理想とするスタイルとUWFがやりたかったスタイルになっていくと思うのですよ！ 女子プロも！

ぜひ、猪木さんにお願いで〜す！ 31日の大会に女子プロも参加させてやって下さい！

それとパンクラスの12・4の大会に弟子の引退興行に出席するべきっすよぉ〜。パンクラスの選手のすごさを見てやって下さいね！

『SRS・DX』にもお願いで〜す。ぜひ、女子の選手のインタビューもやって下さい！『ReMix』の試合内容をくわしくのせて下さいね♥ 桜庭あつこの格闘技デビュー戦についての座談会などやったら雑誌売れますよぉ〜。

三田さんの次男の乱交パーティーに（吉田、かもんとくるとまさか！）俺が好きなタレントが参加しているのではないかと心配しているモグラ好きのへこみ詩人でしたぁ〜。ヘコ、ヘコ。

アントニオ文朱くんとTシャツ作りました！ P112を見てください。

ワンフー・マクダニエル

闘魂五木田塾 WANFU version 第3回

題字◎アントニオ猪木
塾長◎五木田智央

五木田塾にも驚異の大型新人現る!! なんと文朱&中川両巨頭が揃って敗退！

イラスト界にも激震が！

▲埼玉県坂戸市・マサ・ナカガワ・23歳

▲水槽33・アントニオ文朱・100歳

▲神奈川県相模原市・武山いずみ・25歳

▲東京都世田谷区・笠井修・27歳

相模原チグモン3歳（4コマ）

塾長の寸評

「先日、オーストラリアでのんびりしてきたゴキータです。オーストラリアはノーブラ巨乳天国だ！　俺は前田ばりにボールペンの先っちょで乳首をツンツンしたくなっちゃったよ！　ナーハッハッハッハッ！

　つーことで寸評！　今回のトップは髙田を描いた笠井くんだー！　そっくりやん！　こんなこれえ！　Tシャツにしたいよコレ！　きびだんごが作ったノブTシャツはこのイラストを使うべきだった！　今からでも遅くない！　作り直せ、きびだんご！

　つぎに武山いずみちゃん！　この髙田もイイ！　そっくりやん！　このヒロ杉山ばりのタッチは今までありそーでなかったな。ところで、なんでみんな選手の名前書くの？　自信がないのか？　アントニオ文朱は別として（笑）、絵だけで勝負しろこの野郎！　で、その文朱は今回あえてハズしました。なぜか？　それはもう違うステージに存在しているというか、あらゆるものを超えてるからです。俺は「ポスト文朱」をまだ待っている。ヌハァ。

P.S. 文朱、この間はごちそーさまでしたぁーッ!!」

■お便り募集

『ワンフー・マクダニエル』では、読者の皆様からのお便りをお待ちしています。観戦記、イラストはロマンチックなものを、写真はコメントを添えて、その他なんでもお待ちしています。簡単なお便りは、『たつ万』の応募ハガキに書いてくれてもかまいません。

あて先は、
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F SRS・DX編集部
『ワンフー・マクダニエル』係

または、
■ワンフー編酋長メール srs-dx@rhodes.co.jp まで。

※なお、作品は一切返却しません

シュートボクシング

INVADE 5th STAGE

11.30★後楽園ホール

「魔裟斗？ 小比類巻？ 違う違う。立ち技最強はボクだな」

土井広之、ラクチンKOで20世紀の締めくくり

不敗のフランス人ミカエルに飛びヒザ蹴り炸裂。1Rで葬る

▼「さあ、立ってきなさい。かかってきなさい」。ミカエルが立ち上がるのを待つ間、土井はロープ中段に駆け上がって余裕しゃくしゃく

▲鮮やかなKO劇も、その下地を作ったのはやはりキラーロー。「ローの練習はしていない」という土井だが威力は素晴らしい

▼「立ち技じゃ、あんたより強い」。激励のルミナにそう言ったんだろうか……

▲「最強はボク」。格闘技界の大先輩・黒澤浩樹にそんなことは言うはずはないか。でも金的はいかんよ

▲▶最初のダウンから立ち上がってきたミカエルに再び土井のヒザ蹴りが炸裂する。もんどりうって倒れ込んだミカエルはまたしても立ってきたが、最後はローキックでとどめを刺された

土井のコメント

「最初に食ったローが強くて驚いたけど、やっているウチに（ミカエルは）大したことないなって。ヒザ蹴りは狙っていた。ローで効いてきたのが分かったので、いってみようと。アマンタエフの時からよく決まっていたし。来年は世界の肩書きが欲しい。今のベルトは返上するつもり。課題？ 何があるんでしょうね（笑）」

ミカエルのコメント

「これまで16連勝してきたのはキックボクシングとムエタイでのもの。フリーファイトでも1戦している。今日の試合はいい経験になった。また日本にやってきて、土井にはぜひリベンジしたいと思う。残念だけど、今日は最高の自分を見せることはできなかった。土井のローキックは効いた。だんだんと痛みがひどくなってきたんだ」

▶かつての先輩・村浜武洋に挑戦状を叩きつけた宍戸大樹は、サムライからの刺客・寒川慶一を問題としない。パンチで2度倒し、さらにヒザを決めて、たったの3分4秒でKO勝ちした

◀K-1からの凱旋試合となった緒形健一は、エリザベス・オリバー相手に消極策も目立ったが、3R終盤、一気にラッシュを仕掛けて判定勝ちにこぎつけた。来年はキャリアの集大成にしたいと緒形は言う

★第8試合/メインイベント

○土井広之	（1R3分01秒、KO勝ち）	ラレモンド・ミカエル●
〈シーザージム〉		〈サムライ・フランス〉

※3ノックダウン。ミカエルは顔面への右ヒザ蹴りで2度、左ローキックで1度ダウン

勝利の後のコメントは、とことん勇ましい。

「世の中じゃ、激戦中量級とか、誰が一番だとか言っているけど、最強はボクです」

そこまで言い切れるくらいに、この日の土井は見事だった。ミカエルを粉砕するのにかかった時間は、たったの181秒だ。ミカエルがいかほどの力量だったのかは分からない。それが判断できないくらいに、土井は強かったのだ。

16戦全勝というミカエルの戦績は、単なるこけ脅しではない。フリーファイトと兼業ながら、この勝ち星は全てキックとムエタイで築いたもの。ゴング直後のローキックは、土井が「なんじゃ、こりゃ」と驚くほど強烈だったという。ただし、土井に脅威を与えたのはこの一瞬だけだった。土井のキラーローが炸裂し始めると、すぐさま一方的な展開になる。

こうなれば、『決め』もかっこよくやりたい。これまでのKO勝利の全てを呼び込んだローキックも単なる下地作り。頃合いよしと繰り出したのは、飛びヒザ蹴りだ。もんどりうって倒れたミカエルの損傷はすでに甚大だ。続けざまに2度のダウンを追加されて、決着はやってくる。

土井が自身を「最強」と呼ぶに足る試合っぷりだった。言葉は勢いに乗って、魔裟斗にまで及ぶ。かつて引き分けた魔裟斗に対して「あんなのが世界王者なんて……」。立ち技最強を標榜するシュートボクシングのエースは、そのプライドを強調した。こうなったら、土井と魔裟斗のどっちが強いか、実地に検証するしかない。　（宮崎）

撮影（2大会とも）◎吉澤晃

ニュージャパンキック
MILLENNIUM WARS 10
11.26★後楽園ホール

松浦信次、王座復活！
中量級紛争にはヤツもいるのだ

1度は引退式までやった松浦信次が王座奪回。「やめてから初めて、自分の中でのキックの大きさが分かった」

▶5R、パンチが効いた青葉に松浦のラッシュが炸裂する。一気に3度のダウンを奪ってKOに結びつけた

このべらぼうに長い足 桜井洋平のハイを覚えとけ

▶不敗のバンタム級王者・桜井洋平は、国内で初めて、タイ人（コンキャット・シィトチュントーン）と対戦。3R、182センチの長身から繰り出す、べらぼうに長いハイキックを決めて豪快にKO勝ちを収めた

▼青葉の動きは悪かった。オープニングから松浦が一方的に攻めたてていった

かつて松浦信次を引退に追い込んだのが青葉繁だった。青葉は2度にわたって松浦をTKOに打ち破り、NJKFのウエルター級王座とともにライバルの意欲をも奪い取ったのだ。だが、再起してからの松浦は一皮むけていた。青葉を右ストレートで痛烈にKOしたのが7月。そして迎えた今回のタイトルマッチは、青葉が王者、松浦が挑戦者の立場だが、勢いという点では明白に逆転していた。

最初から一方的だった。松浦の堅実なキック、さらにアッパーカット、フックとパンチが冴える。青葉の動きは鈍く、ときおりの攻撃は散漫だ。4R、松浦の右ストレートがカウンターとなり、青葉はダウンする。5Rに入ると、青葉の気力はすでに心細い残り火に過ぎない。松浦のパンチの連打で、立て続けに3度倒れ、1分54秒、KOが宣せられた。

「松浦ってこんなに良かったっけ」と誰かが言った。32歳の松浦は激戦中量級の星として、これから真の魅力を発揮する。（宮崎）

新日本キック
KICK GENERATION 2nd
11.23★後楽園ホール

ツッパリ野郎・鷹山真吾にゃ、血染めのKOが良く似合う

「ファンを熱くする試合がしたい」。見事なツッパリ姿で登場する鷹山真吾の試合はたしかに熱い。朴成煥との打ち合いに殴り勝ち、久々に会心の勝利を飾った

ス、スゴイ逆転だぁ！ 残り17秒、飛見立久が元王者を失神KO

▲シャープな鷹山の前蹴りが光る。朴はパワフルだったが、だんだんと戦力を奪い取られていった

◀こんな逆転劇もあるのだ。元王者・蔦謙介に一方的に攻めたてられていた飛見立久はKO負け寸前だったが、試合も残り17秒、左フックを決めて蔦を完全失神させた

▼3R、朴の左のパンチで不覚のダウンを喫した鷹山だったが、その後に猛反撃。最後は韓国人を豪快に沈めた

キックボクシングほど、選手の強さと試合の面白さが合致する格闘技はないのだろう。長い前座試合の末にたどり着いた最後に、観客はきっと満足できる。この日の新日本キックの大会は典型だった。ファンは口々に「面白かった～」と満足して帰途についた。

元バンタム級王者・蔦謙介が劇的な逆転KOに敗れ、そしてライト級の元王者、鷹山真吾がまた魅せる。朴成煥を相手に好ファイトを演じた。韓国人のスピンのよく利いたハイキックが鮮やかだ。ねばり強い攻撃も油断ならない。3R、鷹山は左パンチを浴びてダウンする。しかし、ケンカ屋の本領発揮はここからだ。左フック2発を強襲して朴をすかさず脅かし、強引なヒザの連打でさらに痛めつける。それでも反撃してくる朴のレバーに、左フックを突き刺して痛烈に決着をつけた。

「攻防のあやは要らない。殴り合いだけがオレの身上」。こううそぶく鷹山は今後ウェルター級に新天地を求めるという。（宮崎）

SRS・DX Editor's Talk

編集部トーク 裏事情

フジ正月番組で、桜庭とヒクソン対面？

A 20世紀もいよいよ終わりに近づき、マット界の話題は早くも21世紀。そこで一番注目されるのが、やはり不敗神話を守り続けているヒクソン・グレイシーの動向だ。

B そのヒクソンだけど、12月6日にキム夫人を伴って極秘来日。目的は日本テレビ系で来年1月2日に放送する「体育会系新年会スペシャル」などをはじめとする大晦日・正月特番に出演するためらしい。フジテレビ系でも「とんねるずの食わず嫌い王決定戦」などの番組の出演が決定しており、正月はテレビでヒクソンの姿がかなり露出するはずだ。

C そういえば、来年も極真のフランシスコ・フィリォが元旦の「筋肉番付スペシャル」（TBS系）に出演するそうですよ。年末年始の特番に、どれだけ格闘技の選手が出るかも楽しみですね。

A でも、ヒクソンの場合、来日の目的はそれだけじゃないだろう。去年の今頃はすでに船木VSヒクソン戦が決まっていたけど、来年ヒクソンはどこのリングで、誰と闘うかはまだ決まっていない。現時点では来年11月の東京ドームで開催予定の『コロシアム2001』で、小川直也と対戦することが濃厚だけど、その話し合いが必ず行われるハズだ。

B その小川VSヒクソン戦だけど、交渉はUFOの川村龍夫社長が直接しているという。芸能関係にも強い川村社長は、もともとヒクソンとは旧知の間柄。テレビ東京の吉村直明プロデューサーも、来年は「小川VSヒクソンで行く」と明言しているから、一番実現の可能性が高い。

A ヒクソンはなんて言ってるの？

C それが、6日の成田空港での来日会見では一切ノーコメント。「悪いが何も話すことはできない」とし、小川や桜庭の名前を挙げても「相手は誰でも構わない。全てプロモーター次第だ」と言ってました。相変わらず慎重ですよ。

B まあ、今のところ「小川VSヒクソン戦」が濃厚だけど、『プライド』も「桜庭VSヒクソン戦」をあきらめてはいないだろう。さらに、パンクラスだってBS朝日と組んで近藤有己戦を狙っているだけに、凄絶なヒクソン争奪戦が繰り広げられるのは間違いないね。

C 一説によれば、船木戦で1億5千万円だったヒクソンのファイトマネーが、一気に2億円までハネ上がりそうだといいますからね。

B そのヒクソンだが、今回の滞在は10日程度。その間、CMやテレビの特番に出演するのだが、今回の来日ではまだ来年の試合は決定しないだろう。だが、来年1月8日に愛知県体育館で「DEEP2001」という大会が開かれ、そこで村浜武洋VSホイラー・グレイシーの試合が実現するんだけど、その時もヒクソンがセコンドとして来日する。正式に決まるのは、そのあたりじゃないかなぁ。

A ヒクソンは、来年2月からハリウッドでアクション映画の収録があるんだろ？　だったら、いずれにせよ、試合は秋以降だな。

B まだまだ仰天情報はあるよ。なんでも、ヒクソンが出る年始番組のひとつに桜庭和志も出演するという話があるんだよ。ということは、そこで桜庭とヒクソンの絡みがあるのは間違いない。それは、フジテレビ系の番組なんだけど、もう少しでこの世紀の対面が実現するかどうかが分かる。これは要チェックだよ。

A ところで、12月7日に放送されたTBS系の『NEWS23』見た？　ゲストにヒクソンが出ていたんだけど、そこに桜庭から「俺の挑戦から逃げるな」と電話が入り、それをアナウンサーがヒクソンにぶつけていた。ヒクソンはちょっと戸惑いながらも「準備はいつもできている」と答えていたけど。

B 見た見た、本当なの、あれ？

C 本人に確認したけど、あれは酔っぱらった友人の日ハム下柳投手が電話したらしく、本人は「ヒクソンさんに謝りたい」と言ってました。

B んあ～。サクちゃんらしくないと思っていたけど、ビックリしたよ。■

▶さあ、ヒクソンは誰と試合をするのか？その答えは年明けにも出る？

◎『SRS・DX』を創刊する時、テレビが多チャンネル時代を迎え、インターネット等のニューメディアが普及し、さらにスポーツ紙や一般誌でこれだけ多くの格闘技の情報が扱われるようになると、専門誌の役割も大きく変貌を遂げざるを得ないと考えていた。とにかく、私が『格通』を作っていた頃のやり方では、絶対に通用しない。活字は本当に難しい状況に追い込まれている。かといって、そうした新しいメディアが扱わないものを載せていっても、どんどんインディー化していくだけ。要はそういう時代に新しい手法をいくつ見つけ出せるかということにかかっているのだ。まず本誌は創刊の際、2色ページを作ってチケット情報などを載せ、ファンにとってのガイド的役割をクローズアップした。次に巻頭記事を「座談会」という形式に変え、その時々に起こった時事問題を語り、ファンに見方を提示する手法を試みた。これは今や本誌の核となり、読者ハガキの中でも一番反響が大きい（どこかこれを単行本にしてくれる出版社はありませんか？）。しかし、一番頭を悩ませたのが、試合レポートだ。もはや、専門誌の試合レポートは完全に死に体になっている。よほどの書き手とインパクトがなければ、熱心に読んでもらえないページになりつつある。そこで、またしてもターザンが発明したのが、今回のPPJシステム。試合レポートに見る側の採点を入れるという画期的な手法だ。一度読者の皆さんもぜひ試してほしい。格闘技の見方が必ず変わるハズだ。ターザンさんにはウチから社長賞を送る予定だ。（谷川）

SRS・DX

次号の発売日は12月28日（木）です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之　編集長：谷川貞治

DESIGNER：梅村あゆみ、小幡浩史、水町由美子、su・plex、広滝大輔、岩村唯是、溝口真穂

メイン終了後に行われた、船木の引退セレモニー。「絶対泣くもんか」と思っていた船木だが……

2000年12月4日——
船木誠勝、涙の引退式。
そして……

▼引退式が終わると、船木は盟友・鈴木みのるに肩車されて花道を去っていった

パンクラスの歴史が大きく変わろうとしている！

“記憶的快楽”で泣け！

▲船木は新日本プロレスの若手時代、藤波の付き人を務めていた

▲前ページで船木と抱きあっているのは、藤原組長。
組長と向かい合った瞬間、船木は涙を抑え切れなくなってしまった

セレモニーには、船木とゆかりの深い人々が集結。
声を詰まらせながら、船木は東京のファンに最後の挨拶を行った

藤原組長がいる、ライガーがいる。藤波、山本小鉄、佐山。そして鈴木も……

▲新日道場の鬼軍曹・山本小鉄も船木に花束を贈呈

▲最後に花束を渡したのは、鈴木みのるだった。新日からＵＷＦ、藤原組、パンクラスと、２人は常に苦楽を共にしてきた

▲初代タイガーマスク・佐山聡に憧れて、船木はプロレスを志した。引退の日から、佐山率いる掣圏道との交流が始まったのも興味深い

▲獣神サンダー・ライガー（が覆面を被る前）は、15歳で入門した船木を導いた良き先輩であった。藤原組長とライガーによって、船木少年は“強さ”に目覚めていったのだ

ぎを

んな自分を励ましてくれて。……ＵＷＦ

船木 今日のあの式でこれ以上のない感

ましたか?

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2000 TRANS TOUR
船木誠勝引退記念興行
12.4★日本武道館

▲インタビュースペースにて、記者陣のインタビューを受ける。この日は普段の倍近い数（それ以上かも）のプレスが会場に詰めかけた

「絶対泣くもんか」って思ったのに……こんなに感動したのは初めてかもしれない（船木）

〈セレモニーでの挨拶〉

……今日、会場に来ていただいたファンのみなさんの顔を全部、見たいです（会場の四方をゆっくりと見渡す）。満員にはならなかったですけど、今日、足を運んでくれた、みなさんに感謝します。16年前、15歳の時に山本小鉄さんに直談して新日本プロレスに入って、いろんな先輩とか、ライガーさんと生活を……。いろんな所に連れていってもらって、練習もしてもらって。藤原さんに関節技を教えていただいて。藤波さんの付き人をして……。至らない付き人でしたけど、そんな自分を励ましてくれて。……UWFパンクラスを、藤原組の残ったメンバーと旗揚げして、7年間、たくさんの相手と闘いました。マット界から、たくさんの喜び、哀しみ、苦しみ、感動を学びました。これからは、この16年間、自分がマット界から学んだ全てのことを力にして、人生を生きていこうと思います。ファンのみなさん、関係者のみなさん、スタッフのみなさん……いろんなことがありました。……最後に一言だけ、言います。……ありがとうございましたっ！

▲15年間の選手生活を終え、テンカウントゴングを聞く船木

〈記者陣によるインタビュー〉

――今の気持ちを教えてください。

船木　やっぱりファンの人の暖かい心を感じましたね。リングの上で闘っていく中で、いろんな人に支えられてやってきたなぁっていう、そういう気持ちです。絶っ対泣くもんかと思ったんですけど、やっぱり人間だから仕方なかったですね。

――改めて引退したんだなという実感は湧きましたか？

船木　今日のあの式でこれ以上のない感動……。何年ぶりですかね、リング上で（感動したのは）。もしかしたら初めてかもしれないです、これほど感動したのは。

――涙が流れたのは藤原さんの時でしたね。

船木　そうですね。ずっと、藤原組を解散してから1回も会ってないので、今日は本当に……。ヒクソン戦の時にリング上から見えたんですけども。いざ目の前に来るといろんな事が思い出されて、藤原組解散する時自分たちを独り立ちさせてくれて、その時の親心がなんか……、きました。

――最後、鈴木選手と言葉を交わしていましたけど、さしつかえなかったら教えていただけますか？

船木　「もう1回花咲かせたい」と。約束もしました。青森では泣かないように。青森大会は自分の祖父に捧げるつもりで。家族全員が（プロレス入りを）反対する中で祖父だけが「男はやりたいことがあったらとことんまでやるしかない」って。その一言で、青森を出てきました。

――今日の試合を見て、もう彼らにパンクラスを任せていけるという感触はありましたか？

船木　まだまだ未完成な部分は多少ありますけども、十分やってけると思います。勝った負けた、それを繰り返して、どんどん、どんどん強くなっていくと思います。■

▲リング下で整列していた選手一人ひとりと握手を交した船木。長谷川悟史の遺影も、引退式を見守っていた

▲最後は花道の奥で、深々と一礼

▲会場には、各マスコミから贈呈されたパネルとともに、船木のコスチュームなどが展示されていた

▲アントニオ猪木、髙田延彦からも記念の花が届いた

髙橋を肩固めで下した菊田は、「グラバカはまだ小さなチームですが、どんどん上をブッ潰していきます」とマイクアピール

◀勝者と敗者。見事なまでのコントラスト。これが今のパンクラスマットの現実なのだ

〝パンクラスといえば船木、鈴木、髙橋〟……？

NO! もうそんな時代じゃないんだ!!

菊田、髙橋に圧勝!

「上のヤツらをブッ潰してやる!」

★第8試合/セミファイナル（特別ルール15分一本勝負）
○菊田早苗（7分22秒、肩固め）髙橋義生●
＜パンクラス・GRABAKA＞　＜パンクラス・東京＞
※目潰し、金的攻撃、頭突きのみが反則となる特別ルール

▲フィニッシュシーン。昨年、鈴木みのるが敗れたのと同じ技で、髙橋も菊田の軍門に下った

これが、現実というものだ。12・4パンクラス武道館大会の最注目カード、髙橋義生VS菊田早苗戦は、菊田の圧勝だった。

目潰し、頭突き、金的のみが反則。つまり髪を引っぱったり噛みついたりしてもルール上はOKという超危険ルールで行われたこの試合でも、菊田はそんな〝裏技〟を使うことなく、寝技で髙橋を子供扱いした。髙橋の下からの打撃をもらいすぎたこと、ガードポジションの意外な固さにてこずったこともあって「完封とは言えない」と語った菊田だが、両者の間に歴然とした実力差があったことは、誰もが認めざるをえないだろう。

髙橋はスイープでひっくり返され、大内刈りでテイクダウンされ、マウントを奪われ、そして最後は肩固めでタップした。

最近は試合数も少なかった髙橋だが、ここにきて藤田和之やケンドー・カシンに刺激を受けてか「中でも外でも、もっと試合をしたい」と肉体改造に取り組んでいるという。〝第一世代最後の砦〟髙橋はまだまだ意欲的なのだ。

それでも、こういう結果が出た以上は断言せねばなるまい。

〝髙橋は、菊田に負けた〟

〝菊田のほうが、髙橋より強い〟

繰り返して書く。これが、現実というものだ。

パンクラスは元々〝完全実力主義〟を謳って旗揚げした団体。であれば、敗者が勝者に淘汰されるのは必然なのだ。

試合後のインタビュースペースで、菊田は記者陣に逆質問した。「どうッスか。僕のこと、ちゃんと記事になりますかねぇ？　なん

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2000 TRANS TOUR
船木誠勝引退記念興行
12.4★日本武道館

◀第3～5試合は、掣圏道との対抗戦。大将格として登場した美濃輪育久は、イズマイロフ・マゴメドを秒殺で仕留め、トップロープに駆け上がってガッツポーズ！

新世代パンクラシスト、対抗戦で掣圏道に全勝！

▲身長が高く、懐も深いマゴメドにしつこくタックルにいった美濃輪。抱え上げると水車落としで投げ捨て、さらに十字へつなげてフィニッシュ。この間わずか91秒！

▲9・24横浜で初勝利をあげた謙吾は、今回、初めてのKO勝ちをマーク。キカリシビリ・ラマズのパンチにノックアウト寸前になりながらも壮絶な打ち合いから大逆襲に転じ、最後はグラウンドでのパンチ連打でレフェリーストップに追い込んだ

▲石井大輔は第4試合でグリラウスカス・ダリウスと対戦。マウントパンチ連打でKO勝ちをもぎ取った。石井には近い将来、大化けしそうな雰囲気がある

あの髙橋が、8分足らずでタップ……

▶髙橋は打撃でのKOを狙っていたはずだが……。パンチやヒザをかいくぐり、菊田は巧みに組み付いていった

この現実を直視せよ！

▲スイープ、バックを取ってスリーパー、それにマウント。菊田は得意の寝技で髙橋を攻めまくった

▲一発逆転を機して腕十字を仕掛けた髙橋。しかし菊田はこれを外すことで、より有利なポジションを奪ってしまう

▲髙橋のセコンドには、藤田和之とケンドー・カシンがついていた。「船木さんの引退に華を添えようということで。何もアングルはありません（笑）」（髙橋）

▲試合後の記念撮影の際、菊田はグラバカの仲間たちをリング上に呼び込んだ。パンクラスマットの風景は、こうして塗り変えられていくのだ

か、1年前の記憶が……（笑）」

昨年の12月、菊田は鈴木みのるに一本勝ちを収めた。完勝だった。それでもほとんどのマスコミは〝鈴木の負け様〟を中心にレポートしている。本誌のShow大谷氏によるレポートもそうだ。勝者である菊田への扱いは、驚くほど冷たかった。

いつまでたっても、ファンやマスコミの興味は船木、鈴木、髙橋の世代にあるのか……。菊田は苦々しい気分を味わったに違いない。そしてこうも思ったはずだ。

〝だったら、力づくで分からせてやろうじゃないか！〟

そして1年後の今大会。船木の引退記念興行という象徴的な日に、菊田は圧倒的な強さを見せつけ、髙橋を駆逐したのだ。

否応なしに、時は進んでいく。たしかに船木や鈴木、髙橋らはこれまでのパンクラスの歴史を作り、ファンに興奮と感動を与えてきた。でも、もう彼らの時代は過ぎ去ったのだ。今のパンクラスの中心であり、未来を築いていくのは菊田や近藤、美濃輪たちなのである。

「上をどんどんブッ潰します！」

菊田のマイクアピールは、単に上位ランカーに勝つという意味ではなく、イメージとして、つまりファンやマスコミの認識、思い入れの中にある〝上のもの〟と闘ってそれを覆していこうという闘争宣言に聞こえた。

敵は目の前の相手だけではない。パンクラス第一世代が残してきた以上の、豊穣な記憶をファンに植え付けられるかどうか。本当の勝負はそこにあるのである。

（橋本〝顔が犯罪〟宗洋）

L(ライト)ヘビー級王者・山宮、らしくない判定勝利

▲ライトヘビー級王者のＫＥＩ山宮は、９・24横浜大会で鈴木みのるを破ったデニス・ケインと対戦。山宮にはチャンピオンらしい闘いが期待されたが、攻め手を欠いたまま、延長で僅差の判定勝ちにとどまった

國奥、ミドル級王座奪取に失敗…

▲今大会のメインは、ミドル級のタイトルマッチだった。王座決定トーナメント準決勝で敗れた國奥麒樹真が、ネイサン・マーコートにリベンジとベルト奪取をかけて挑んだ。試合は互いに譲らぬ関節技合戦となり、判定でドロー。マーコートの初防衛となった

▲ジェイソン・デルーシアと藤井克久の無差別級ランキング戦は引き分け。ポジショニングで優位に立ち、何度もサブミッションを極めかかった藤井だが、全てデルーシアに逃げられてしまった

◀第１試合はミドル級のランキング戦。この夏のネオ・ブラッドトーナメントを制したＲＪＷの星野勇二とショーニー・カーターが対戦し、カーターが判定２ー０で勝利

▲もう、「ヒャッ!?」としか言いようのない光景……

本誌船木番・**Show**が見た

『船木引退興行』

船木の引退式なのに、館内が閑散としているなんて…どうにかせーよ、パンクラス

な、なぜだ!?

日本武道館に入って驚いた。あの船木の引退式にもかかわらず、会場が閑散としていたからである。

いやあ、正直な話、これが今回の大会で一番衝撃的な事件だった。いかにどんなに凄まじい試合がリング上で展開されようと、この光景を見た瞬間の衝撃は僕の脳裏を一生離れないだろう。

そういった意味では船木の引退式は強烈なインパクトを残した、とは言える。

だが、それでいいのか。

いいはずがない。

〝完全実力主義〟の敗北――。

そう受け取られてしまったら、全ては水の泡だからだ。

理由はどうあれ、船木の引退式が閑散としていた、という事実は残る。マット界は全てイメージ産業。強いも弱いも全てはイメージの中で展開される。

そう考えた時、船木の引退興行の残した課題はあまりにも大きい。

そんなことは分かっている、と言うなかれ。

考えるより感じることだ。感じたら走り出せ!

思わずそんなことを言いたくなってしまった。

まあ、僕ごときが偉そうなことを言えた義理じゃないが、船木の記念すべき引退式だけに、あえてこの言葉を贈りたいと思う。

どうにかせーよ、パンクラス。

なぜなら、僕自身もものすごくショックだったからだ……。■

はみだしShow ちょっと拡大版

閑散とした武道館のバックステージで、この日、２度目の衝撃を受けた。というのは元リングスの内田女史と出会ったからだ。噂でリングスを退社したとは聞いていたものの、まさかこの武道館のバックステージで出会うとは。思えば１年前の、安生洋二による前田日明殴打事件の際には内田女史に多大なるご迷惑をおかけした。「その節は……」と挨拶を交すと、「今度、私……」といった感じで名刺を渡された。こ、これがな、な、なんとUFCーJの名刺だったのである!! いやはや何が起こるか分からないマット界。ある人によれば、「20世紀最後の大物の移籍劇」とも呼ばれているほどの事件だとか。こうなると、１年後には何が起こるのかなんて、まったく予想もつかない……。心してかかろう。それでは皆さんご唱和ください。１、２、３、ヒャッ!?

▲第６試合では、近藤有己と鈴木みのるがエキシビションマッチを披露。鈴木は12・９青森大会から、しばらくの間、打撃なしの新ルール『キャッチレスリング』に主戦場を移すことになった。試合後の鈴木は「キャッチレスリングで名を上げて、またベルトを巻きたい」とマイクアピール

◀大会前に行われた記者会見で、須藤元気の海外武者修業出発が発表された。約半年の間アメリカで練習＆試合をこなすためだとか。いずれ日本で復帰する際は、当然パンクラスマットになるとのこと

タイ国王生誕記念大会
12.5★タイ・王宮前広場特設リング

な、なんと観衆10万人以上!?
こんなトチ狂った大会、見たことない!

▲◀タイの王宮前広場での、国王誕生日を祝うお祭りには、なんと10万人以上の人々が詰めかける。そこで開催されるムエタイ大会も、信じられないくらいの混雑ぶりだ

▶ムラッド・サリを倒したことも評価され、世界選抜チームに加わった魔裟斗。ムエタイの正装でワイクーを舞う姿はタイでしか見られないだろう

タイ国王生誕記念大会に魔裟斗が堂々の出場!

撮影◎吉澤 晃

今度は魔裟斗がムエタイ越えに挑んだ！

小笠原仁がラジャダムナンでタイトル奪取の快挙。その2日後──

▲観客の99％は立ち見！　スシ詰め状態でほとんど動けないまま、長時間の大会を観戦することになる。でも観戦って言っても試合が見えないだろう、これじゃあ

◀リング下で自分の試合を待つ魔裟斗。1試合ごとに入場シーンを見せるのではなく、前の試合が行われている間にリングの近くまで来てしまう段取りになっていた

▼町のあちこちで、国王の誕生日を祝うイルミネーションが見られた

最終5Ｒ。殺気立った実にイイ顔を見せた魔裟斗

これまでいろんな取材をしてきたが、ここまでトチ狂った大会を見たのは初めてだ。

会場にいる人の数＝10万人以上。12月5日、タイの王様の誕生日を祝うお祭りの中で行われたムエタイのビッグマッチは、実にトンデモないものだった。

「どーかしてるよ、これ！」と言いたくなるようなことの連続である。自分の中にあった「大会を見る」「取材する」という行為の範疇を完全に越えちゃってたのだ。

何よりインパクトがあったのが、その群衆の多さ！　事前に「一度会場に着いたらトイレまで行くのも至難の業」、「それよりまず、リングサイドにたどり着けるかどうかが問題」と聞いて、試合開始の4時間も前に会場に向かったのだが、その段階でもう、リングの周りは黒山の人だかりである。ライブハウスだってこんなじゃないだろうってくらいに人が密集している（その状態のまま、何時間も試合を見るんだから凄い）。それでも、とにかく世界選抜チームの一員として出場する魔裟斗の試合だけは見ておかなくてはと、足を進めたのだが……。

足を踏んだり踏まれたりしながら、カメラを掲げて「プレスなんで通してくれ！」とアピールし、人ゴミをかき分け……。リングサイドにたどり着いた時には、すっかりヘトヘトである。

リングが設置されたステージから周囲を見渡すと、91ページの写真のような光景が360度広がっていた。それだけの人々がみなローソクに火を灯し『国王賛歌』を歌う。まさに壮観の一語だ。

タイ国王生誕記念大会
12.5★タイ・王宮前広場特設リング

▶魔裟斗の相手は当初、ビッグネームのオーローノーが予定されていたが、最終的にスリヤーという選手になった。1Rから積極的に前に出た魔裟斗だが、サウスポーのスリヤーの攻撃に阻まれ、サリを倒したパンチも空転させられてしまう

ああ〜、タイ人のうまさに、ペースを握れないまま敗退　殺気が空回りしていく…

このままじゃ終われねぇぞ！

▲スリヤーの攻撃はパンチ、蹴りともに左一辺倒だったが、タイミング、強さともに絶妙。魔裟斗は自分の距離で闘うことができなかった

◀控室として、運動会の本部席みたいなテントが使われていた。バンテージをほどきながら、魔裟斗は「まだまだこんなもんなのかなぁ…」と沈んだ表情。しかし1月のオワリ戦へ向け「却って気が引き締まって良かった」と語っていた

★第5試合/IWMスーパーウェルター級タイトルマッチ
○スリヤー・ソー・プルンチット（5R判定）魔裟斗●
〈タイ〉　〈シルバーウルフ〉

◀リングサイドで[illegible]前の試合が行われている間にリングの近くまで来てしまう段取りになっていた

世界中から選手、プロモーターが集結　めざすはK−1？

◀最終第10試合には、ニュージャパンキック・東京北星ジムの楠本勝也が登場。サムライをイメージしたコスチュームで入場した楠本は、1Rにローキックを決めて見事なKO勝ちを収めた。ちなみに大会が終わったのは夜中の2時過ぎ！

▲アトランタオリンピックのボクシング・フェザー級で優勝、タイ初の金メダリストとして国民的英雄となったソムラック・カムシンも出場（元々はムエタイの選手なのだ）。久々の試合だったが、後ろ回し蹴りやジャンプしてのヒジ打ちなど、大技を連発して会場を沸かせていた

▲TV中継の開始に合わせて、開会式も行われた。世界各国からプロモーターが集まった中、ニュージャパンキックの藤田真理事長、MAキックの山木敏弘会長も出席。また、スモークや色とりどりの照明などの演出もあり、K−1的な洗練されたイベントをめざしているようだ

ホッとする間もなく、オープニング・セレモニーが始まる。ちょ、ちょっと待ってよ。聞いてた時間より全然早いじゃない！　どうやら、予想以上に早くから人が集まったため「じゃあもう始めちゃおうか」って感じだったらしい。しかも、以前聞いてた対戦とまるっきり違う。魔裟斗の相手も、当初予定されていた強豪・オーローノーから、スリヤーという選手に変わっていた。じゃあオーローノーは欠場なのかと言えばそうではなく、なぜかオーストラリアのジョン・ウェインと闘ってたりする。

さて、肝心の魔裟斗の登場は5試合目、TV中継が始まってからは2試合目だ。結果は判定負け。サウスポーのスリヤーに前進を阻まれ、得意とするパンチの距離に踏み込むことができなかった。タイ人のうまさにしてやられた格好で、魔裟斗としては一番悔しい、不完全燃焼の負け方だろう。ただ、海外でしんどい試合を経験するのは決してマイナスにならないはず。来年1月のオワリ戦で、ひと回り成長したところを見せてくれるんじゃないだろうか。

魔裟斗の試合以降も、オーローノーVSウェイン、ソムラック・カムシン、ハッサン・エタキなどビッグネームが続々と登場していった。結局、大会が終了したのは夜中の2時すぎ。そのまま一睡もせずに早朝の飛行機で日本に戻り、この原稿を書いている。ツライなんてもんじゃない。それでも「来年も行きたいか？」と聞かれたら「行く」と答えるだろう。こんな凄い経験ができるのは、たぶんこの大会だけだろうから。

（橋本）

21世紀格闘技界へのメッセージ。猪木さん21世紀をどうするつもりですか?

行くダーッ!!
来るダーッ!!
2001年猪木のダーッ!!

アントニオ猪木総合プロデュース
Millennium Fighting Arts
INOKI BOM-BA-YE
イノキ・ボンバイェ

2000.12.31[sun]▶2001.1.1[mon] OPEN/17:00 START/19:00 大阪ドーム

■主催／毎日放送／大阪ドーム／株式会社ステージア ■後援／SKY PerfecTV!／FM802 ■協力／株式会社ドリームステージエンターテインメント ※地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ドーム前千代崎駅」下車徒歩すぐ ※JR大阪環状線「大正駅」下車徒歩約7分

総合プロデュース／アントニオ猪木 決定対戦カード 桜庭和志 VS ケンドー・カシン

参戦予定選手／髙田延彦、アレクサンダー大塚、マーク・ケアー、マーク・コールマン、ケン・シャムロック、ゲーリー・グッドリッジ 他

※選手のケガ等により一部の選手およびマッチメイクが変更となる場合があります。※決定対戦カードは12月5日現在のもの。

入場料金 全席指定 消費税込 VIP(ビップ) ¥50,000 RRS(アリーナ) ¥20,000 S席(スタンド) ¥12,000 A席(スタンド) ¥6,000

チケット絶賛発売中!!

●チケットぴあ／店頭発売06-6363-9999・06-6363-9966(Pコード=600-684) ●ファミリーマート店舗発売(Pコード=600-684)
●ローソンチケット06-6387-1900・06-6369-6633(Lコード=55869) ●ローソン店舗発売(Lコード=55869) ●ダイエーOMCプラザ店舗発売
●リングソウル店頭発売 ●ソルナ店頭発売 ●バディスラム店頭発売 ●チャンピオン店頭発売 ●チケット&トラベルT-1店頭発売 ●公武堂店頭発売
●eプラス(イープラス) http://eee.eplus.co.jp/west/ ●ドリームステージ 03-5775-5700 ●ドリームステージ オフィシャルサイト http://pride.jside.com
●大阪ドーム 前売券発売所

会場直行バスツアー決定! 出発地:東京・横浜・名古屋・富山・金沢・岡山・広島・博多全8主要都市
お問い合わせ先:近畿日本ツーリスト株式会社 TEL03-5467-8306 (月)~(金) 9:30~17:30 www.knt.co.jp/tkr/fight

SKY PerfecTV! LIVE SPECIAL 完全独占生中継!!
12/31 19:00~ ch.119 パーフェクト チョイス

さらに、再放送も ON AIR!
1/1 2:00~ ch.122 パーフェクト チョイス
1/1 13:00~ ch.122 パーフェクト チョイス
1/2 8:00~ ch.122 パーフェクト チョイス

生中継・再放送ともに視聴料金:¥1,500／回
視聴の際は電話線接続が必要です。
お問い合わせ:カスタマーセンター TEL:0570-039-888 <10:00~20:00>

お問い合わせ先／株式会社ステージア TEL06-6344-4441 株式会社ドリームステージエンターテインメント TEL03-5775-5700

毎日放送 stage2

Showは見た！ 独占潜入レポート！

海を越えた闘魂伝承

練習後の集合写真。前列右からリコ・ロドリゲス、バス・ルッテン、猪木、ケン・シャムロック、後列右からマーク・コールマン、ゲーリー・グッドリッジ、マーク・ケアー、ジャスティン・マッコリー。それにしても凄いメンバーだ！

最強ガイジン軍団に、猪木イズムを注入！

12・31大阪ドームの『INOKI－BOM－BA－YE』のパンフレット取材でLAに出向き、指定された某ジムに赴くと、そこにはもの凄い光景が広がっていた。なんと猪木がPRIDE常連ガイジンを相手に指導を行っていたのだ！　これは『SRS・DX』に掲載してもらうしかないと、急きょページを設けてもらった。ということで他誌に先駆けて、その模様を独占でお届けする！

取材＆撮影◎"Show"大谷泰顕

コールマンが、ケアーが、シャムロックが……、

猪木の眼を見よ！

猪木と熱血スパーリング！

▲見よ、この目を！　猪木の張り手がケアーを何度も襲う！　思わずたじろぐケアー。「霊長類最強の男」も形無しだ

▲他の選手の動きを確認する猪木とその他の選手。さて猪木の採点は？

▲レスリングのメダリストでもあるコールマンを相手に、猪木はバックを取られた際の切り返し方をレクチャーした

▲練習の最初は受け身から。一つひとつ猪木はアドバイスをおくっていた

す、す、凄いものを見てしまった！　なんと12・31『猪木祭』に向けて、猪木がガイジン選手をロスに招集。直々に闘魂の注入を行ったのだ。

マーク・コールマン、マーク・ケアー、ゲーリー・グッドリッジ、ケン・シャムロック、バス・ルッテン、リコ・ロドリゲス、ジャスティン・マッコリー……続々と集まってくる青い目の猪木軍団。いやはや、こんなメンバーが揃っただけでも壮観だが、彼らにこれから猪木流の闘いの奥義が伝授されるというのだから、これはもう興奮せずにはいられない！

まず最初は、全員が入れ代わり立ち代わりリング上で受け身の練習。途中からは猪木が闘魂棒を持ち出し、受け身のバリエーションを指導する。慣れていないだけに四苦八苦していたが、みんなの顔から新しいものを習うぞ、という気概が感じられ、時折、笑顔さえ漏れる。

猪木が細かくポイントをレクチャーすると、その声に対して真摯に耳を傾ける選手たち。遂にはその一人ひとりを相手に、まさに実戦ばりのスパーリングを仕掛けていく猪木。いったい何が行われているというのだ？　自分の目を疑ってしまう……。

猪木VSケアー、猪木VSコールマン、猪木VSルッテン……、そんな夢のような光景が眼前で展開されていく。猪木の張り手が何度も飛び出し、グラウンドで相手を捕らえると、ねちっこい攻防が続く。実際に肌を合わせ、猪木は全選手の能力を推し量っているかのようだ。野獣性を全面に押し出すコー

コールマンのコメント

「イノキに今日習ったことは、アメリカにある(WWFのような) スタイルとはかなり違う。かといってNHBとも違う。あえて言うなら、これがイノキの言う『ファイティング・アーツ』なのかもしれないな。もちろんまだ私もそれがなんなのか掴めていない。探索中だ。ただ、もう少し練習を重ねれば分かってくるとは思う。なぜかって？　ここにいる連中はみんな才能のあるヤツばかりだからさ」

ケアーのコメント

「まだ慣れてないけど、NHBとは違うペースで動けるね。考えながら動けるのが凄くエキサイティングなんだ。それよりイノキは何歳？　えっ、57歳だって！　信じられないよ。あんな動きができるなんて」

シャムロックのコメント

「イノキの動きは独特で、トリッキーな動き方をするんだ。私が過去に闘った相手としてはフジワラやフナキに似ている印象を受けた。原点はイノキにあったんだな。スパーリングはシリアスだった。傷つけようとしたわけではないが、つい熱くなってしまったよ」

ゲーリーのコメント

「とにかく驚いた。最後に余興でみんなでイノキにレッグレスリングを挑んだが、全員が完敗してしまった。あの強さはいったいどこからくるんだ。本当に彼を尊敬している。彼のためなら110％の協力を惜しまないつもりだ」

ルッテンのコメント

「イノキは素晴らしい。さっき話をしたけど、凄く柔軟な考え方をしている。今日は新しい試みだったけど、興奮した。あと2、3回練習すれば、もっと慣れてくると思うよ」

猪木のコメント

「みんな超一流ばかりだから、俺なんか出る幕じゃないんだけど、ついついね（笑）。まあ、確実に21世紀は変化するから、その中で『プロレスラーとは何か？』をどう表現するか。今日はその先取りをしているようなね。みんな誰かがやってほしいと思ってたみたいで、こっちよりも彼らのほうが望んでたみたいだね。こだわりを捨てて、心を開いて、みんなの言葉に応えられる器になってほしい。俺？　やるならもうちょっと練習してからやりたいね（笑）。だからまあ、ひとつ大事なことは、スピリットというか、精神を残すこと。ズバリ言えば闘魂の遺伝子を植え付けるのが俺の役目というか。やはり安住の地に腰を据えたと思った瞬間に、時代がそれを追い越していくから。まあ、当日は面白くて凄くて、迫力のある、みんながビックリするようなことを見せますよ、ンムフフフフ」

分かったか、コツがっ！

▲まるでスパーリングとは思えないほど、猪木とシャムロックのスパーリングはスイングした。かつて藤原に言ったように「分かったか、コツが！」と言ったような……

▲両者の間から、なんとも言えない笑みが漏れた。これは厳しさの中にも楽しさがあったればこそだろう

▲寝技でも終始、猪木がリードしてスパーリングの主導権を握っていた

▲猪木の鋭い眼光が選手たちに向けられ、緊迫した雰囲気の中、行われた闘魂トレーニング

ルマン、意外にも緻密な技巧派のケアー、身体能力抜群のルッテン……、猪木によって選手それぞれの能力が引き出されていく。

その光景を、最初は静かに見ているだけだったのがシャムロック。きっとWWFで活躍した実績を持つシャムロックだけに、当初はWWFスタイルを全員に教えようとしていたのではないか。それが猪木にその気がないことを知り、どう対処しようかと思案していたのかもしれない。

そんなシャムロックも、ついに猪木と対峙する瞬間が来た。すると、これが思わず僕も興奮してしまうほど、熱のある闘いが繰り広げられたのだ。シャムロックは自らのWWFスタイルを封印し、猪木スタイルで応戦しようとする。それは両者の絡みが終わった瞬間、その場にいた選手たちから、思わず拍手が起こったほど。それほど熱く、濃密な闘いだった。

まさに海を越えた闘魂伝承が行われた瞬間である。そんな猪木を全員が一様に「素晴らしい。動きも素早いし、肉体もシェイプされている。とても57歳とは思えない」と大絶賛。それぞれが猪木から何かを感じ取ったようだ。

それはそうだ。強者は強者を知る。ここにいる全員に強さは備わっている。NHBだろうとプロレスだろうと、強さこそ必要最低限の条件。逆に言えば、これにそれぞれのキャラクターを活かしたファイトスタイルが加わったら凄いものになるのは間違いない。

ついに猪木は21世紀に向けて日本のみならず、世界に目を向けた闘魂戦略を開始したようだ。■

LAにて電撃決定！

12・31髙田&武藤タッグ結成！

▲一枚の写真に、この三人が収まるなんて……、このスリーショットはたまらない！

対戦相手は
ケン・シャムロック&
ドン・フライか!?

髙田の「武藤とシングルで闘いたい」という発言で、その後のなりゆきが注目されていた12・31『猪木祭』。髙田が急きょ渡米し猪木と会談後、LAにあるホテルで正式発表の会見に臨んだ。出席者は猪木、髙田、武藤の三者。本誌ではいち早くこの模様をお届けする——。

▲ついに実現する髙田&武藤の強力タッグ。世紀末の最後はこのコンビが締める！

緊急記者会見全速報！

猪木 どうも今日はありがとうございます。えー、今回お集まりいただいたわけですが、大変難しい難題というか、まあ、あえてその難題に向かっていくのが趣味だったり（笑）、2人の過去のいきさつや何かがありましたが。えー、そういう意味で、本来はシングルで闘ってもらいたいという意向もありますが、そういう要望の中で、これからプロレス界がグローバル化していく中で、どちらかと言えば日本が世界に目が向かない、逆の方向に進んでしまったんじゃないか。そんな中で世界に逆発信ということで、2人になんとか力を合わせてもらいたい。そういう起爆剤になってもらいたいということで、昨日は説得というより、俺が通ってきた人生論みたいな話をしました。で、今回は気持ちよくタッグを結成しようと。そして、ひとつ大きな波を起こしてもらおうと。そんなことで結論に達しまして、今日記者会見に臨んだわけです。まあ、あの〜、再三申し上げているとおり、インターネットの時代に際しまして、我々のプロレスがかつて力道山先生の下に輸入され、また逆に言えば我々がアメリカのプロレス以上に進化をして、かつてはアンドレ、あるいはハルク・ホーガンらトップを取った選手たちが日本のリングで技を磨いて、アメリカに帰ってきて大スターになったという経緯があります。それが逆に今、アメリカの大ブームの中で、日本が置いてきぼりになりそうな感じでありますので。そういうことでアメリカとはまた違った、そして今申し上げたようにグローバル化、これから中国とかインドとか、いろんな世界中のマーケットに向けて、我々がそれに対応できるような、プロレスを作ってもらいたい。そんな私の夢が今回の12月31日、ホントにこれから参加してくる選手たちも超一流の実力を持っているというか、プロレスラーとしてどれだけの力が出せるかという、大変難しい問題の中で、みんなが私の趣旨に賛同してくれまして、昨日はちょっとあるジムでトレーニング致しましたが、大変みんな熱心で。まあ、まずはルール説明ということでですね。ルールもちょっと変化してますんで、私も分からない部分があったりするんですが、そういう中で、大変オーラが湧き上がったような練習を、昨日はできたと思うんですが。そういうことで、何はともあれ、素晴らしい試合を期待したい。とりあえず今日は2人がタッグを組むということで、対戦相手の候補としては、とにかく最強軍団でぶつかってもらいたいというようなことで、要望はドン・フライとケン・シャムロックというのが上がってます。このシャムロックとドン・フライというのは犬猿の仲で、どうも顔を見たらケンカになりそうなんですが、これももしかしたらタッグが組めれば、素晴らしいタッグになるんではないかと。そういうことでちょっと今、時間がかかってますが、とりあえず今、発表をさせていただきます。

高田 まあ、あの〜、今猪木さんが全てお話しをされたことで、僕の気持ちは含まれてますし、昨日、猪木さんのお話を長い時間、自分が聞かせてもらいまして、その中でひとつのものにこだわらずに、やはり21世紀に向けて、武藤選手もアメリカで大活躍している選手ですし。新しいものを世界に向けて発信すると。僕らに向けてというよりも世界に向けて発信する、そういう大きな意味での、やはり今回は武藤選手と気持ちよく組ませてもらいます。で、相手選手には最強の選手を、猪木さんのマッチメイクで組んでもらいたい。最高の素晴らしい21世紀に向けた試合をできるように、今それに向けて頑張る、というふうに気持ちを切り替えて日本に帰りたいと思います。以上です。

武藤 えー、猪木会長が「このリングには美味しい物が落ちてるぜ」というようなことを言われたので、ま、美味しい物を拾いにやってきました。必ずなんか美味しい物を味わって帰りたいと思います。

——高田選手におうかがいいたしますが、バーリ・トゥードからプロレスに方向転換されるということですが、それに当たって、どういう気分でプロレスをされますか？

高田 そうですね。前にも言いましたけど、この大きなイベントで、4年ぶりなんでね。若干の……。

——間の違いとかそういったものがあると思うんですけども。

高田 そうだね。まあ、ありますけども、十何年もやってるんで、えー、まあ、短いバーリ・トゥードよりも体に染み込んだものがリングの中にあるでしょう。やはり、出さざるを得ない。リングの中にたぶん4人入ります。そしたらそれを出さざるを得ないメンバーになってくると思います。まあ、少しそれに向けて体もならそうかな、と思ってます。恥をかかない、いい結果が出せるように。せっかく21世紀に向けた大きなイベントなので、それに見合うような試合ができるように、あと20日ありますが、日本に帰って準備をしたいと思います。

——高田選手と武藤選手に。対戦相手に希望はありますか？

〔顔を見合わせる2人〕

武藤 とりあえず、今の試合しか考えてないんで。

高田 アハハハハ。

武藤 とりあえず自分の場合は、WCWで今、働いてまして、契約というものが、もうすぐ切れるんですが。正直言ってこのアメリカで、ダンスみたいなプロレスをやってて、今度それを日本に戦場を移さなければならないっていう時に、なんていうのかな。とりあえず一番最初から厳しい、丁か半かどっちに出るか分かんないけど、厳しい相手に行ったほうがいいんじゃないかと思って。やっぱりシャムロックとかドン・フライが最もそれにふさわしい選手じゃないかと。

高田 はい。僕も同じような意見なんですけども。えー、まあ、あんまり自分がゆとりを持って試合ができないほうが、今まで眠りかけてるプロレスに対する思いとか、あとは体も含めてですね、そういうものが出てくるんじゃないかっていう気がするんで。やはりガムシャラに必死にならないと力が出せないっていうか、そういう相手のほうがいいと思いますんで。やはり超一流の選手で。今言ったようにケンとかドンが相手であれば、100%自分の力が自ずと出ていくんじゃないか、という思いがありますんで、第一希望としてはこの2人かな、というふうに思ってます。

——2人でタッグを組んだことはありますか？

高田 何度もあります。合体殺法を（笑）。それも阿吽の呼吸で覚えていると思います。

——31日のメンバーとかカードはいつ頃に？

猪木 ギリギリになりそうですね。あといくつか今、ほぼ決まりつつありますけど。

——日本で橋本真也選手が参戦を希望したそうですが？

猪木 はい。彼の要望もありますけどね。その要望じゃあ面白くないな、という感じでですね。これも、最強っていうのは何人いるのか分かんないんだけど、ここに参加する予定になってます、コールマンもいますし、マーク・ケアーもいますし、その連中を全部、小川（直也）も含めていいカードができればなと。まあ、あの〜、我々の事情でどうだってことじゃなくて、逆にファンから見た時に、このカードを組ませたい、というようなことを実現できればなと。まあ、（高田と武藤も）将来は1対1で決着をつけなきゃいけないのかもしれないけど、その部分はさておいて、この道を行けばどうなるものかと、発進をした中で、何かが生まれてくると思います。もうひとつ言えば、新日本もブッ潰してくれと（笑）。（高田＆武藤の）強力タッグで。まあ過激な発言になりますけど、そのくらいにいろんなものが眠りかけてるのを、目を覚ましてもらわないと困ります。まあ、そういう意味では絶妙のタッグができるんじゃないかと思います。相手も、シャムロックとドン・フライというのが決定した場合には、これはこれでプロレスも経験してますし、両方経験してますから。一番手強い相手なんじゃないかと思います。はい、じゃあ！ ■

▶会見後、LAの海岸に猪木とともに繰り出した高田＆武藤。マット界の明日は見えたか？

▶雑談のなか、自然体で微笑む高田の表情が光る。これなら当日のチームワークも万全だろう

両者に告ぐ！ PRIDEに逃げるな！ 試合もレポートもやりなお〜し。

アレクとジャイ落が、誌面でもレポート対決！

▲10・31『プライド11』の試合後の会見場にジャイ落が「お前の時代は終わってんだよ、アレク！」と言って乱入したことから端を発したこの闘い、まずは、ジャイ落が上からパンチの連打。ここまでは『プライド』のリングと同じような展開だったが……

あのジャイ落が5,126人のプロレスファンの前で堂々のバックドロップ！

▶6月のアルティメットボクシング旗揚げ戦で「オ〜、イエ〜イ！」と笑撃的（？）に格闘家デビューしたばかりのジャイ落。アレクに「ここはバトラーツのリングなんだ！」と一喝され、魅せた技の一つがこのバックドロップ！ 観客も大きくどよめいた

▶アレクをコーナーに追い込んでパンチ、キックを見舞ったあと、高い位置からのボディスプラッシュ！ 減量してお腹ボヨ〜ン度は低くなったジャイ落だが、その後ダウンしたアレクは「肉厚だったので効いた」とのことだ。さすがは宇宙デブ！

▶ジャイ落、調子に乗って今度はブレーンバスター！ アレクも「イイぞ〜、この調子、この調子」といった表情で、先輩レスラーぶりを発揮

これがジャイ落の宇宙デブ・アタックだ！ お腹ボヨヨヨ〜ン！

撮影◎山口比佐夫

相手の土俵で闘うということは、非常に恐ろしいものであり、踏み込みづらいもの。しかし、ジャイ落はプロ格闘家としてデビューしたばかりなのに、あっさりとプロレスの世界に足を踏み込んできた。プロレスをナメるなよ！ ジャイ落、ワイがプロレスの奥深さをキッチリと教えてやろう。しかし結論から言えば、プロレスの奥深さを痛感したのはワイのほうであり、この試合はワイの惨敗だったのである……。

こんなスッポリ（アッサリ？）終わってしまっていいのか？ ジャイアント落合は、プロレス向きではなかったのか？ こんなもんじゃないだろう？ そんなことを思いながらワイは試合中、闘っていた。そして、いつものようにどうやって相手の長所を引き出し、料理してやろうか、などと。

だが、しょせんワイも五年選手。レスラーとして、デビュー戦の相手さえも手のひらの上で転がせるほどの域ではなかったのだ。プロレスに惨敗！ ま、試合結果自体は完勝なんだけど……。

ジャイ落も自ら踏み込んできたわりには、「こんなはずじゃ……」と思っているに違いない。プロレスは本当に甘くないのだ。だとすれば今後どうあるべきなのだ、ジャイ落！ そして、ワイ！ 両者とも「きばりんしゃい！」

そういえばたった1つ、ゴング直前になってワイにはある誤算が生じていた。それはジャイ落の見た目がジャイ落らしくなく、ヒゲも剃ってスリムになっていた事だ。ま、それも言い訳にならないことは百も承知です……。　（アレク）

フィニッシュは逆エビ固め。逃げようと必死にもがくジャイ落だったが、あえなくレフェリーストップに。最後までギブアップはしなかったジャイ落、次はもっと凄いコトしてくれ！

アレクが逆エビ固めでフィニッシュ しかし、ジャイ落はギブアップせず！

▼アレクもジャイ落の巨体を捕まえ、豪快にジャーマン！　でもやっぱり重かったのか「宇宙までぶっ飛ばしてやるって言ってたんですけど、そこまではダメでした」（アレク）。イヤッ、投げて〜！

宇宙までブッ飛べ、ジャイ落！（でも重くて届かなかった……）

▶アレクが足を取って4の字固め。ちなみに今までアゴにモサモサっと生えていたヒゲを、今日は全部剃ってきたジャイ落。減量もしちゃったし、個人的にはとっても寂しいぞ！

★第8試合
○アレクサンダー大塚（15分02秒、レフェリーストップ）ジャイアント落合●
〈バトラーツ〉　〈怪獣王国〉
※逆エビ固め

アレクのコメント

「ジャイアント落合と対戦してみて、改めてプロレスの奥深さを感じますね。闘う場所がバトラーツっていうプロレスのリングになって、その枠にはまって彼自身も途中から僕の懐にも入ってきてくれたりして、その辺は凄く感じました。彼自身はプロレスラーを目指してプロレスラーになったんじゃないっていう、そういう人間のデビュー戦だとすれば、まぁ、70〜80点。まだまだ彼の良さを引き出せなかったっていう僕に課題が残りますね」

▲フラフラと起きあがったジャイ落に、アレクがコーナーからのダイビング・ショルダー！　ジャイ落は思わず奇声を発する

スピニング・トーホールドって こんな感じ……？

▲写真では分かりにくいが、ジャイ落がなんとスピニング・トーホールドに挑戦。まだちょっと不安げな表情だけど……

▶試合後、リング上にDSEの森下社長が上がりアレクを激励すると、ジャイ落は「大塚さん、もうチョイだろう俺、あんたんとこまで。森下社長、『プライド』でやらしてください！」と、再戦を直訴！　実現するのか!?

格闘技とプロレスは同じようなモノだと思っていた。しかし、実際にリングに立ってみるとまったく違った。

プロ格闘家として今まで3試合闘ったが、格闘技のリングではまず「勝つこと」が第一にくる。その中で僕は「観客を沸かせる」というテーマを持ってリングに上がっていた。今回はそれに「いかに観客を満足させるか！」という新たなテーマが加わり、凄くプレッシャーになった。

プロレス初参戦の今回、僕の技術的テーマは、間の取り方、ロープワーク、受け身の3つ。

間の取り方はうまくいったが、ロープワークはやっぱりぎこちなかった……。受け身についても、うまくできていなかったと思う。「そのぎこちなさが逆にリアリティにつながる」という試合前にもらったアドバイスが救いになったものの、これは僕の今後の課題だ。

場外での攻防や観客の魅了の仕方などには満足いく点をつけられないが、試合前ガチガチに緊張し、まさにデビュー戦という雰囲気は観客にも伝わったのでは、と思う。

今回やってみて、一番嬉しかったのは、僕のコールの時に起こったブーイングが、試合中頃から終わりにかけて歓声に変わっていったこと。凄く新鮮だったし、「プロレスのリングでプロレスをして良かった！」と、心から思える瞬間だった。

全体的に自分では「良くやったかな？」と思うが、もっと練習を積んで、観客の心を掴める選手になりたい！　少しだけどプロレスの奥深さを理解できた。（ジャイ落）

『プライド』常連の松井が"純プロレス"バトラーツ参戦で容赦ないヒールっぷりを発揮！

バトラーツの名レフェリー・島田裕二によるスペシャルレポート

今世紀最後の"一規撃ち"は石川が制すも

▶ゴング前にケンが奇襲攻撃に出た。松井目がけて思いっきりタックル！　右腕を骨折して欠場した日高郁人の代わりに出てきた新米レスラーのケンだが、気迫は十分だ！

◀奇襲攻撃を受けた松井だったがすぐにマウントを取り、ケンの顔面に容赦なくパンチを連打していく。観客からはブーイングが飛んだ！

松井が日高の代打をタコ殴りの刑に！　アーバン・ケン壮絶死!?

プロレス初参戦の松井、この日のために練習を積んだというドロップキックが見事に決まった！

プロレスラー松井のドロップキ――ック！

▲この日のためにまゆげを剃り、モヒカン頭にしてきて気合い十分のケン。高田道場の特攻隊長・松井を相手にあえなく敗北するも、5,126人の観客に妙なインパクトを残した

モヒカン&赤パン&まゆげナシ！　これがアーバン・ケンだ――！

▲モヒカン頭、孫悟空っぽい赤パン、しかもまゆげナシ！　試合には負けたが、今日の裏ＭＶＰはお前だ！

★第4試合
○松井大二郎（4分50秒、裸絞め）アーバン・ケン●
〈髙田道場〉　〈バトラーツ〉

◀試合が終わるや今日松井とやるはずだった日高が乱入。「ケンに勝ったくらいで勝ち誇ってんじゃねえ！　1・7の後楽園でプロレスの洗礼を浴びせてやる！」とマイクで絶叫

▶松井もリングサイドから「テメー、できんのかコラァ！　レスラーなら殺し合いをしろ！」と日高に応える。1・7後楽園ホール大会でも、松井の非情ぶりが見られるのか!?

▲松井の裸絞めで、ついにダウン。しかしケンは意外にも気合いの入ったプロレスで観客を大いに沸かせ、その妙に気になるルックスを観客の目に焼き付けた

『プライド』でおなじみ髙田道場の特攻隊長・松井大二郎がバトのリングに初参戦した。普段は礼儀正しい好青年なのだが、いったんリングに登ると顔ツキが豹変する男、それが松井だ。先輩の桜庭の活躍の陰に隠れているように見えるが、あの桜庭と毎日練習しているのだから弱いわけがない！

「日高の野郎、調子に乗るな！」そう、コトの発端はバトの後楽園大会で起った。共にセコンドについていた者同士の小競り合いが、遺恨試合へと発展。だが日高は右腕骨折のケガが治らず無念の棄権。キャリアは浅いが勢いを買ってアーバン・ケンが対戦相手に！

アーケン（通称）は、なんと気合いを入れるために眉毛を剃り、モヒカン頭で臨戦態勢。試合開始早々、派手なタックルを決めるが、いかんせんテクニックは松井のほうが上。すぐにマウントを取られタコ殴りに。アーケンがロープに逃げても容赦ない松井の攻撃に会場からは大ブーイング！　そこへなんとこの日の為に練習してきたという、松井の見事なドロップキックが決まる。やられた！　松井のほうが一枚も二枚も上手だ。なすすべなく敗れたアーケンだが、妙に観客の目を引き付けたのも事実。「裏ＭＶＰはアーバンだね」と言いながら帰るファンも多数いた。

今日のケンの目には、紛れもなく石川雄規が伝えた猪木イズムが溢れていた。アーケン胸を張れ！今日の試合は良い財産だ。

だが、このまま逃がすすバトじゃないぜ。１・７後楽園ホールで松井を追い詰めてやる。ホール行かねば！（新ペンネーム／島裕次郎）

今世紀最後の"一規撃ち"は石川が制すも村上の怒りは収まらず。1・7後楽園ホールで再戦決定！

▲青山ちはるも試合の「立会人」として観戦。村上が失神して負けるや歓喜の表情を浮かべ、足早に控室に去った

▼場外に放り出された石川を村上が執拗に追い回し、またも激しいキックの連打。乱闘は客席まで及び、散々背中を蹴られまくった石川なのだが、このあとどこか嬉しそうだったのはなぜだ？

◀序盤から殴りまくり、蹴りまくり、キレまくりの村上。コーナーに追い込んでさらに両足で踏みつける！　ちなみにこの試合のみ、レフェリーストップ及びドクターストップなしの特別ルールだった

テロリストvs燃える情念 因縁だらけの睨み合い対決！

▲試合前、リング上で睨み合う2人。特に村上は石川への怨念からか、憎しみがそのまま顔に出たようなもの凄い形相！　石川は『FLASH』誌上で村上とのスキャンダルを暴露した青山ちはる（元AV嬢）と一緒に入場し、村上をさらに激昂させた。村上は新婚なのに……

ブチキレまくりだった村上も石川のスリーパーで安らかに失神！

★第9試合
○石川雄規（8分36秒、KO）村上一成●
〈バトラーツ〉　〈UFO〉
※裸絞め、失神

▲再びリングに戻り、今度は石川が村上に延髄斬りを入れ、その後スリーパーへ。ガッチリと極められた村上はそのまま失神してノックアウト。試合前から話題を振りまいていた今大会メインの「一規撃ち」は石川雄規が制した

◀リングから去る村上に、石川は得意のエロ社長スマイルで「村上ー！　俺達はリング上が全てなんだ。スキャンダルなんかどうってことねえよ！　21世紀、何度でも這い上がってこい！」とエール（？）を贈った。失神KO負けを喫した村上は、控室へ戻る途中もまだもの凄い形相のままだった

その他の試合をダイジェストで

◀今回もっとも試合展開が読めず、その分楽しみだったのがこの「体重差57キロ」対決！　突っかかっていく小野は大刀光に思いっきりぶっ飛ばされたりしていたが、シコを踏んで相撲で勝負しにいったり、ロープ際で弓矢固めを決める小野にファンは大盛り上がりだった

★第3試合
○大刀光（7分18秒、裸絞め）小野武志●
〈SPWF〉　〈バトラーツ〉

◀3度目の防衛戦となる平だったが、臼田の「バトラーツのジュニアを俺が背負っていくためにも、ベルトを奪回する！」という決意の元に敗れた。平はグラウンドに持ち込んだり、鋭い蹴りで臼田を翻弄しようとする。だが平の仕掛けるトリッキーな攻撃に、臼田は「相変わらず掴み所がないんで、やりにくかった」とは言いながらも、冷静に対処していった

★第6試合（プロレスルール）インディペンデント・ワールドJrヘビー級タイトルマッチ
○臼田勝美（9分52秒、レフェリーストップ／裸絞め）平直行●
〈挑戦者/バトラーツ〉　〈王者/R to R〉

▶最後はスリーパーを決めてレフェリーストップ勝ちを収め、第5代王者となった臼田。今後は「バトラーツのジュニアの中心人物の田中が抜けてしまったんで、つまんないって言われたんじゃ悔しいんで、言われないよう頑張って。それで俺らが頑張ることが、田中に対するエールになると思うし」と新たな決意を語った

◀外国人最強決定戦はラスタマンの猛攻撃で4回のダウンをもらったカールだったが、最後はカール・シックルで逆転勝利！

★第1試合
○カール・マレンコ（7分19秒、カール・シックル）ラスタマン●
〈バトラーツ〉　〈IWAプエルトリコ〉

▶同期対決となった第2試合では、チキンウイング・フェースロックでjunjiが勝利した

★第2試合
○junji.com（7分36秒、羽根折り顔面絞め）土方隆司●
〈バトラーツ〉　〈バトラーツ〉

★第5試合（プロレスルール）
○タイガーマスク（12分28秒、小包固め）佐野なおき●
〈みちのくプロレス〉　〈高田道場〉

▲新旧ジュニアの初対決。佐野の熟練したテクニックの前に苦戦したタイガーマスクだったが、最後は小包固め（スモールパッケージホールド）で勝利。タイガーは「やっぱり一発一発重いし体も重いし、気迫が全然違った。オレのほうが全然若いのに、これじゃ今のジュニアはダメですね」と反省

★第7試合
○長井満也（15分47秒、ヒザ十字固め）モハメドヨネ●
〈フリー〉　〈バトラーツ〉

▲8月のシングル戦以来3カ月間、タッグでは当たっているが一騎討ちの機会を待っていた両者の対決。出だしからバッチンバッチンとやり合う両者。長井が試合後「前回、腕を集中的に攻めてたので、今回はヒザを狙おうと思って」と語っていたとおり、ヨネのヒザを抱えての逆エビから、フィニッシュでのヒザ十字固めにいくまで、効果的にヒザを攻め続けた。ヨネも筋肉バスターを繰り出してファンを沸かせるも、長井の徹底したヒザ攻撃の前に敗れた

黒い王子の純粋な野望

えっ、宇野薫が〝チーム2000〟に!?

メインで三宅靖志と対戦した宇野薫。なんとセコンドともども『TEAM2000』の文字が入った真っ黒なコスチュームで入場した。単なる気分転換か、ファンサービスか、それとも意識改革？

★第9試合/メインイベント（5分3R）
○宇野薫（判定60-58）三宅靖志●
<和術慧舟會東京本部>　<RJW/MAXERCISE>

『コンテンダーズ』の競技性における最大の特徴は、「打撃がない」ということにつきるだろう。

組み技オンリーのルールであるがゆえに、選手にとっては参加がしやすく、だからこそ様々な団体から選手が集まるのだが、一方で「試合が地味」という印象も、拭い難くあるのは否めない。

レフェリーは試合前に必ず、選手に「積極的に一本を狙っていくように」と言うのだが、実力が拮抗すればするほど、一本での決着は生まれにくくなるもの。ヘタをすると、「これってスパーリング？」と思えてしまう試合もある。

ただ、「じゃあ、『コンテンダーズ』ってつまんないんだ」と思ってほしくはない。烏合会の矢野卓見など、こういう制限されたルールの中でも楽しめる試合をする選手は確実に存在するし、今回から導入されたタッグマッチのように、観客に「魅せる」ための試行錯誤もなされているのだ。

魅せる、という意味では、メインに登場した宇野薫の入場シーンも、観客をかなり意識したものだったと思う。普段は白い道衣で入場する宇野だが、今回はなんと真っ黒の道衣を着ての入場だ。セコンドの小路晃や廣野剛康も、全身黒ずくめの格好で、サングラスまでしている。

ん？　よく見たら、宇野のコスチュームには『TEAM2000』って書いてあるじゃないか。いったい〝星の王子様〟と呼ばれた宇野は、どこへ行っちゃったんだろう。これは単なるファンサービスなのか。それともヒールキャラとして、獣神サンダー・ライガーばりに「これからは黒でいく！」と

CONTENDERS 4
11.25★ディファ有明

五輪レスラーとの神経戦に勝利！ 宿命の12・17ルミナ戦へ視界良好

▶アトランタ五輪に出場したこともある三宅と宇野の試合は、スタンドレスリングの攻防が中心となった。互いに組み手争いで妥協せず、闘いは神経戦の様相

▼3R、前に出てくる三宅をいなした宇野は、すかさず背後に回る。しかしこれは惜しくもブレイク。宇野は「ドント・ムーブでしょう」と主張していた

宇野のコメント

「追い込まれた時はあったんですけど、前回、そこで妥協して悔しい思いをしたんで。引き込んでも、取れる気はしなかったです。課題はいっぱいあったんですけど、あと3週間、ヘトヘトになるまで練習して臨めば、悔いはないと思います。黒のコスチュームにしたのは気分転換で。一応、蝶野さんに許可は貰って」

▲あえてバックを取らせ(？)そこから桜庭ばりのアームロックを仕掛けていった宇野

〈RESULTS〉

★第8試合
○星野勇二（判定40-38）上山龍紀●
〈RJW/CENTRAL〉〈FIGHTING NETWORK RINGS U-FILE CAMP〉

★第7試合
△高瀬大樹（判定40-40ドロー）早川光由△
〈和術慧舟會東京本部〉〈ストライブル〉

★第6試合
○矢野卓見（1R3分25秒、三角絞め）五木田勝●
〈烏合会〉〈木口ワークアウトスタジオ〉

★第5試合/Experimental Double Match
△門脇英基〈和術慧舟會東京本部〉・塩沢正人〈和術慧舟會東京本部〉（時間切れドロー）村濱天晴〈烏合会〉・植野雄〈後藤柔術クラブ〉△

★第4試合
○桑原幸一（2R2分43秒、チョークスリーパー）戸井田カツヤ●
〈PUREBRED大宮〉〈和術慧舟會東京本部〉

★第3試合
○柴田寛（判定40-36）小島弘之●
〈和術慧舟會東京本部〉〈STG横浜〉

★第2試合
○倉持昌和（判定40-38）米澤迅三郎●
〈フリー〉〈烏合会〉

★第1試合
○西澤正樹（判定40-39）廣野剛康●
〈烏合会〉〈和術慧舟會東京本部〉

◀前回は足で相手の頚動脈を挟みこむという新技で勝利した矢野卓見が、今回も鮮やかな一本勝ちを収めた。サンボのトップ選手で、現在は修斗でも活躍する五木田勝を飛びつき→引き込み→三角絞めで失神葬！

▶『第0試合』としてなんと西良典VS小路晃のエキシビションマッチが実現。思わぬボーナスマッチに日本兵マニアも大マンゾク！

◀初の試みとなるタッグマッチも大成功。組み合わせも展開もタッチプレー次第でめまぐるしく変わるため、目を離すスキがない。さすがに合体プレーは出なかったが、村濱&植野組は合体パイル（ドライバー）を狙っていたらしい。ちなみに次の標的はテンコジのIWGPタッグらしい…

▲試合終了間際には、片足タックルでテイクダウンにも成功。相手にロープを背負わせ、逃げ場をなくした（バックステップできない）上で倒すという頭脳プレイだった

りに「これからは黒でいく！」という意思表示……？　間近に迫ったルミナ戦へ向けて、意識改革でもあったんだろうか。

試合内容そのものは、いつもの宇野と変わりなかった。決してあせらず、ゆっくり、じっくりと攻め手を探っていく。まして今回の対戦相手は三宅靖志。アトランタオリンピックにも出場したレスリングのトップ級選手だから、うかつなことはできないのだ。

1R、2Rとも、展開は組み手争いに終始した。ほんのちょっとしたことで勝負の行方がガラッと変わりそうな、緊張感のある神経戦だ。こうなると、体力や技術というより、頭脳や気持ちのスタミナが重要になってくるが……。

そしてこの神経戦に、宇野は見事に勝利した。3Rに入ると、宇野はバックを取られてからのアームロックなどでポイントを奪っていく。試合終了直前には、タックルでテイクダウンも奪った（五輪出場のレスラーから、だ!）。

試合は判定となったが、この3Rの攻勢がモノをいって宇野が判定勝利を収めた。昨年、修斗ウェルター級のタイトルを奪取して以降、内容も結果も芳ばしくなく、試合後に悩む姿を見せることが多かった宇野。だが、今回、精神的にタフな試合を凌ぎ切ったことはルミナ戦へ向けての大きなプラスになったことだろう。

「（ルミナ戦まで）あと3週間、ヘトヘトになるまで練習すれば、悔いのない結果になると思います」

コスチュームは真っ黒でも、宇野の心は一点の濁りもない純白であった。

（橋本）

L-1に続きもう一つ誕生した女子総合格闘技イベント「ReMix」をターザンが斬る！

女バーリ・トゥードにシンデレラ誕生 その名は藪下めぐみ、君は美しい！

文◎ターザン山本

▲試合中、ニコニコして楽しそうに試合をしていた藪下

美しい！

久しぶりに美しいものを見た。

忘れていたものを思い出した気分だ。

12月5日、日本武道館。「ReMix」無差別級トーナメント大会。正直言って客の入りはかんばしくなかった。

しかし、最後の試合が終わった時、マスコミもファンもみんな自分の心が洗われた気分になっていたという。

「来週号の週プロの表紙は、絶対に藪下めぐみだよね。でも、最強タッグの優勝チームになるんだろうなあ」

誰かがそう言ったそうだ。ほとんど何も期待していなかった「ReMix」がどんなプロレスの興行よりも、ファンの心をとらえてしまったのだから。やはりプロレスは何が起こるか分からない。

私はこの日、武道館ではなく新宿・歌舞伎町にある焼き肉レストラン『風月会館』にいた。1カ月に1回、定期的に私を囲んだ〝プロレスを語る会〟をやっているからだ。店内には大型ディスプレイがあり、私たちは「ReMix」の試合を、ペイ・パー・ビューで生中継されていたものを見ることができた。

1回戦が始まっても集まったファンはテレビに見向きもしない。やれ橋本だ、ノアだ、三沢だ、全日本だと言って雑談に夢中。それも多くはおちょくった話やふざけた話に噂話がほとんど。

たとえばあるレスラーの講演会に行ったら、集まったファンにビッグマッチのチケットを全員に配っていてショックを受けたとか、そういう話が多いのだ。

ところが藪下とグンダレンコの試合になると、みんなディスプレイに釘付け。なにしろグンダレンコは体重が150キロもある巨漢柔道家。対する藪下はそれより100キロ近い軽量の選手。

グンダレンコのあのバカでかい体は、まさに存在自体がフリークスそのもの。昔はあれがプロレスラーだった。〝お化けかぼちゃ〟ヘイスタック・カルホーンなどを、思い出させてくれるイメージがグンダレンコにはある。

「藪下ってどこの選手？ エエ、Jd'なの？ 笑ってるよ、いいね、あの笑顔は……」と言ってみんな試合に夢中になっていった。バーリ・トゥードなのに試合を楽しんでる雰囲気がある藪下選手に彼らも引きずりこまれていったのだ。

あの藪下スマイルには、私も好感をもった。そうなると〝勝って〟とか〝勝たせたい〟という気分になってくる。

本当にわずかの差で藪下が判定勝ち。その瞬間、グンダレンコはマットにへたりこみ、大粒の涙を流しながらしばらくそこから動こうともしない。彼女の陣営は激しく判定に対して抗議していた。

グンダレンコが涙する姿を見て、私はアニメーション映画『となりのトトロ』のトトロを思い出した。グンダレンコは女バーリ・トゥードに挑んだロシアのトトロである。

勝った藪下、敗れたグンダレンコ。2人とも全然、心がすれていない。最近のマット界は右を向いても、左を向いてもどこもアングル（仕掛け）だらけ。

橋本の新日解雇だって、どこまで真実で、どこまでがアングルなのか、何がなんだかさっぱり分からない。

プロレス団体の〝アングル病〟にはもううんざり。素直な気持ちでプロレスを楽しめなくなったのは「初めにアングルありき」になってしまったからだ。

それも見え見えで見え透いたアングルだから、どうしようもない。だからこそグンダレンコの涙と藪下選手のスマイルには、私は砂漠でオアシスにたどり着いた気分になった。

アングルとギミック（小道具という意味）に汚染されていないグンダレンコと藪下選手の試合は、私にとっては完全に一服の清涼剤でもあったのだ。

それまで知ったかぶりをしてプロレスの裏話のネタばかりしていた連中も、藪

の前だったので、めちゃくちゃいい仕上がりになっております。つきましては、写真をご希望される方（マスコミ関係に限らせていただきます）に当社規定よりも格安で貸し出しいたしますので、編集部までご一報ください。この写真がホントいいんだワ、こんなこれぇ！

ReMix ～WORLD CUP 2000～
12月5日★日本武道館

▲藪下に敗れた後、なかなかリングを下りずに泣きじゃくっていたグンダレンコ

▲桜庭あつこはキリっとした顔つきで入場！

下選手のファイトにぐいぐい引っ張られていき、優勝戦では『風月会館』の店内も最高のムード、盛り上がりを見せた。

やっぱりファンが求めているものはこれなんだと痛感した。彼女らが見せてくれたのが、真の「スポーツウーマンシップ」である。橋本や大仁田は私には「アングルマンシップ」か「ギミックマンシップ」にしか思えないのだ。

どちらが人（ファン）の心を打つかは一目瞭然ではないか？ 裏話と裏ネタでしか遊べなくなった不幸なファンたち。

彼らも実を言うとトトロのようなグンダレンコ、女牛若丸のような藪下選手のファイトを見たがっているのだ。

桜庭あつこもよかった。私はてっきり冷やかしか、そうでなければ売名行為と思って高をくくっていたが、入場してくる彼女の表情を見た時、私は間違っていたと、すぐに反省した。

マジだったからだ。私はテレビ東京で『ジキルとハイド』という番組があり、そこで彼女と共演したことがある。番組では「ビッグな存在になりたい。もっと有名になりたい」と叫んでいた。

今日、彼女は別人だった。だが、いかんせん対戦相手のコボチノバ・タチアナは強過ぎた。紹介ビデオが流され、タックルするシーンを見た時「これは強い。やばい」と思ったら案の定、実力は桜庭の比ではない。ただ。腕ひしぎを極められギブアップしなかった桜庭には、みんなびっくりさせられた。

コバチノバは桜庭がギブアップしないとみるや、相手の右腕をさらに左に強くひねった。桜庭あつこのことを〝大和撫子〟と言ったら言い過ぎだろうか？

優勝戦はいい試合だった。藪下選手もクーネン選手も、バーリ・トゥードの闘い方をよく学習していた。

特にクーネンは再三、マウントポジションをとられたが、長い足をうまく使って完璧なガードポジションをとる。

これで藪下の攻撃にブレーキがかかり勝機を見出せなかった。クーネンはどこでそんなことを学んだのだろうか？

〝やれ〟といってもすぐにできる話ではないからだ。セコンドにジェラルド・ゴルドーが付いていたが、その指導によるものなのか？ とにかく2人ともきちんとした〝間合い〟をとって試合をしていた所が合格点。

結果はクーネンの判定勝ちだったが彼女自身「え？ 私が本当に勝ったの？」といった顔をしていた。そこがまた私たちが心をひかれた部分でもある。

なぜ「ＲｅＭｉｘ」のリングに上がった女子選手たちは、こんなに気持ちが純なのか？ それとも我々がすれすぎてしまったのか？ どちらなのか？

いずれにしても一夜にして藪下選手がシンデレラになったことだけはたしか。「ＲｅＭｉｘ」は女子プロ界に新しい1ページを切り開いたといえる。■

ReMix～WORLD CUP 2000～

無差別級トーナメント（5分2R、決勝のみ5分3R）

- 石原美和子 vs ベッキー・レビー：2－1判定
- 八木淳子 vs フロワ・ホルマン：2R3分58秒、レフェリーストップ
- 3－0判定
- 張替美佳 vs マルロス・クーネン：1R0分33秒、裸絞め
- 1R1分25秒、腕ひしぎ十字固め
- ロジーナ・イリーナ vs エリン・トーヒル：2－1判定
- グンダレンコ・スベトラーナ vs 井上京子：1R3分11秒、ケサ固め
- 1R2分48秒、ケサ固め
- バンビ・バートンチェロ vs 藪下めぐみ：1R2分7秒、腕ひしぎ十字固め
- 3－0判定
- 決勝：3－0判定

優勝	1000万円
準優勝	100万円
3位	50万円

★スペシャルマッチ（5分3R）★

●コボチノバ・タチアナ（1R2分29秒、TKO）桜庭あつこ●

※セコンドのタオル投入

はみだし 石黒ちゃん 今大会は試合リポートをする予定でしたが、ターザン山本氏より「凄い興行だったからぁ～、総評にしたいんですよぉぉぉ！」と強い希望があったため、このようなページ構成になりました。しか～し！本誌凄腕カメラマンが各試合をバッチリ激写しており、特に桜庭戦のフィニッシュは目→

堀田に勝ち 神取、ボンバイエ!!（ヤツを叩きのめせ）

アリよ、次はあんただ!!

▲今回の『Ｌ－１』のメインは日本女子プロレス実力ナンバー１決定戦。神取が堀田を下した

▲これが偉大なるモハメッド・アリの娘にして女子プロボクサーのレイラ・アリ

堀田に勝ったあと、神取はリング上でレイラ・アリに挑戦状を叩きつけた

しかし、前号のターザンの原稿は素晴らしかった。新日本プロレスの安定志向を〝間抜け〟と言い切り、プロレスからうさん臭さを排除しようとしたＵＷＦを〝水洗トイレのようだ〟とまで断言したのだから口が悪い。『週刊ファイト』の井上譲二編集長が、今頃になってもまだ「この業界にいるべき人間ではない！」と言い出すだけのことはある切れ味！ ターザン山本、ホント、野放しにできない怖ろしい男である。

で、この日のＬ－１には、ターザンが嘆いた近頃のプロレスからなくなりつつある〝うさん臭さ〟が充満していた。客の大半が一見さん＆男だったことにもよるが、女同士の闘いということで醸し出されるキャットファイト的なゲスな空気と、〝結局、男のほうが強い〟という見下し感に会場は包まれていたのだ。こういった状態は女子的には非常に腹立たしいとは思う。

だが、アマチュアスポーツとは違って客の興奮を煽るべき〝興行〟という枠組みの中においては、これはあるべき正しい姿。その空気が嫌なら〝なんでもいいからともかく凄いこと〟をやって客の首根っこを捕まえることしかない。

天龍源一郎という〝べらぼうに強い男子レスラー〟とボコボコに殴り合う試合をすることで凄みを見せつけてきた神取忍はそれをよく理解していた。それがレイラ・アリだ。いくら堀田祐美子が強いとはいえ、強さのみを比べたら、男子のバーリ・トゥードにはかなわない。実際、神取と堀田の試合は素晴らしいものではあったが、それだけではあとにはつながるわけがない。

男という超えようがない上位概念

L-1 2000 THE STRONGEST LADY

11・22代々木第2体育館

11・22女子版アルティメット『L-1』全試合結果

○高橋洋子（1分28秒、腕挫ぎ十字固め）シルヴァナ・フルーネフェルト●

▲ヤマケン主催のクラブファイトでも小柄な空手家を相手に一方的な試合展開で勝ち上がった高橋。この日もゴルドーの弟子を初っぱなからパンチの連打で追いつめ、グラウンドの展開に持ち込んだ途端に腕十字を極めて秒殺した

▶ロスのＬＡボクシングで修行した堀田は神取とのグラウンド戦でも互角の攻防を展開。神取が腕関節を取ろうとすれば、頭突き＆顔面パンチを繰り出し一歩も引かない。５分過ぎにはスタンドの差し合いからフロントスープレックスで神取をマットに叩きつけ、そのままグラウンドに。神取の腕十字にも冷静に対応するが、すかさず神取は肩固めから裏十字へと移行、堀田は無念のマットを叩いた。結果は負けだが堀田の意地と技術に観客はヒート。名勝負となった

○神取忍（7分50秒、腕挫ぎ逆十字固め）堀田祐美子●

▶キックボクシングルールで行われたこの試合は、世界チャンプの熊谷が終始、相手を圧倒。1、2Ｒはシイキョウのハイキックを紙一重でかわして左ストレートを何度も叩き込む。3Ｒにはコーナーに追いつめて連打を浴びせるもシイキョウもムエタイ戦士の意地を見せて倒れない。最終ラウンドも熊谷が攻勢。連打を入れてスタンディングダウンを奪い、文句なしの判定勝ちを掴んだ

○熊谷直子（判定3−0）ランプーン・シイキョウ●

○タマラ・ルードゥー（21分30秒、レフェリーストップ）風間ルミ●

▲序盤戦では風間が圧倒的に優勢。タックルからマウントポジションを奪ってパンチを連打し、バックに回ってはスリーパーまで仕掛ける。だが、あと一歩の詰めが甘い。そして１０分過ぎ、タックルに入ろうとした風間の顔面をルードゥーがヒザ蹴りで強打し、この一発で攻守は逆転。風間は相手の足にしがみつくのが精一杯で、ルードゥーはパンチ、ヒジ打ちとやりたい放題。最後はカメになったところをヒジを連打されて、レフェリーストップ

○イルマ・ヘルホーフ（15分20秒、ドクターストップ）遠藤美月●

▶ボブ・シュライバーの妻であるヘルホーフはともかく顔が怖い。ロッキー４のドラゴみたいな雰囲気を漂わせるヘルホーフに遠藤は果敢に打って出るのだが、ヘルホーフの左右のパンチを何度も食らって鼻血を出し、右まぶたと左側頭部を切ってしまう。それでも決死の思いで攻め込む遠藤だがあまりの流血にドクターチェック。この時はＯＫだったが再度出血し、ヘルホーフの金髪が真っ赤に染まってしまうほどになってドクターストップがかかり、遠藤は無念の怒声を発した。結果はともあれ流血女王・遠藤の気合いが光った試合だった

▶美形同士の闘い。ゴング直後にいきなりクーネンのパンチが久保田の顔面を打ち抜き、これで久保田は意識が飛んでしまう。それでも向かっていく久保田だが、再びパンチをもらってダウン。なんとか立ち上がり、グラウンドに持ち込むもののクーネンは冷静に下から腕十字を取ってタップを奪う

○マーロス・クーネン（2分37秒、腕挫ぎ十字固め）久保田有希●

ではあとにはつながるわけがない。男という超えようがない上位概念に対して、どんな上位概念を持ち出すかがこの日の勘所だったのだが、それを神取は見事に提示してみせたのだ。

モハメド・アリの娘という世界的に通用するネームバリューと、ボクシング8戦全勝という実績を持つレイラ・アリへの挑戦。これはニュースになる。

プロレスラーとは、観客そして世間とグチャグチャに渡り合うダイナミックな人々のことを言う。小さな世界でチマチマやっていくことに意味なんかない。ターザンが嘆いたもう一つ〝安定志向〟をも神取は見事に否定したのだ。

かつて北斗晶に「強いけどヘタ」と言われた神取は、その強さを逆手に取って世間に己の存在をアピールしようとしているのだ。女子同士の強さ比べになんか興味はないが、これなら乗れる。

〝ミスター女子プロレスラー〟という異名を持つ男でも女でもない異形のモノである神取忍。そのいびつなモノが捕らえた標的が猪木さんと同じアリというのは痛快だ。猪木さんが世間に風穴を開けたのと同じように、神取がアリを相手にどんな風穴を開けるのかが、今から非常に楽しみでならない。

そして願わくば、その試合でばく大な借金を抱え、次なる闘いはその借金返済のために、もがき苦しむさまを見せつけてほしい。人ごとだからこそ言える勝手な話だが、それこそがプロレスラーであり、それこそが醍醐味！

神取、ボンバイエ！（ヤツを叩きのめせ）

（ブチ）

"格闘空手"大道塾の真髄は
ケンカの強さにあり！

殴る、蹴るは当たり前！

投げてマウント！

▲打撃だけでなく制限付きで寝技も認められる大道塾の試合。決勝に進出した稲垣拓一と山崎進は、そのルールを最大限にいかした闘いを見せた。柔道出身の山崎は、投げからの寝技を多用（写真は山崎の1回戦）

▲こんな技、見たことあるか!?　山崎は2回戦で、相手の蹴り足をキャッチし、そのまま一本背負いの要領で投げようとした

頭突き、ヒジ！

▲〈1回戦〉投げ、パンチ、頭突きなどで攻めまくった山崎。フィニッシュはこのヒジ打ち！

絞め、関節、金的までOK！

▶1回戦を送り襟絞めで勝った稲垣は、続く2回戦でも浜松新一郎から腕ひしぎ十字固めでタップを奪う

▲山崎は、打撃でも格段の進歩を見せていた

まずは、上の写真をじっくりと見てほしい。顔面パンチもあれば、ヒジ打ちもある、それどころかニープレスやマウントからの打撃、それに絞め、関節技まで。ほとんど総合格闘技のようではないか。

でもこれ、誰がなんと言おうが空手の試合なのである。大道塾がめざす空手とは、ズバリこれなのだ。昨年のこの大会のレポートでも書いたことだが、大道塾とは、打撃だけでなく、寝技も含めてあらゆる局面（つまりはケンカなど"路上の現実"）に対応する技術を含んだ空手を標榜している。ならば当然、グラウンドの展開にも対処せねばならないというわけだ。体格差がある場合には、なんと金的攻撃さえ認められるのである。

今年に入ってから、佐竹雅昭がＶＴに挑戦、「自分の空手が"なんでも有り"でどこまで通用するか」と奮闘している。小川戦の前に「これも空手の技術」と、ヒジ、頭突きありのルールを主張したことを覚えている人も多いだろう。現在、佐竹が追求しているような空手。それを、もう20年近くにわたって、大道塾は試合に取り入れている。

さらに写真を見てほしい。ここで掲載したものは、全て今大会で決勝を争った稲垣拓一と山崎進がらみの試合写真である。インパクトのある写真を集めたら、彼らのものばかりになったのだ。逆に言えば、それだけの試合をやる実力がある稲垣と山崎だからこそ、決勝に進出できたということだ。

分厚い胸板と太い二の腕が印象的な稲垣は、パワーあふれる打撃が持ち味。特に片手で相手の襟を

大道塾 北斗旗
全日本無差別選手権大会
11.19★代々木第2体育館

決勝は2年連続で稲垣VS山崎
この2人が勝ち残ったのは必然である

2000北斗旗トーナメント表

- 平原徳浩（名張支部）
- アレクセイ・コノネンコ（東北本部）
- 村田良成（総本部）
- 稲垣拓一（総本部）
- 岩木秀之（新潟本部）
- 飯村健一（総本部）
- 中山正和（総本部）
- 山崎進（総本部）

WINNER 優勝 稲垣拓一

▲〈決勝戦〉試合開始直後、稲垣の足をすくってテイクダウンした山崎は、ヒザ十字を狙う。鮮やかな速攻だった。「秒殺を狙ってたんですけど」と山崎

▲決勝戦は昨年と同じ顔合わせ。山崎の鋭い投げを場外近くで阻止し、遠い間合いからのパンチで攻めた稲垣が勝利し、2連覇を達成した

▲昨年も激闘を展開した両者。「パターンも読まれてるし、正直、闘いにネタがなかった」と山崎（右）。逆に勝った稲垣は「気持ちが切れなかった。実力以上の力が出ました」とコメント

▼〈1回戦〉組んでからの打撃が恐ろしく強い稲垣。首相撲はもちろん、相手の片襟を掴んでのパンチは、必殺の威力を秘めている

▶エースとして将来を嘱望されていた中山正和が、久々の復活。準々決勝までは順調に勝ち進んだものの、山崎戦で後頭部へヒジ（反則）を食らってドクターストップ。悔しい敗退だが「気持ちを盛り上げるにはいい結果だった」と、中山は早くも次の大会を見据えている

▲組み技全盛の中、打撃オンリーで勝ち残ったベテラン・飯村健一だが、準決勝で山崎と対戦した際、蹴りをブロックされて古傷が再発、試合続行不可能となってしまった

▲いまや“ミスター大道塾”と言ってもいい稲垣。来年秋の世界大会でも、エースとしての活躍が期待される

◀稲垣は準決勝でアレクセイ・コノネンコと対戦。一昨年の決勝で敗れている因縁の相手だが、今年はマウントパンチで『効果』ポイントを奪って勝利。決勝へ駒を進めた

★決勝戦
○稲垣拓一（総本部）（延長5-0優勢勝ち）山崎進（総本部）●
※延長戦で山崎に金的攻撃で指導1あり

掴み、そこからパンチを連打するという戦法を得意としている。

見方によっては野蛮な闘い方ではあるが、説得力という意味では抜群。そう言えば昨年は、ガードポジション、つまり下になった体勢からのパンチでダウンを奪うという荒技も見せた。正直言って、こんな男とだけはケンカしたくない。なんか、メチャクチャひどい目に合わされそうだし…。

一方の山崎は、柔道出身だけに組み技、寝技を多用するスタイル。背負い系の投げで相手をブン投げ、そこから〝極め〟の動作で、次々とポイントを奪っていく。実際のケンカで、コンクリートの地面に背負い投げで叩きつけられ、さらに上から殴られたら…。山崎の戦法も、かなり実戦的だと言えよう。

両者の間で争われた決勝戦は、延長の末、稲垣が判定で勝利。思ったほど激しい闘いにはならなかったのだが、それだけ互いが手の内を知り尽くし、実力が接近しているということだろう。

稲垣と山崎。この2人が昨年に続いて決勝に進出したのは、偶然ではないと思う。昨年より苦戦する場面も多く、それだけ選手全体の底上げがなされているのは確かだが、その中でも両者は、掴みや投げ、それに寝技など、大道塾を大道塾たらしめている闘いを最も体現しているのだ。

来年秋に行われる初の世界大会でも、稲垣と山崎が日本勢の主力になるのは間違いない。山崎に至っては、強い外国人と闘うため、あえて最重量クラスにエントリーするつもりでいるというから楽しみである。（橋本）

あ、言い忘れてました。猪木なら何をやっても許されるのじゃ!! キエー!!

たっつぁん 読者プレゼント 万座ビーチ

【イーフォース・ジャパン提供】

死ぬまで…、つーことは 21世紀も大和魂だ!!

●エンセン井上オフィシャルカレンダー（2001年）

※エンセン初のオフィシャルカレンダー。カレンダー用の撮り下ろし&初公開写真満載のB2サイズなので、見やすくて迫力満点！ エンセン所属のPUREBRED所属各選手の誕生日やジム記念日も掲載されてます。12月中旬発売予定、価格¥1800。エンセングッズに関するお問い合わせは、イーフォース・ジャパン☎0473―78―6403まで

5名様

【ステージア提供】

『SRS・DX』読者なら、おおみそかは全員大阪に集合っ！ これ、ホント！

●12・31『INOKI BOM―BA―YE』大会ポスター

10名様

【本誌編集部提供】

ついにワンフーオリジナルTシャツができました。イラストはもちろんアントニオ文朱が担当！ 死ぬほどカッチョイイ!!

●ワンフーTシャツ（ver.1）
※¥2,000（税込）
カラー／WHITE、サイズ／L・M・S

5名様

購入ご希望の方は、P118の『SRS・DX』グッズ通販と同じ方法で入手可です。いちおう数に限りがございます。Sは女子&キッズサイズ！

【新日本キック提供】

伊原会長ーッ、いつもいつもバナナごっちゃんです!!

●12・3『ファイト・トゥ・ムエタイ2000』大会記念Tシャツ

3名様

【スパイスバンク提供】

サクもお気に入り！ フィギュアに続いてリングも登場！ つよいぞ、むてきだサクラバマシン!!

●サクラバマシンリング（しかもシリアルナンバー39！）

1名様

※スパイダーマン、バットマン、スポーンなどのスターリングシルバーアクセサリーを手掛けるJ.A.P.工房製。材質・スターリングシルバー。価格¥28,000（税別）。限定300個。サイズ・M17号、L21号（購入後のサイズ直し、リペアはJ.A.P.工房が対応します）。

ギャランティーカードつき！
※商品の保証書ともなるギャランティーカードには、サクの今年一年の戦績、リングのシリアルナンバー等が記されてます。特典としてこのカードにオーナーの名前を記入して2001年3月31日までにスパイスバンクに送ると、サクの直筆サインを入れて返送されます！

当選をアテにしてない人はいますぐ注文だ！

ご注文方法

ご注文は**12月17日**(日)AM10:00より電話とホームページにて受けつけます。
スパイスバンク☎03-3203-4618
http：//www.digipad.com/spicebk/

商品お渡し方法

・ご注文時にお名前、電話番号、ご希望のサイズをお伝えください。ご注文番号をお知らせします。

・お名前、住所、電話番号、ご注文番号を明記したメモを添えて、商品代金28,000円+消費税1,400円+送料600円の合計30,000円を必ず現金書留にて、下記住所までお送りください(ご注文受付後、14日以内必着)。

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場1-17-22
スパイスバンク『サクラバマシンリング』係

・お届けは12月中旬から1月下旬にかけて順次、運送便にて発送いたします。

※ご注意

・現金書留以外の方法ではお受けできません。また、ご注文受付なしで代金をお送りいただいてもお受けできません。

・ご注文受付後、14日以内に代金が届かない場合は、ご購入をキャンセルされたものとさせていただきます。

・サイズ交換等の返品、交換はお受けできません。不良品等の理由による返品、交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。(期日を過ぎた場合は、受付致しかねます)

・この商品は数量限定品です。限定数に達し次第、ご注文受付を終了させていただきます。

・高田道場&『SRS・DX』編集部では、ご注文を受けつけておりません。『SRS・DX』グッズ通販とは関係ありません。

【デスバレー提供】

鬼のようにアレクグッズを作り続けるデスバレー！

●アレクサンダー大塚リストバンド

20名様

※もはやアレク本人ですら何点あるのか分からないほどアレクグッズをリリースし続けるデスバレー。今回はどっちゃりとリストバンドを頂きました。この冬はロングスリーブやスウェット、パーカーなどもたくさん作っているので、チェックしてみては。お問い合わせはデスバレー☎03-3787-4391まで。

もはや1ページじゃ紹介しきれない

SRS・DX 格闘技グッズ通販情報

すべてが爆発的人気！　すべてのプロ格ラバーズへ捧げてます！

■サクラバマシン・フィギュア
¥5,250（税込）
2000年5月1日
『プライドGP2000』
二回戦／対ホイス・グレイシー戦タイプ

ソフトビニール製・全長27cm／
桜庭Tシャツ（ver.1）&
着脱可能マスクつき
限定3900体！
©髙田道場

■アントンTシャツ
¥3,500（税込）
カラー/ホワイト
サイズ/XL・L・M・S

※SサイズはキッズのLサイズです。
©Inoki International,Inc

■アレクサンダー・カレリンTシャツ
¥4,000（税込）
カラー/オレンジ
サイズ/XL・L・M

©Karelin 2000-2001

ご注文方法&そのほかのグッズはP118を参照してください。

【ベロ・レコーズ提供】

CS番組『パンクラス・ハイブリッド・アワー』のオープニングテーマ曲！

●マキシシングルCD『AとD』（MILK CROWN）

5名様

※B面に収録されている『モルモット』が現在『パンクラス・ハイブリッド・アワー』のオープニングテーマ曲として使用されています。このタイアップは、純粋にパンクラスサイドとMILK CROWNがお互いファン同士だったことから決定したのだそう。知らないかもしれないが、MILK CROWNはラウド・ロックシーンのカリスマ的存在だっ！

【まんだらけ提供】

ついに引退してしまった船木の初のエッセイ集!!

5名様

●船木誠勝著『明日また生きろ。』

※12・9青森大会をもってついに引退してしまった船木。この本は、その引退を記念して作られた船木自身の書き下ろし、初エッセイ集だ。ヒクソン戦をはじめ、ブラガ、メッツァー戦への感慨、妻・いずみさんへの愛など、ファンなら絶対必読の話題が満載だ！　価格¥1429（税別）。お問い合わせは、（株）まんだらけ☎03－3228－0007まで。

【大映提供】

魔裟斗が出演する三池映画！テアトル新宿にて公開中！

●映画『DEAD OR ALIVE2』ポスター

※三池崇史監督、竹内力&哀川翔主演。第12回東京国際映画祭アジア映画賞スペシャルメルヘンを受賞し、見るものすべてを圧倒した「DOA」待望の第2弾がついに完成した！　今世紀最大最後の、そして新世紀最初の奇跡がスクリーンに炸裂！　テアトル新宿にて公開中、順次全国公開予定。

10名様

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由（複数可）
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！　なお、このハガキのご意見を無闇に『ワンフー・マクダニエル』で掲載させていただくことがあります。実名がマズイ人は、ペンネームも記載してください。

**あて先…〒101-0054　東京都千代田区神田錦町
3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『たっつぁん万座ビーチ㊱』係まで
締め切り…12月28日（木）
当日消印有効**

レギュラーヘッドガード
品番:SHG21
定価¥5,800→
¥3,800
COLOR／黒・赤・白　SIZE／フリー
PU製

プロフェッショナルヘッドガード 本革 NEW
品番:SHG30
定価¥9,800→ **¥5,900**
COLOR／黒・赤・白　SIZE／フリー
高級本革製
ヒモ式あごベルト

本革ファイティンググラブ 本革
品番:SBG40
定価¥8,800→
¥4,900
COLOR／黒・赤・白　8oz・10oz・12oz・14oz・16oz　高級本革製

パンチンググラブ
品番:SPG
定価¥3,500→
¥2,200
COLOR／黒・赤・白
SIZE／フリー　高級本革製 本革

本革ヘッドガード
品番:SHG20
定価¥8,500→ **¥5,800**
COLOR／黒・赤・白
SIZE／フリー
マジックテープ固定式
高級レザー製

ヘッドガードPRO
品番:SHG15
定価¥5,800→
¥4,900
COLOR／黒・白　SIZE／フリー
マジックテープ固定式　高級レザー製

スパーリンググラブ 本革
品番:SSG1
定価¥8,800→
¥4,900
COLOR／黒・赤　8oz・16oz
高級本革製

オープンフィンガーグラブ 本革
品番:SFG
定価¥3,800→
¥2,400
COLOR／黒・赤　SIZE／フリー
高級本革製

レッグプロテクターPRO
品番:L1
定価¥4,000→ **¥1,800**
COLOR／黒・赤・白
SIZE／フリー
マジックテープ固定式
高級レザー製

プロフェッショナルレガース 本革 NEW
品番:L2
定価¥8,000→ **¥4,900**
COLOR／黒・赤・白
SIZE／フリー
マジックテープ固定式
高級本革製

トレーニンググラブ 本革
品番:STG
定価¥6,800→ **¥3,800**
COLOR／黒・赤
SIZE／8oz／16oz
ゴムタイプ　本革+PU製

グラッピンググラブ
品番:SGPG
定価¥3,200→ **¥1,980**
COLOR／黒　SIZE／フリー
マジックテープ固定式
PU製

ファールカップPRO
品番:SGGPR
定価¥3,800→ **¥2,400**
COLOR／黒　SIZE／フリー
高級レザー製
マジックテープ固定式

ノーファールカップ
品番:SGGPR2
定価¥9,800→ **¥4,800**
COLOR／黒・赤・白
SIZE／フリー
高級本革製
マジックテープ固定式

ムエタイキックミット 本革
品番:K19
定価¥6,000→ **¥3,800**
COLOR／黒×赤
SIZE／42X20X10cm
厚革を採用したハードタイプ
本革製

パンチングミットSP 本革
品番:SPM210
定価¥3,000→ **¥1,800**(片手)
COLOR／黒×赤
超軽量ハードタイプ
左右兼用
本革+パラシュート素材

フルコンタクト空手衣
定価¥6,500→
¥3,500
純白(白帯付)葛城
SIZE:
S／162〜169cm　品番:K1
M／170〜177cm　品番:K2
L／178〜185cm　品番:K3

ナックルガード
品番:SNG
定価¥1,200→
¥980
COLOR／白
SIZE/フリー
コットン製

ファールカップ
品番:SGG-51
定価¥1,500→
¥980
COLOR／白
SIZE／フリー
サポータータイプ
コットン製

レッグサポーター
品番:SLG40
定価¥2,000→
¥1,200
COLOR/白　SIZE/フリー
コットン製

ビッグミットPRO
品番:KPRO
定価¥5,200→ **¥3,800**
COLOR／赤・黄
SIZE／66×44×10cm
ビニロン製

スーパーハードミット
品番:K18
定価¥5,200→ **¥2,800**
COLOR／黒　SIZE／42×22×10cm
手首・腕マジックテープ　固定式
高級レザー製

スーパーキックミット
品番:K11
定価¥1,500→ **¥950**
COLOR／黒・赤・青・黄
SIZE／45×17×10cm
キャンバス製

ハイパーキックミット
品番:K13
定価¥2,000→
¥1,280
COLOR／黒・赤・青・黄
SIZE／45×17×10cm
キャンバス製

BODYクラフト マルチステーションジム
品番:C10
定価¥128,000→
¥69,800
SIZE／W119×D234×H210cm
重量／107kg
(シャフトは2m〜をご使用ください。)
自宅でジム同様のトレーニングを限界まで安全にしたい。そんなホームトレーニーの夢を現実にするのがこのマルチステーションジムです。

NEWハイパージムG20
品番:C13
定価¥78,000→
¥49,800
SIZE／W92×D156×H200cm
重量／125kg
プッシュプレスアームがついた本格派!ウエイトスタック方式で最大負荷は100kgをかるく超える代物です。
※ウェイト付き

NEWハードジムG10
品番:B20
定価¥68,000→
¥39,800
SIZE／W104×D161×H197cm
重量／122kg
省スペース・多機能・高性能ジムマシンのベストセラー。上級者まで対応できるウエイトスタック方式。
※ウェイト付き

チンディップスラック
品番B22
定価¥38,000→
¥12,800
SIZE:W66×D115×H210cm
バーチカルニーレイズ・チンニング・ディップス・プッシュアップに!

プロパワーラックシステム NEW
品番C15R
定価¥128,000→ **¥49,800**
SIZE/W117xD137XH219cm
(シャフトは2m〜をご使用ください。)
大好評のプロパワーラックにラットマシンがセットされ、さらに安定感を増した構造で登場! こだわりのホームトレーニーも大満足まちがいなし!
ベンチセット例

NEWフォールディングベンチ
品番NB2
定価¥24,800→ **¥9,800**
SIZE:W70×148×117cm
収納サイズ:W70×50×173cm
折りたたみコンパクト設計ながらその強靭なフレームの剛性感は他に類をみません。

重量感溢れるハンマートーン塗装仕上げ。品質・価格を従来品と比較してみてください。

バーベル・ダンベルセット バーベルシャフト10kg1本(カラー付) ダンベルシャフト2.5kg2本(カラー付)		ダンベルセット ダンベルシャフト2.5kg2本(カラー付)	
35kg	定価¥12,900→ ¥7,500	20kg	定価¥7,200→ ¥4,900
55kg	定価¥17,700→ ¥10,500	30kg	定価¥9,600→ ¥6,500
75kg	定価¥22,500→ ¥14,000	40kg	定価¥12,000→ ¥8,000
105kg	定価¥29,700→ ¥18,500	50kg	定価¥14,400→ ¥9,000
145kg	定価¥39,300→ ¥24,500	60kg	定価¥16,800→ ¥11,500

バーベルダンベルセット
バーベルシャフト200cmご希望の場合は+¥600、スクリューダンベルシャフト+¥600になります。

ベンチ・マシンはこの他にも多数取り揃えています。

SRS・DX

格闘技グッズ 通信販売

コンプレックス丸だしの格闘技業界オシャレ化に喝ッ!!

P113にサクラバマシン・フィギュアとアントンTシャツを掲載していま～す。

アレクサンダー・カレリン RUSSIA

"ハロー・シドニー!!" Tシャツ
生成・オレンジ／サイズXL・L・M・S
¥4,000（税込）
※オレンジはSサイズはございません。

"カレリンズ・リフト" Tシャツ
白／サイズXL・L・M・S
¥4,000（税込）

髙田延彦 髙田道場

"アイ・アム・プロレスラー" Tシャツ
白／サイズL・M・S
¥3,990（税込）
※Sサイズは、キッズのLサイズです。

髙田道場HPと本誌のみの完全限定！

小川直也 U.F.O.

オーチャンTシャツⒶ
黒／サイズL・M
¥3,500（税込）

オーチャンTシャツⒷ
ラグラン／サイズL・M・S
¥3,500（税込）

オーチャンロングTシャツ
ラグラン／サイズM・S
¥4,500（税込）

オーチャンステッカー
¥1,000（税込）

佐竹雅昭 怪獣王国

佐竹死刑Tシャツ
黒／サイズL・S
¥3,500（税込）

アレクサンダー大塚 格闘探偵団バトラーツ

※Sサイズは、キッズのLサイズです。ロゴのオレンジ部分はラメです。

AO／DC Tシャツ
黒／サイズL・S
¥3,500（税込）
※ロゴの緑部分はラメです。

AO／DC Tシャツ（Ver.2）
黒／サイズL・M・S
¥3,500（税込）

ご注文方法

①ご注文は電話受付のみです。

「SRS・DX」通販専用 NAVIダイヤル ☎(0570) 007800 ※携帯電話からは掛かりません。

または、☎(03) 3295-4450

受付曜日・時間／月曜日～土曜日・AM10:00～PM6:00

②商品お渡し方法

◉代金引換でのお受け取りとなります。
◉商品代金のほかに**送料約700円**（ゆうパック）、**代引手数料約250円**（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◉お届けはご注文をいただいてから、一週間前後で郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

③ご注意

◉代金、送料の先払いはお受けできません。
◉サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◉『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

第１章　日本人の３人に２人は包茎です。

●東京上野クリニックには、同様の性春の悩みを抱える男性から、年間3万件以上にものぼる相談電話が寄せられています。人気の秘密は年中無休、24時間体制で無料相談が受けられること。これなら周囲に気兼ねすることなく、いつでも、どこからでも好きな時に相談することが可能です。

第２章　包茎は百害あって一利なし。

●包茎の百害損した男たちのエピソードの数々
「包茎が原因で雑菌が溜まり性病をくり返した」（大阪市・29歳会社員Oさんのケース）
「包茎は早漏気味になりやすい」（浜松市・25歳会社員Kさんのケース）
●包茎治療の百利包茎治療で得した男たちのエピソードの数々
「ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた」（大阪市・36歳会社員Aさんのケース）
「いつでも「気持ちいい」セックスができる」（東京都・27歳会社員Fさんのケース）

第３章　最新の技術・無痛治療法。

●この不安を解消するために、東京上野クリニックが導入したのがバイオジェクター。これは麻酔薬をペニスの表面に噴霧して、その時のガスの圧力で皮の感覚を麻痺させます。
●そこで上野クリニックが採用したのが深部冷却法です。これは特殊な柔らかいジェルを半凍結するまで冷やし、それを直接ペニスに巻き付ける方法です。こうすることによって、皮膚の深部まで麻痺させることに成功しました。

第４章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

●上野クリニックは機械を用いず、すべて手作業で手術を行います。そして、超精密な手作業技術だからできる、自然な仕上がりを実現します。
●軽度の包茎の方にお勧めしているのが切らない手術法です。これは根元の部分で余った皮を集めて、特殊な組織繊維剤で軽くくっつける方法です。

第５章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●スタッフは全員男性。受付から治療にいたるまで一貫して熟練した男性スタッフがあたっています。
●包茎治療で通院した事実を秘密にしたいという誰もが抱く思いを、東京上野クリニックは尊重します。それゆえ、当院では知り合いの人たちだけではなく、来院された他の患者さんとも顔を合わせることのないよう、完全予約制にて診療時間を調整しています。

第６章　早めの対応が肝心な性病治療。

●時々、亀頭周囲や陰茎を注意深く観察してみてください。もしツブツブを発見したら、一人で悩まず、早期治療することをお勧めします。というのも、特殊な機械を使って正しい治療を施さないと、コンジロームは再び増殖を開始する厄介な病気だからです。

第７章　男女とも快感をアップする法。

●包皮のだぶつきは、年齢が30代に突入すると徐々に性感を妨げるようになり、ひいては精力の低下につながっていくのです。

第８章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、この過敏な亀頭を人体無害のコラーゲンを使った独自の特殊な注入方法で、早漏をある程度抑えることができるようになりました。

（以上：目次より）

男の人生を変える一冊。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去15万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

MEN'S BODY POWER UP
男の一生を決める男の手術
無痛・無傷・安心の
東京上野クリニック

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）
判型：A5判　ページ数：80頁

発行所／株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町３番28号

この本についてのお問い合わせは

泌尿器科・形成外科・性病科

東京上野クリニック

TEL/03-5543-3700

24時間無料電話相談

0120-508-550

携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合案内

テープ案内
資料請求
個別相談

0120-087-008

携帯・PHSからもご利用できます。

ご紹介できるクリニック一覧

地域	電話	所在地
札幌	011-252-6000	中央区北4条西2 アイビル 4F
仙台	022-723-3000	青葉区中央1-6-27 仙信ビル 7F
新潟	025-241-4000	新潟市花園1-4-6 リバティプラザ駅前 2F
大宮	048-642-1000	大宮市宮町2-11 ハシモトビル 7F
東京	03-3274-4000	中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル14F
上野	03-3876-7000	台東区根岸1-8-18 高松ビル 4F
新宿	03-3343-4000	新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F
横浜	045-323-5000	西区北幸2-10-50 北幸山田ビル 2F
千葉	043-221-8000	中央区富士見1-2-11 勝山ビル 6F
浜松	053-452-6000	浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル 5F
名古屋	052-562-5000	中村区名駅3-26-21 新香取ビル 6F
京都	075-352-5000	下京区新町通七条下ル東塩小路町593 クリスタル駅前ビル1F
大阪北	06-6456-3000	北区梅田1-2 駅前第2ビル 2F
大阪南	06-6634-3000	中央区難波3-5-11 東亜ビル 8F
岡山	086-224-9000	岡山市本町6-36 第一セントラルビル 3F
福岡	092-415-6000	博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F

メールで男の悩み相談もできるホームページです
http://www.ueno.co.jp

携帯アドレス
http://www.ueno-c.com

SRS DX 12・28 No.36

12・10『K-1 WORLD GP 2000』決勝戦速報

12・4 パンクラス武道館大会・船木引退興行

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成12年12月28日発行　第2巻・24号・通算36号
編集人・谷川貞治　発行人・柳沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版／
(株)ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社　〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円 本体648円

雑誌 21584-12/28

T1121584120683

Printed in Japan